

平成 25 年度 保育園サービス第三者評価事業

報告書

平成 26 年 3 月

杉並区

はじめに

保育園サービス第三者評価は、第三者からみた保育園サービスの評価結果を幅広く利用者や保育園に情報提供することにより、サービス内容を利用者にも明らかにし、保育園におけるサービスの質の向上に向けた取り組みを促し、利用者本位のサービスシステムの構築を行う事を目的とするものである。

■評価対象：杉並区立の次の4保育園を対象としている。

保育園名	利用世帯数	備考
1. 和田保育園	71	1・障
2. 松庵保育園	91	9・延
3. 下井草保育園	91	9・延
4. 上井草保育園	98	8・延
合計	312	

※備考欄：9…9週目以上の園、8…8か月以上の園、1…1歳以上の園、
延…延長保育実施園、障…障害児保育指定園

■評価機関：特定非営利活動法人NPOサービス評価機構

(東京都福祉サービス第三者評価機関 認証番号：機構06-166)

■評価者：担当した評価者の終了番号は以下の通りである。

H0201035、 H0302085、 H0501043

■評価の流れ

内容	時期・期間
1. 関係者説明会	平成25年9月
2. 利用者調査票配布（利用者調査）	平成25年10月
3. 経営層自己評価票作成（事業評価）	平成25年9月～10月
4. 職員自己評価票作成（事業評価）	平成25年9月～10月
5. 訪問調査利用者調査・事業評価結果報告	平成25年10月～12月
6. 評価結果のフィードバック	平成26年1月

目次

第1部 利用者調査

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象者	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査期間	1
(5) 利用者調査票の配布・回収状況	1
(6) 調査項目の構成	3
(7) 報告書の見方	3
2. 全体の調査結果	4
(1) 回答者の属性	4
(2) 総合的な満足度	6
(3) 毎日の保育サービスについて	8
(4) お子様や保護者の尊重について	10
(5) 要望・意見やトラブルへの対応について	12
(6) 利用（入園）前の保育園の対応について	14
(7) クロス集計結果	15
(8) 自由意見（保育園に対して日頃感じていること・要望）	17
3. 各保育園の利用者調査結果	18

第2部 事業評価

1. 評価の概要	39
(1) 評価の目的	39
(2) 評点の付け方	39
(3) 訪問調査とフィードバック	40
2. 各保育園の評価結果報告書	41

巻末 付属資料

第1部 利用者調査

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

杉並区立保育園を利用されている保護者の方々が、日常の保育サービスに対して感じていること、また、意見や要望について把握することを目的とした。

(2) 調査の対象者

4 保育園の利用者（保護者）を対象とした。複数のお子さんを預けている場合は、一番年齢の低いお子さんのことについて回答していただいた。

(3) 調査方法

無記名のアンケート方式で実施した。園より保護者全員にアンケート票を手渡しで配布し、回収については、園を介さずに、返信用封筒を使って直接評価機関へ郵送する方法で行った。

(4) 調査期間

平成 25 年 10 月 1 日～平成 25 年 10 月 18 日

(5) 利用者調査票の配布・回収状況

全世帯に配布し、4 園の回収率は、63.7%から 78.9%、平均有効回収率は、70.4%である。

保育園名	利用者		
	配布数	回収数	回収率
1. 和田保育園	71	56	78.9%
2. 松庵保育園	91	58	63.7%
3. 下井草保育園	91	63	69.2%
4. 上井草保育園	98	70	71.4%
合 計	351	247	70.4%

(参考：根本誤差)

調査結果の比率から母集団（対象世帯全体）の傾向を推測するには、統計上の誤差（根本誤差）を考慮する必要がある。N（母集団）に 351 人、n（回答者数）に 247 人をあてはめて算出すると、以下の表の通りとなる。知りたい設問の回答率に誤差（±2.0%～3.4%）をあてはめて、母集団の傾向を推測することになる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\left\{ \frac{(N-n)}{(N-1)} \right\} \times \left\{ \frac{P(100-P)}{n} \right\}}$$

信頼度 95%

N=母集団数（対象人数）

n=比率算出の基数（回答者数）

P=回答の比率

回答率	根本誤差
10%	±2.0%
20%	±2.7%
30%	±3.1%
40%	±3.3%
50%	±3.4%
60%	±3.3%
70%	±3.1%
80%	±2.7%
90%	±2.0%

「根本誤差とは、全体（母集団）から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。本調査は標本調査ではないが、全体と回答者数に差が生じているため、参考誤差を算出した。信頼度 95%の計算式を今回の調査にあてはめて算出したのが、上記の表である。例えば、ある設問の選択肢の回答比率が 60%であった場合、「全体からの回収があったとしても、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.3%以内（56.7%～63.3%）である」と見ることができる。

(6) 調査項目の構成

調査票は、回答者の属性のほかに、縁の様子について（15問）と、総合的な感想（1問）で構成されている。（調査票は巻末資料1を参照）

総合的な感想（満足度） （5択及び自由記述）	●毎日の保育サービス 問1～8（3択）	・食事、保育、遊びの様子 ・ケガや病気への対応や安全対策 ・保護者と保育園の信頼関係 等
	●お子様や保育者の尊重 問9～11（3択）	・プライバシー保護 ・利用者に対する基本的姿勢
	●要望・意見や不満・トラブル への対応 問12～14（3択）	・不満や意見の伝えやすさ ・要望への対応 ・第三者委員会の周知
	●利用前の保育園の対応 問15（3択）	過去1年以内に入園し、かつ保育内容について説明を受けた利用者が対象 ・説明の分かりやすさ
回答者の属性	調査票への記入者、記入者の年齢、保護者の勤務形態	

今年度は、第三者評価の標準的な調査項目のみとなっている。

(7) 報告書の見方

- ① 回答は、各設問の回答者数を基数とした百分率（%）で表示してある。
- ② 百分率は小数第二位を四捨五入してあるため、比率の合計が100%にならない場合がある。
- ③ 作図・表の都合上、設問や回答の選択肢を要約している場合がある。

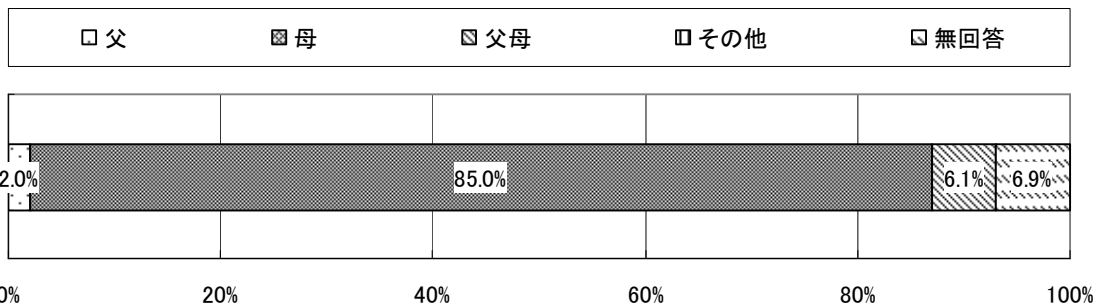
2. 全体の調査結果

(1) 回答者の属性

調査票の記入者 247 名の約 85%が母親である。回答者の年齢構成をみると、35 歳以上 40 歳未満が回答者の 37.7%で最も多く、30 歳代が回答者の 58.8%で最も多い年代である。また、勤務形態をみると、父親の 75.7%、母親の 76.5%がフルタイム（常勤）である。なお、父親の 10.9%が自営業、母親の 10.5%がパート・アルバイト勤務である。

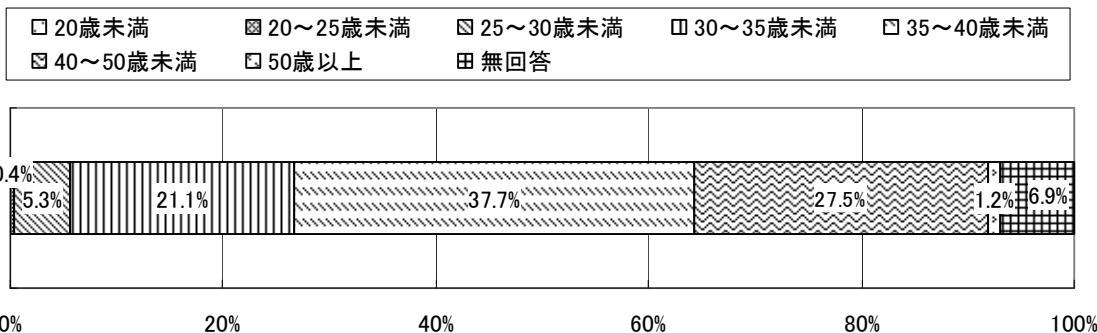
調査票の記入者属性

記入者属性	回答者数	
	(人)	(%)
1 父	5	2.0%
2 母	210	85.0%
3 父母	15	6.1%
4 その他	0	0.0%
無回答	17	6.9%
合計	247	100.0%



記入者の年齢

記入者の年齢	回答者数	
	(人)	(%)
1 20 歳未満	0	0.0%
2 20～25 歳未満	1	0.4%
3 25～30 歳未満	13	5.3%
4 30～35 歳未満	52	21.1%
5 35～40 歳未満	93	37.7%
6 40～50 歳未満	68	27.5%
7 50 歳以上	3	1.2%
無回答	17	6.9%
合計	247	100.0%



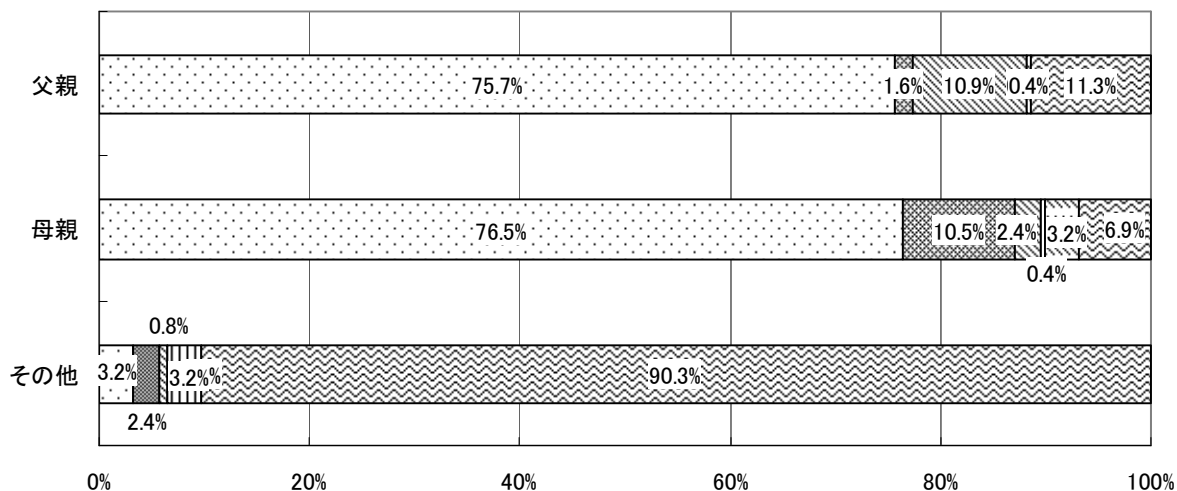
保護者の勤務形態

保護者の勤務形態（父）	回答者数	
	（人）	（％）
1 常勤	187	75.7%
2 パート・アルバイト	4	1.6%
3 自営業	27	10.9%
4 無職	0	0.0%
5 その他	1	0.4%
無回答	28	11.3%
合 計	247	100.0%

保護者の勤務形態（母）	回答者数	
	（人）	（％）
1 常勤	189	76.5%
2 パート・アルバイト	26	10.5%
3 自営業	6	2.4%
4 無職	1	0.4%
5 その他	8	3.2%
無回答	17	6.9%
合 計	247	100.0%

保護者の勤務形態（その他）	回答者数	
	（人）	（％）
1 常勤	8	3.2%
2 パート・アルバイト	6	2.4%
3 自営業	2	0.8%
4 無職	8	3.2%
5 その他	0	0.0%
無回答	223	90.3%
合 計	247	100.0%

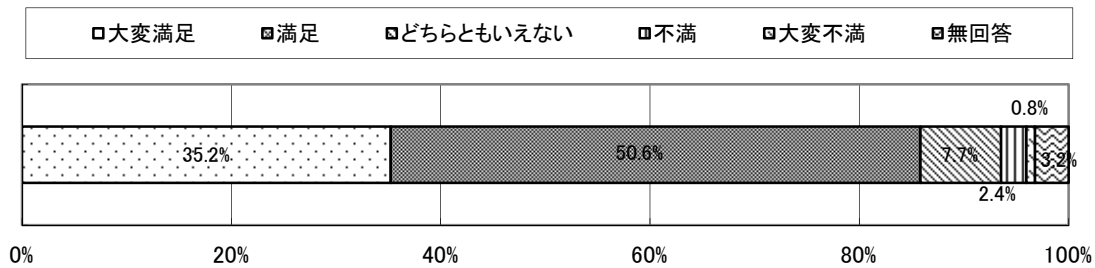
常勤
 パート・アルバイト
 自営業
 無職
 その他
 無回答



総合的な満足度

「大変満足」が回答者の35.2%、「満足」が回答者の50.6%で、「大変満足」「満足」と回答した方々は回答者の85.8%を占めている。一方、「どちらともいえない」と答えた方々は7.7%、「不満」と答えた方々は2.4%、「大変不満」と答えた方々は0.8%で、総合的にみて満足度が高い傾向にあることがわかる。

調査票の総合的な感想（満足度）



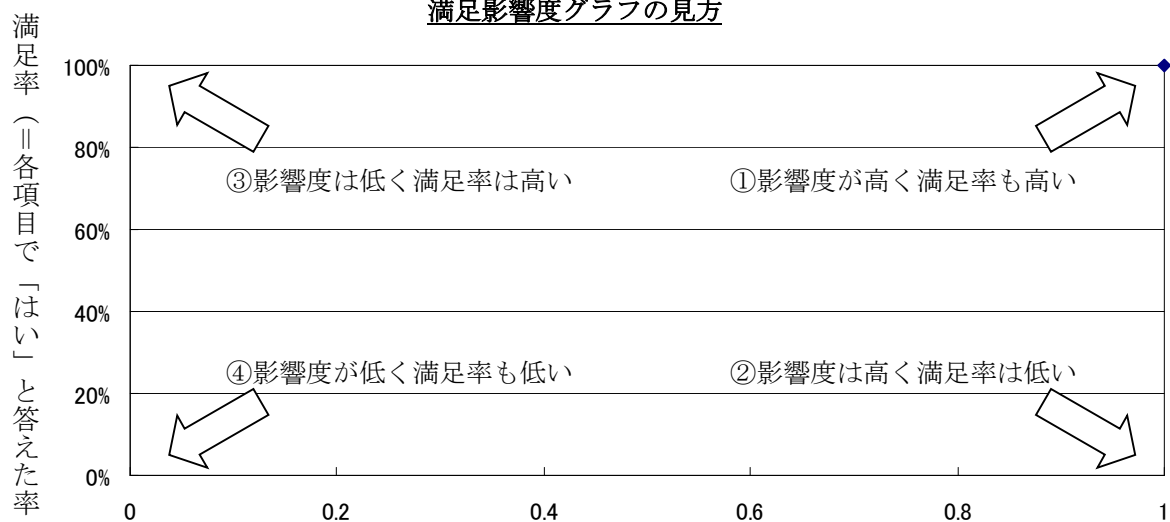
<満足影響度について>

満足影響度とは総合的な満足度（1. 大変満足、2. 満足、3. どちらともいえない、4. 不満、5. 大変不満）と1～15の各項目（1. はい、2. どちらともいえない、3. いいえ）との相対的な関係を表したものである。

各項目が園の総合的な満足度とどのような関係（影響が強いのか弱いのか）にあるのかがわかり、満足度をあげる為に取り組むべきことについて、優先順位付けを検討する際の手がかりとなるものである。影響度は、最小0.0～最大1.0の独立変数で表され、0.3以上は「影響がある」、0.4以上は「強い影響がある」、0.6以上は「非常に強い影響がある」という整理をしている。

毎日の保育サービス、お子さんや保護者の尊重、要望・意見・トラブルへの対応、利用前の保育園の対応などの分野ごとに、満足率（各項目に「はい」と答えた率）とあわせて独立変数（影響度）を掲載した。各項目の分布する位置による満足度と影響度の考え方は、以下の通りとなっている。

満足影響度グラフの見方



(満足率・独立係数一覧)

総合的な満足度への影響度（＝独立係数）

分野	番号	項目	満足度	独立係数
●毎日の保育サービス	Q.1	食事（給食）・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか	92.3%	0.533
	Q.2	戸外遊びの機会は十分ですか	81.4%	0.253
	Q.3	保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	65.6%	0.213
	Q.4	保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか	88.7%	0.101
	Q.5	安全対策が十分取られていると思いますか	74.5%	0.131
	Q.6	保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	66.4%	0.059
	Q.7	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することはできますか	78.9%	0.044
	Q.8	保育者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか	80.6%	0.107
	平均			78.5%
●お子様や保護者の尊重	Q.9	職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー（秘密）を守っていますか	78.5%	0.049
	Q.10	お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	89.1%	0.245
	Q.11	職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	85.8%	0.110
	平均			84.5%
●要望・意見や不満・トラブルへの対応	Q.12	要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか	50.2%	0.202
	Q.13	保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	56.7%	0.045
	Q.14	要望や不満があったとき、第三者委員（保育所外の苦情解決相談員）などにも相談できることを知っていますか	25.9%	0.024
	平均			44.3%
●利用前の保育園の対応	Q.15	入園に際し保育所から受けた説明は、分かりやすかったですか	25.1%	0.250
全体平均			69.3%	0.161

(2) 毎日の保育サービスについて

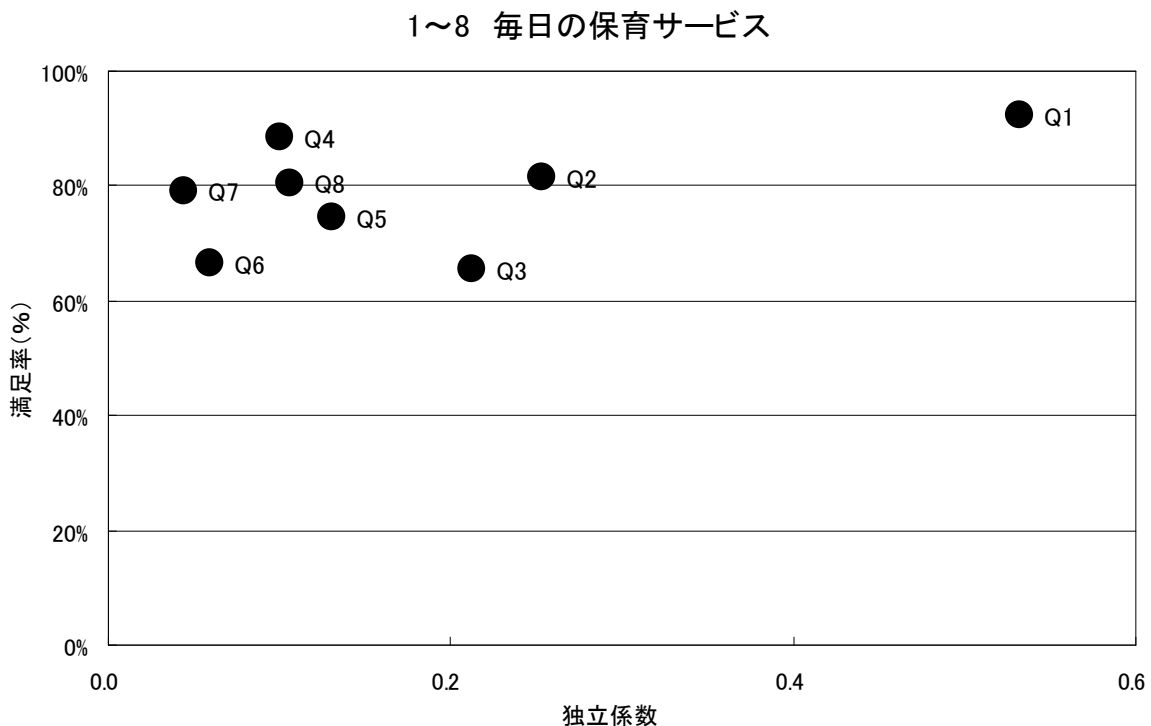
設問1「食事（給食）・おやつ」では、回答者の92.3%が満足との返答で、食事の満足度は高い。また、設問2「戸外遊びの機会の提供」、設問4「体調変化への対応」、設問8「職員の話聞く姿勢」に関しては、回答者の80%以上の方々が満足と答えており、これらの内容に関しても高い満足を得ている。一方、設問3「保護者の急な残業などによる利用時間の変更への柔軟な対応」、設問6「保護者が参加しやすい行事日程」に関しては、満足と答えた方々は回答者の70%を下回る結果となった。保護者の働き方が多様化する中、自由コメントにも利用時間の変更や行事などに関して保護者の意向に沿った柔軟な対応を求める声が数多く寄せられていた。

【満足影響度】

サービスに対する総合的な満足度には、設問1「食事（給食）・おやつ」が強い影響を与えている。「食事（給食）・おやつ」に満足している方々は総合的な満足度が高いといえる。

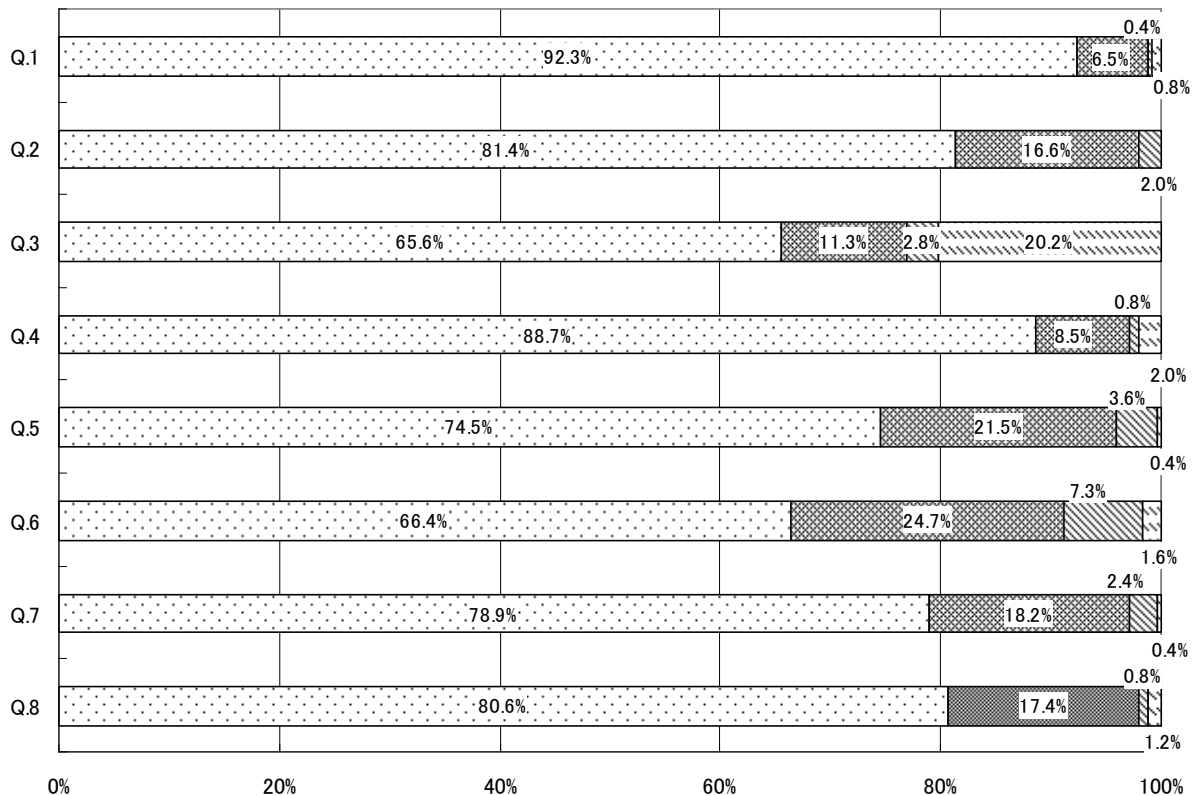
満足率 : 78.5%

独立係数 : 0.180



番号	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.1	食事（給食）・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか	228	16	1	0	2	247
		92.3%	6.5%	0.4%	0.0%	0.8%	100.0%
Q.2	戸外遊びの機会は十分ですか	201	41	5	0	0	247
		81.4%	16.6%	2.0%	0.0%	0.0%	100.0%
Q.3	保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	162	28	7	0	50	247
		65.6%	11.3%	2.8%	0.0%	20.2%	100.0%
Q.4	保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか	219	21	2	0	5	247
		88.7%	8.5%	0.8%	0.0%	2.0%	100.0%
Q.5	安全対策が十分取られていると思いますか	184	53	9	0	1	247
		74.5%	21.5%	3.6%	0.0%	0.4%	100.0%
Q.6	保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	164	61	18	0	4	247
		66.4%	24.7%	7.3%	0.0%	1.6%	100.0%
Q.7	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することはできますか	195	45	6	0	1	247
		78.9%	18.2%	2.4%	0.0%	0.4%	100.0%
Q.8	保育者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか	199	43	2	0	3	247
		80.6%	17.4%	0.8%	0.0%	1.2%	100.0%

□ はい ■ どちらともいえない ▨ いいえ □ 非該当 □ 無回答



(3) 子どもと保護者の尊重について

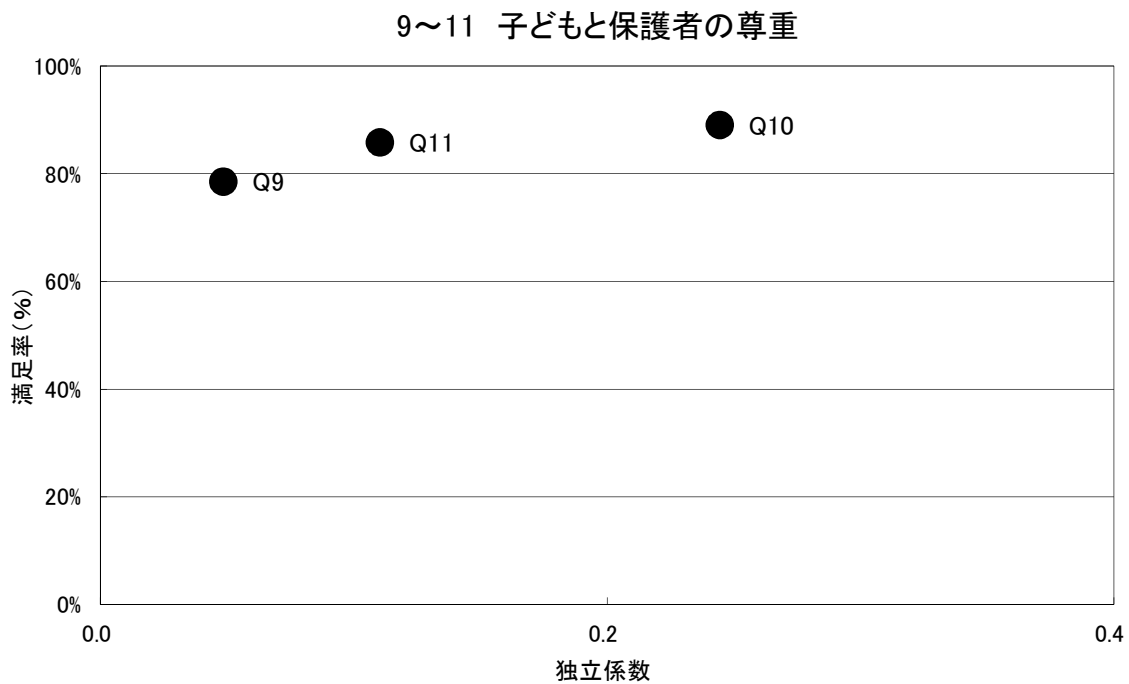
設問 10「お子さんは保育所で大切にされていると思いますか」と設問 11「職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか」に関して、回答者の 80%以上が満足と答えており、職員の子どもと保護者への対応に関しては高い満足を得ている。また、設問 9「職員はプライバシー（秘密）を守っていますか」に関しても回答者の 78.5%の方々が満足と答えており、プライバシー保護に関してもおおむね満足を得ている。

【満足影響度】

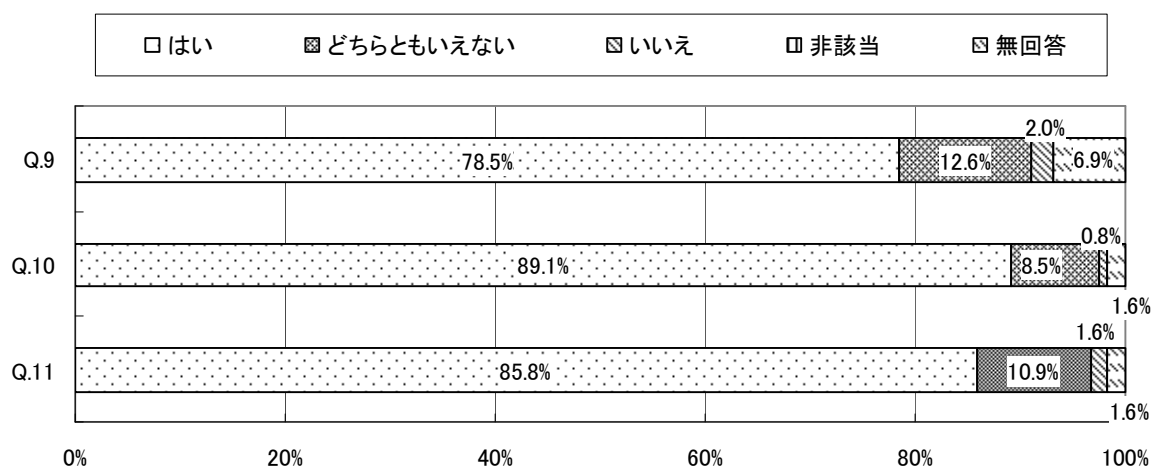
サービスに対する総合的な満足度には、若干設問 10 が影響を与えている。

満足率 : 84.5%

独立係数 : 0.134



番号	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.9	職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー（秘密）を守っていますか	194	31	5	0	17	247
		78.5%	12.6%	2.0%	0.0%	6.9%	100.0%
Q.10	お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	220	21	2	0	4	247
		89.1%	8.5%	0.8%	0.0%	1.6%	100.0%
Q.11	職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	212	27	4	0	4	247
		85.8%	10.9%	1.6%	0.0%	1.6%	100.0%



(4) 要望・意見やトラブルへの対応について

設問 12「要望や不満は言いやすい」と設問 13「要望や不満などにきちんと対応している」に関して、満足と答えた方々が回答者の 60%を下回る結果となっている。保護者が保育士や園に対して何でも相談できるような雰囲気づくりや仕組みづくりが課題である。

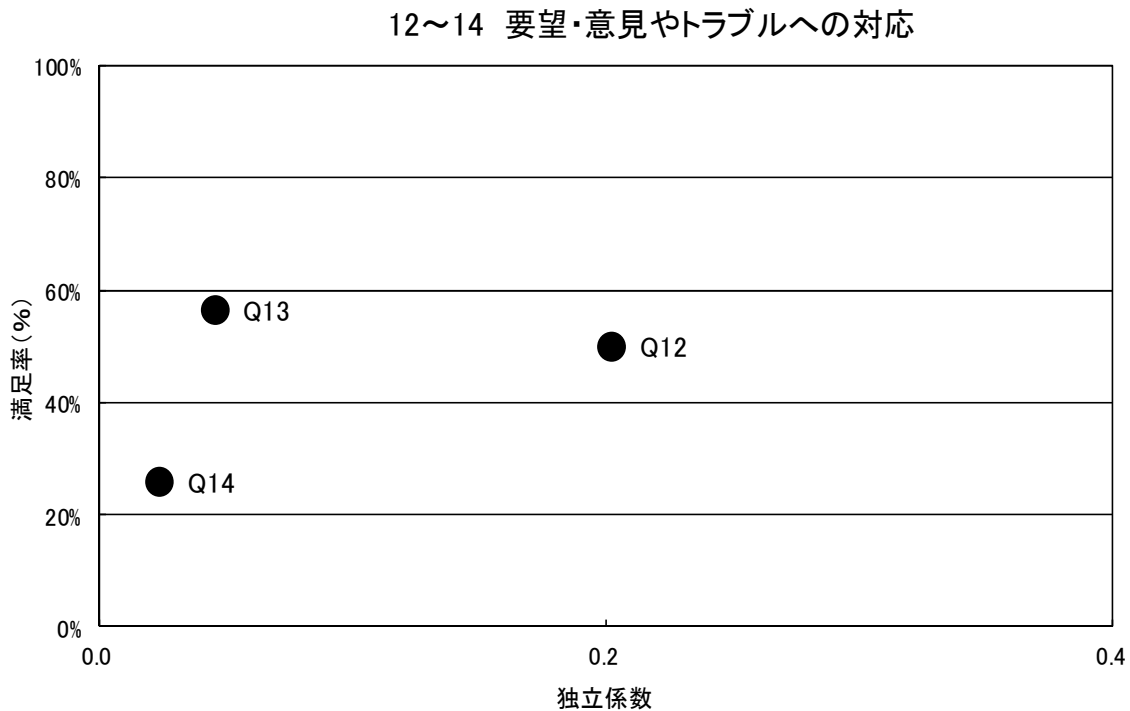
また、設問 14「第三者委員にも相談できることを知っている」と答えた方々は回答者の 30%以下で、全設問の中で最も満足度が低い。第三者委員などの外部の相談窓口についてのさらなる周知徹底が望まれる。

【満足影響度】

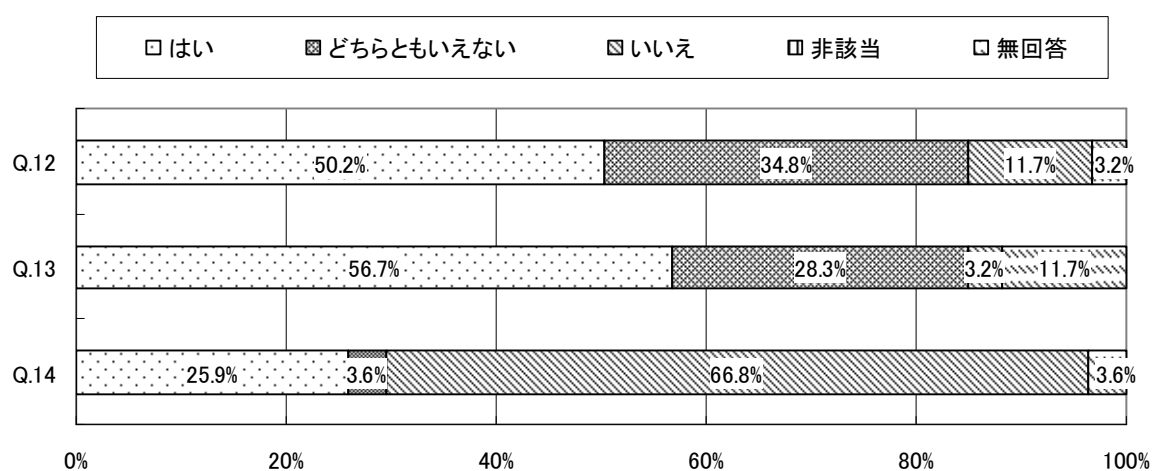
サービスに対する総合的な満足度には設問 12,13,14 は影響を与えていない。

満足率 : 44.3%

独立係数 : 0.090



番号	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.12	要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか	124	86	29	0	8	247
		50.2%	34.8%	11.7%	0.0%	3.2%	100.0%
Q.13	保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	140	70	8	0	29	247
		56.7%	28.3%	3.2%	0.0%	11.7%	100.0%
Q.14	要望や不満があったとき、第三者委員（保育所外の苦情解決相談員）などにも相談できることを知っていますか	64	9	165	0	9	247
		25.9%	3.6%	66.8%	0.0%	3.6%	100.0%



(5) 利用(入園)前の保育園の対応について

回答者 247 名中 73 名 (29.6%) の方々が「1 年以内に利用を開始した」と返答され、その 73 名中 69 名 (94.5%) の方々が「保育所の利用を始める前に保育所から保育内容などの説明があった」と答え、その 69 名中 54 名(78.3%)の方々が「園から受けた説明はわかりやすかった」と回答している。利用前の不安の解消についてはおおむね満足をしている。

◆過去 1 年以内にこの施設を利用し始めましたか

	人	%
1. はい	73	29.6%
2. いいえ	174	70.4%
非該当・無回答	0	0.0%
合計	247	100.0%

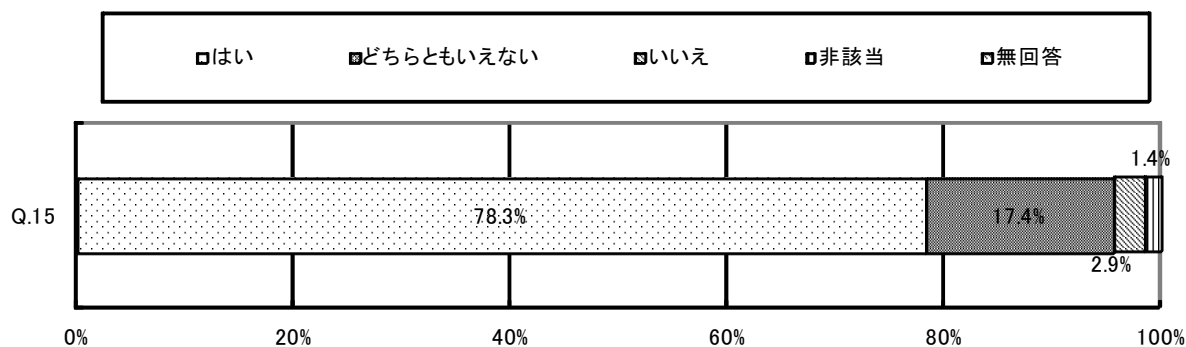
◆過去 1 年以内に施設を利用した方々 73 名が対象

保育所の利用を始める前に、保育所から保育内容などの説明がありましたか

	人	%
1. はい	69	94.5%
3. いいえ	3	4.1%
非該当・無回答	1	1.4%
合計	73	100%

◆保育所から保育内容などの説明を受けたと答えた方々 69 名の方々が対象

番号	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.15	入園に際し保育所から受けた説明は、わかりやすかったですか	54	12	2	1	0	69
		78.3%	17.4%	2.9%	1.4%	0.0%	100.0%



(6) クロス集計結果

父親の母集団は5名と小規模であったが、回答者全員が「大変満足」「満足」と答えており、父親の園に対する総合的な満足度は高い。また、「母親」も回答者の88.6%が「大変満足」「満足」と答えており、園に対する満足度は高い。ただし、父親の満足度よりは下回り、「どちらともいえない」「不満」と答えた方々も回答者の11.4%おられた。

年齢別では、20歳以上25歳未満の1名が「大変満足」と答えているが、それ以外で「大変満足」と答えた方々が多い年齢は25歳以上30歳未満であった。また、「大変満足」「満足」と答えた方々の割合が高いのは50歳以上の方々であった。

① 調査記入者と現在利用の保育園の総合的満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
父	回答者数(人)	5	3	2	0	0	0	0
	回答率(%)	100.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
母	回答者数(人)	202	75	104	17	6	0	0
	回答率(%)	100.0%	37.1%	51.5%	8.4%	3.0%	0.0%	0.0%
父母	回答者数(人)	15	4	8	1	0	2	0
	回答率(%)	100.0%	26.7%	53.3%	6.7%	0.0%	13.3%	0.0%
その他	回答者数(人)	0	0	0	0	0	0	0
	回答率(%)	-	-	-	-	-	-	-
非該当・ 無回答	回答者数(人)	25	5	11	1	0	0	8
	回答率(%)	100.0%	20.0%	44.0%	4.0%	0.0%	0.0%	32.0%
全体(人)		247	87	125	19	6	2	8

② 調査記入者の年齢と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
20歳未満	回答者数(人)	0	0	0	0	0	0	0
	回答率(%)	-	-	-	-	-	-	-
20～25歳未 満	回答者数(人)	1	1	0	0	0	0	0
	回答率(%)	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25～30歳未 満	回答者数(人)	13	6	5	2	0	0	0
	回答率(%)	100.0%	46.2%	38.5%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
30～35歳未 満	回答者数(人)	51	21	25	5	0	0	0
	回答率(%)	100.0%	41.2%	49.0%	9.8%	0.0%	0.0%	0.0%
35～40歳未 満	回答者数(人)	89	34	46	4	3	2	0
	回答率(%)	100.0%	38.2%	51.7%	4.5%	3.4%	2.2%	0.0%
40～50歳未 満	回答者数(人)	65	19	36	7	3	0	0
	回答率(%)	100.0%	29.2%	55.4%	10.8%	4.6%	0.0%	0.0%
50歳以上	回答者数(人)	3	1	2	0	0	0	0
	回答率(%)	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	25	5	11	1	0	0	8
	回答率(%)	100.0%	20.0%	44.0%	4.0%	0.0%	0.0%	32.0%
全体(人)		247	87	125	19	6	2	8

③-1 父親の勤務形態と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤	回答者数 (人)	179	69	88	15	5	2	0
	回答率 (%)	100.0%	38.5%	49.2%	8.4%	2.8%	1.1%	0.0%
パート・ アルバイト	回答者数 (人)	4	0	3	1	0	0	0
	回答率 (%)	100.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自営業	回答者数 (人)	27	10	14	2	1	0	0
	回答率 (%)	100.0%	37.0%	51.9%	7.4%	3.7%	0.0%	0.0%
無職	回答者数 (人)	0	0	0	0	0	0	0
	回答率 (%)	-	-	-	-	-	-	-
その他	回答者数 (人)	1	0	1	0	0	0	0
	回答率 (%)	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答・ 非該当	回答者数 (人)	36	8	19	1	0	0	8
	回答率 (%)	100.0%	22.2%	52.8%	2.8%	0.0%	0.0%	22.2%
全体 (人)		247	87	125	19	6	2	8

③-2 母親の勤務形態と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤	回答者数 (人)	185	64	99	15	6	1	0
	回答率 (%)	100.0%	34.6%	53.5%	8.1%	3.2%	0.5%	0.0%
パート・ アルバイト	回答者数 (人)	22	11	9	1	0	1	0
	回答率 (%)	100.0%	50.0%	40.9%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%
自営業	回答者数 (人)	6	3	2	1	0	0	0
	回答率 (%)	100.0%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	回答者数 (人)	1	1	0	0	0	0	0
	回答率 (%)	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数 (人)	8	3	4	1	0	0	0
	回答率 (%)	100.0%	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答・ 非該当	回答者数 (人)	25	5	11	1	0	0	8
	回答率 (%)	100.0%	20.0%	44.0%	4.0%	0.0%	0.0%	32.0%
全体 (人)		247	87	125	19	6	2	8

③-3 その他のお迎えに行く方の勤務形態と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤	回答者数 (人)	8	2	4	2	0	0	0
	回答率 (%)	100.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
パート・ アルバイト	回答者数 (人)	6	2	4	0	0	0	0
	回答率 (%)	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自営業	回答者数 (人)	2	1	1	0	0	0	0
	回答率 (%)	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	回答者数 (人)	7	2	3	2	0	0	0
	回答率 (%)	100.0%	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数 (人)	0	0	0	0	0	0	0
	回答率 (%)	-	-	-	-	-	-	-
無回答・ 非該当	回答者数 (人)	224	80	113	15	6	2	8
	回答率 (%)	100.0%	35.7%	50.4%	6.7%	2.7%	0.9%	3.6%
全体 (人)		247	87	125	19	6	2	8

(7) 自由意見

調査票の質問別記述欄に寄せられた意見を、回答の内容によって整理すると、次の通りとなる。

大分類	中分類	件数	内容
1. 毎日の保育	1. 食事・おやつ	28	メニューのバリエーションや量・年齢月齢に応じた内容・使っている食材・アレルギー対応・イベント時や季節ごとの特別メニュー
	2. 散歩・園外活動	37	頻度や場所、自然との関わり・泥遊びなど活動内容
	3. 不定时保育	26	登園・降園時間の融通、延長保育・保育者の都合による保育への対応・悪天候時の臨時対応
	4. 保健・衛生（病気、ケガ、健康）	24	発熱時への対応と保護者への連絡・与薬・ケガへの対応と保護者への説明・健康管理や病気予防
	5. 安全性・園舎・園庭・周辺環境	31	安全対策・園や周辺環境・園外での水分補給（水道水）・園出入り口の施設環境・建物の老朽化や耐震性への不安
	6. 行事の内容や日程・保護者会	47	行事や保護者会の内容や開催日時、日時の連絡・父母会
	7. 子育て等に関する個別相談	37	子どもに気持ちや様子についての連絡（主に送迎時）・育児相談
	8. 保護者に対する職員の姿勢	26	相談のしやすさ・相談事への対応・日々の連絡
2. 子ども・保護者の尊重	9. プライバシー保護	12	プライバシー保護
	10. 子ども・保護者の気持ちの尊重	24	気持ちに配慮した言葉遣いや態度・子どもへの対応
	11. 職員の対応	27	保育士・園の対応・雰囲気・挨拶・丁寧さ・言葉遣い等
3. 不満・要望・トラブルの対応	12. 要望・不満の言いやすさ	39	言いやすい雰囲気・聞く姿勢・言ったあとの対応
	13. 不満・トラブル対応	22	不満やトラブルへの対応の的確さ
	14. 第三者委員苦情窓口	12	第三者委員など外部窓口の周知
4. 利用前の対応	15. 入園時説明	10	利用前の保育内容の説明・必要書類の提出方法

3. 各保育園の利用者調査結果

園ごとの利用者調査結果は、それぞれ次の通りである。

和
田
保
育
園

1. 和田保育園 19

松
庵
保
育
園

2. 松庵保育園 24

下
井
草
保
育
園

3. 下井草保育園 29

上
井
草
保
育
園

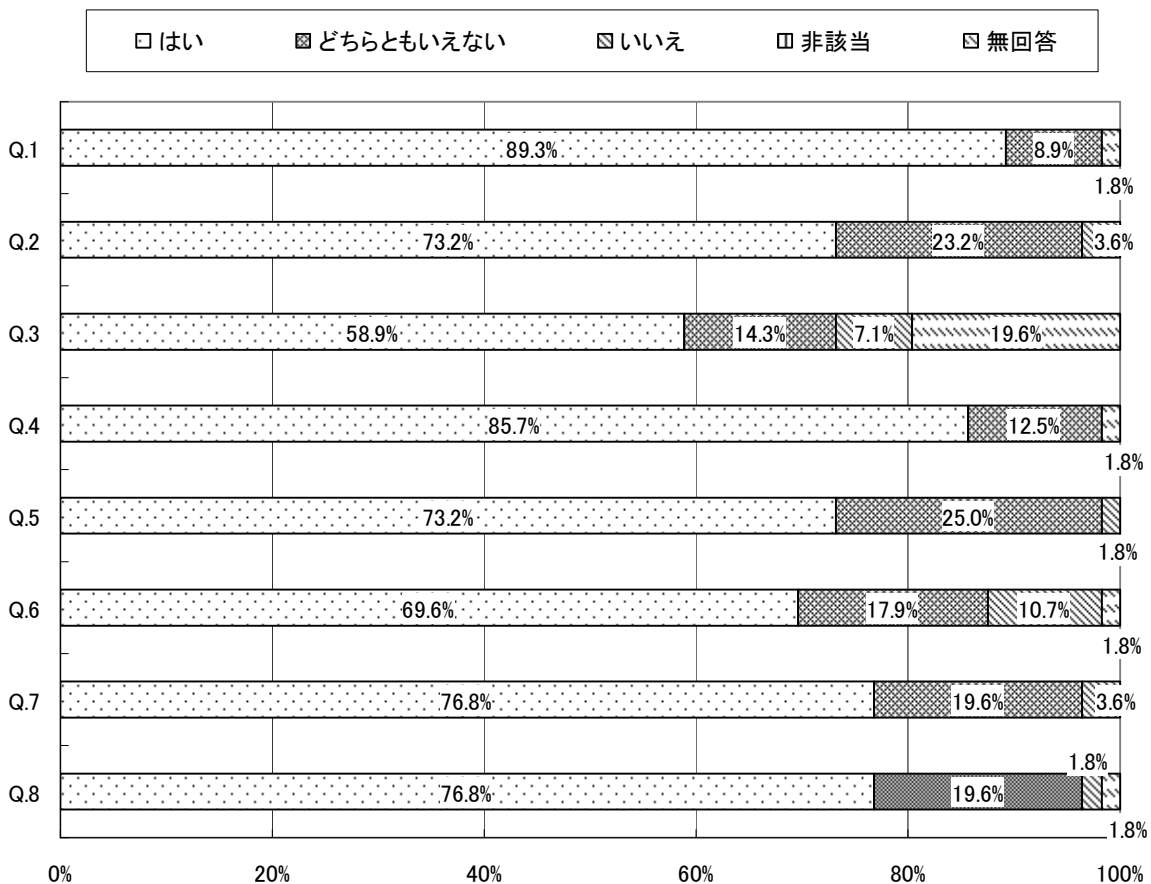
4. 上井草保育園 34

和田保育園

和田
保育園

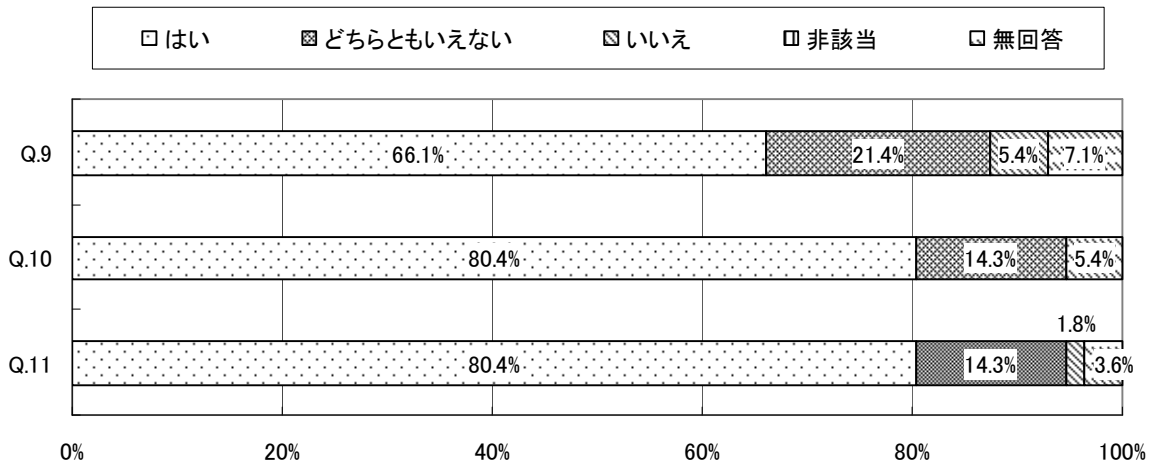
(1) 毎日の保育サービスについて

番号	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.1	食事(給食)・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか	50	5	0	0	1	56
		89.3%	8.9%	0.0%	0.0%	1.8%	100.0%
Q.2	戸外遊びの機会は十分ですか	41	13	2	0	0	56
		73.2%	23.2%	3.6%	0.0%	0.0%	100.0%
Q.3	保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	33	8	4	0	11	56
		58.9%	14.3%	7.1%	0.0%	19.6%	100.0%
Q.4	保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか	48	7	0	0	1	56
		85.7%	12.5%	0.0%	0.0%	1.8%	100.0%
Q.5	安全対策が十分取られていると思いますか	41	14	1	0	0	56
		73.2%	25.0%	1.8%	0.0%	0.0%	100.0%
Q.6	保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	39	10	6	0	1	56
		69.6%	17.9%	10.7%	0.0%	1.8%	100.0%
Q.7	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することはできますか	43	11	2	0	0	56
		76.8%	19.6%	3.6%	0.0%	0.0%	100.0%
Q.8	保育者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか	43	11	1	0	1	56
		76.8%	19.6%	1.8%	0.0%	1.8%	100.0%



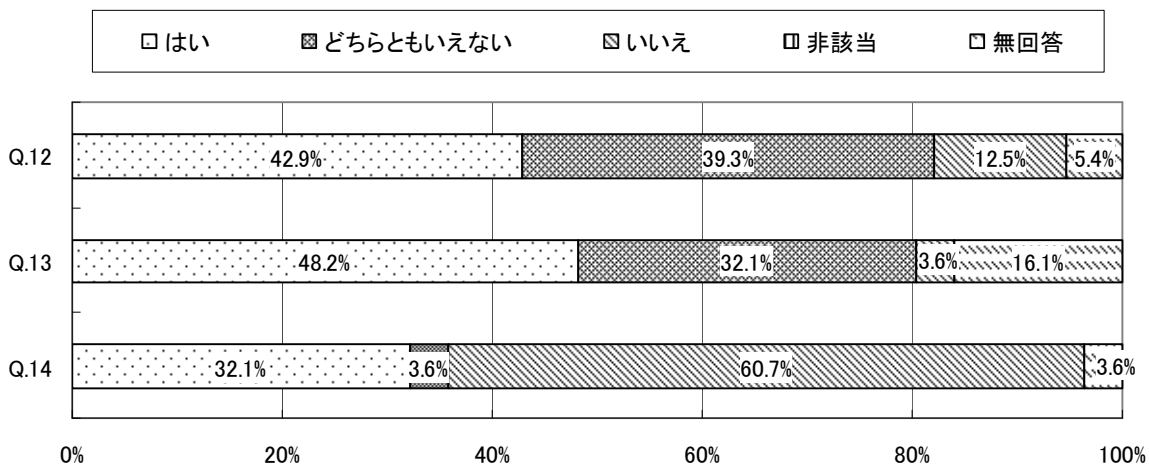
(2) お子様や保育者の尊重について

番号	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.9	職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー（秘密）を守っていますか	37	12	3	0	4	56
		66.1%	21.4%	5.4%	0.0%	7.1%	100.0%
Q.10	お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	45	8	0	0	3	56
		80.4%	14.3%	0.0%	0.0%	5.4%	100.0%
Q.11	職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	45	8	1	0	2	56
		80.4%	14.3%	1.8%	0.0%	3.6%	100.0%



(3) お子様や保育者の尊重について

番号	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.12	要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか	24	22	7	0	3	56
		42.9%	39.3%	12.5%	0.0%	5.4%	100.0%
Q.13	保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	27	18	2	0	9	56
		48.2%	32.1%	3.6%	0.0%	16.1%	100.0%
Q.14	要望や不満があったとき、第三者委員（保育所外の苦情解決相談員）などにも相談できることを知っていますか	18	2	34	0	2	56
		32.1%	3.6%	60.7%	0.0%	3.6%	100.0%



(4) 利用(入園)前の保育園の対応について

◆過去1年以内にこの施設を利用し始めましたか

	人	%
1. はい	19	33.9%
2. いいえ	37	66.1%
非該当・無回答	0	0.0%
合計	56	100.0%

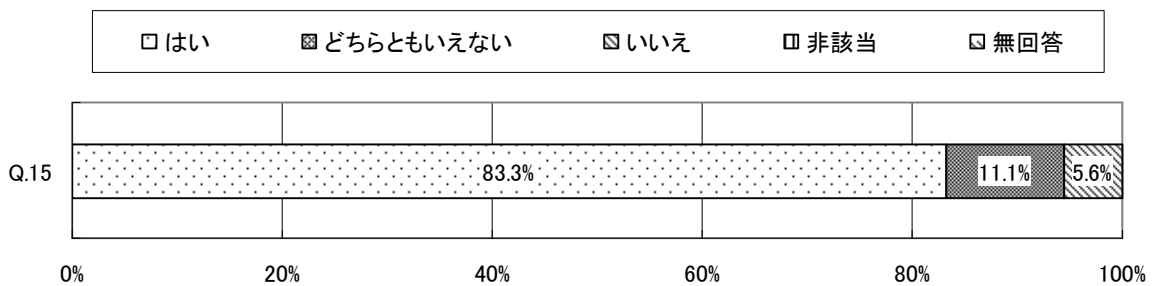
◆過去1年以内に施設を利用した方々19名が対象

保育所の利用を始める前に、保育所から保育内容などの説明がありましたか

	人	%
1. はい	18	94.7%
2. いいえ	1	5.3%
非該当・無回答	0	0.0%
合計	19	100%

◆保育所から保育内容などの説明を受けたと答えた方々18名の方々が対象

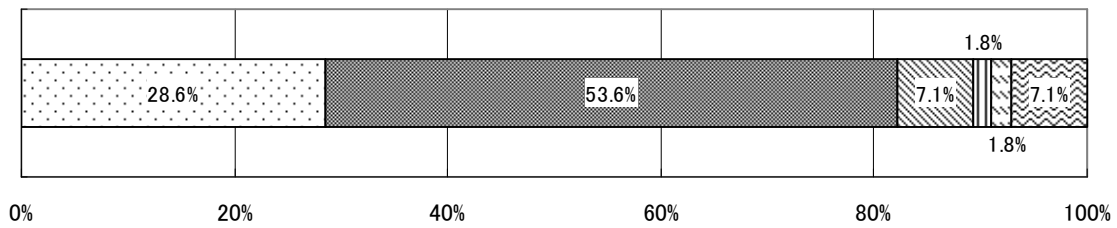
番号	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.15	入園に際し保育所から受けた説明は、分かりやすかったですか	15	2	1	0	0	18
		83.3%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%	100.0%



(5) 総合的な満足度について

総合満足度	回答数 (人)	回答率 (%)
大変満足	16	28.6%
満足	30	53.6%
どちらともいえない	4	7.1%
不満	1	1.8%
大変不満	1	1.8%
無回答	4	7.1%
合計	56	100.0%

大変満足
 満足
 どちらともいえない
 不満
 大変不満
 無回答



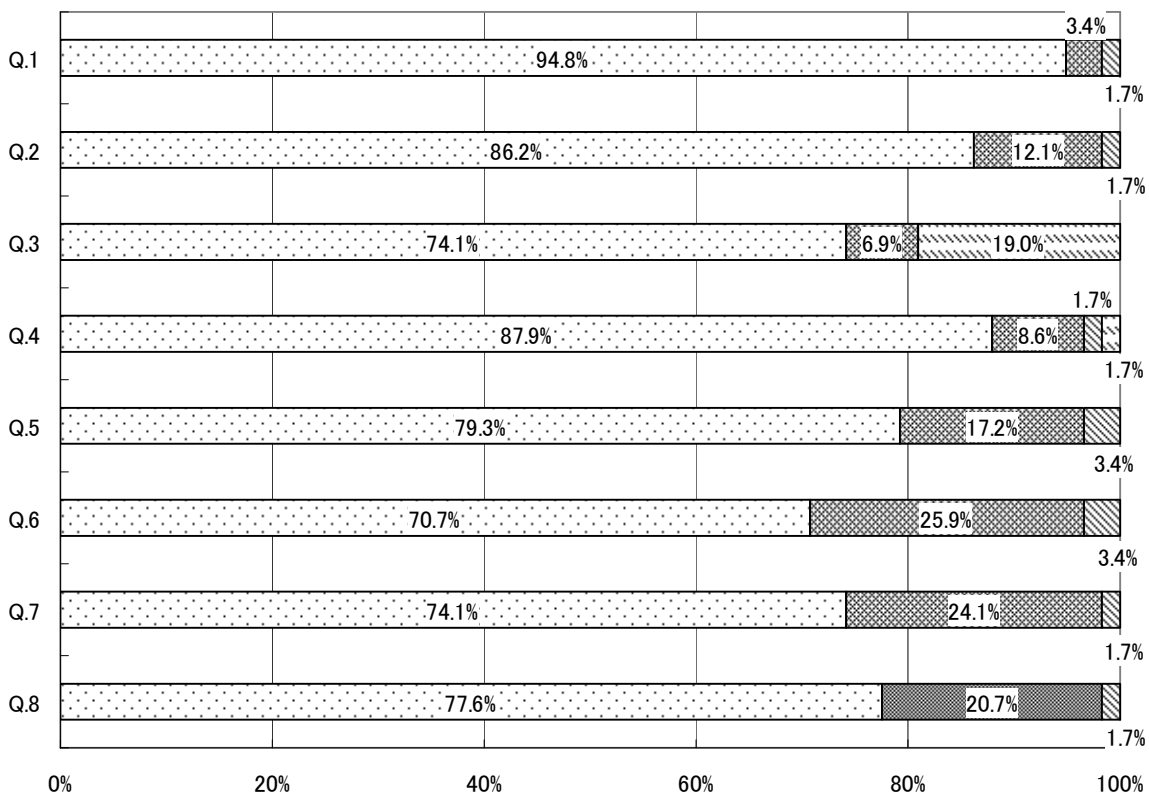
松 庵 保 育 園

松
庵
保
育
園

(1) 毎日の保育サービスについて

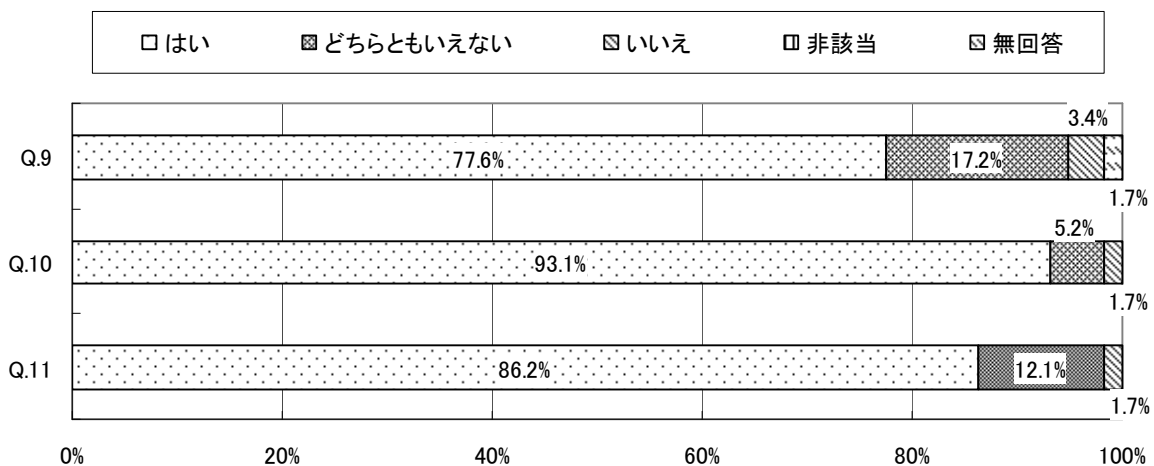
番号	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.1	食事(給食)・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか	55	2	1	0	0	58
		94.8%	3.4%	1.7%	0.0%	0.0%	100.0%
Q.2	戸外遊びの機会は十分ですか	50	7	1	0	0	58
		86.2%	12.1%	1.7%	0.0%	0.0%	100.0%
Q.3	保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	43	4	0	0	11	58
		74.1%	6.9%	0.0%	0.0%	19.0%	100.0%
Q.4	保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか	51	5	1	0	1	58
		87.9%	8.6%	1.7%	0.0%	1.7%	100.0%
Q.5	安全対策が十分取られていると思いますか	46	10	2	0	0	58
		79.3%	17.2%	3.4%	0.0%	0.0%	100.0%
Q.6	保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	41	15	2	0	0	58
		70.7%	25.9%	3.4%	0.0%	0.0%	100.0%
Q.7	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することはできますか	43	14	1	0	0	58
		74.1%	24.1%	1.7%	0.0%	0.0%	100.0%
Q.8	保育者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか	45	12	1	0	0	58
		77.6%	20.7%	1.7%	0.0%	0.0%	100.0%

はい
 どちらともいえない
 いいえ
 非該当
 無回答



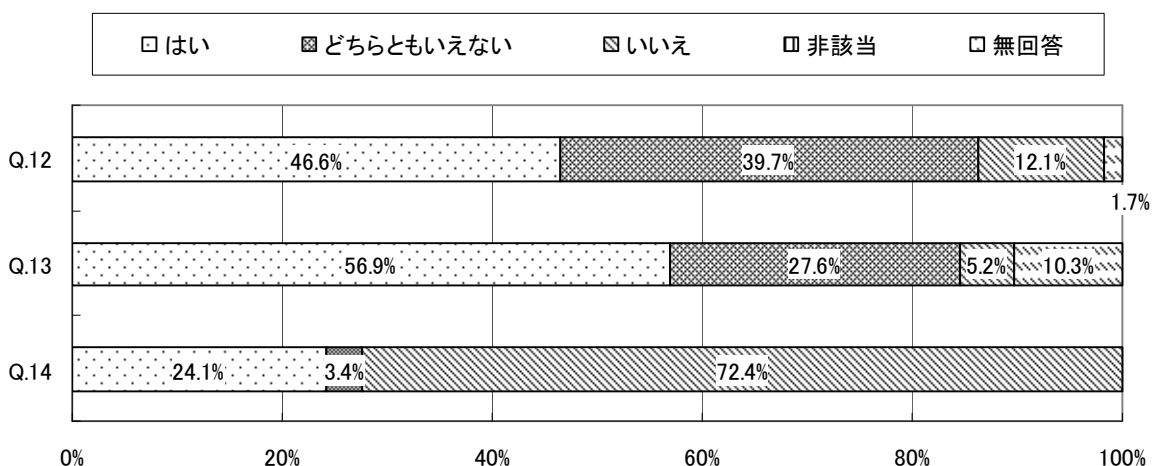
(2) お子様や保育者の尊重について

番号	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.9	職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー（秘密）を守っていますか	45	10	2	0	1	58
		77.6%	17.2%	3.4%	0.0%	1.7%	100.0%
Q.10	お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	54	3	1	0	0	58
		93.1%	5.2%	1.7%	0.0%	0.0%	100.0%
Q.11	職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	50	7	1	0	0	58
		86.2%	12.1%	1.7%	0.0%	0.0%	100.0%



(3) 要望・意見やトラブルへの対応について

番号	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.12	要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか	27	23	7	0	1	58
		46.6%	39.7%	12.1%	0.0%	1.7%	100.0%
Q.13	保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	33	16	3	0	6	58
		56.9%	27.6%	5.2%	0.0%	10.3%	100.0%
Q.14	要望や不満があったとき、第三者委員（保育所外の苦情解決相談員）などにも相談できることを知っていますか	14	2	42	0	0	58
		24.1%	3.4%	72.4%	0.0%	0.0%	100.0%



(4) 利用（入園）前の保育園の対応について

◆過去1年以内にこの施設を利用し始めましたか

	人	%
1. はい	15	25.9%
2. いいえ	43	74.1%
非該当・無回答	0	0.0%
合計	58	100.0%

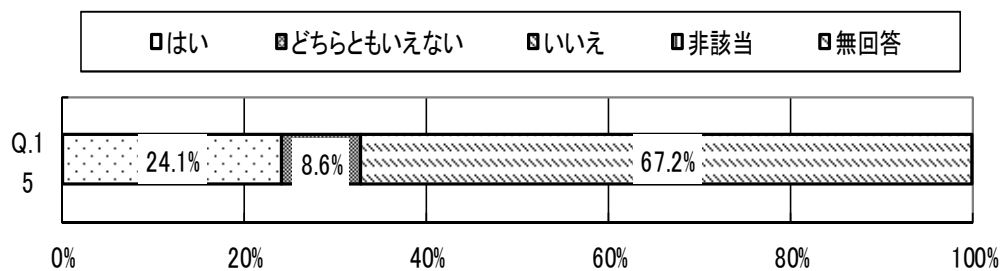
◆過去1年以内に施設を利用した方々15名が対象

保育所の利用を始める前に、保育所から保育内容などの説明がありましたか

	人	%
1. はい	15	100.0%
2. いいえ	0	0.0%
非該当・無回答	0	0.0%
合計	15	100%

◆保育所から保育内容などの説明を受けたと答えた方々18名の方々が対象

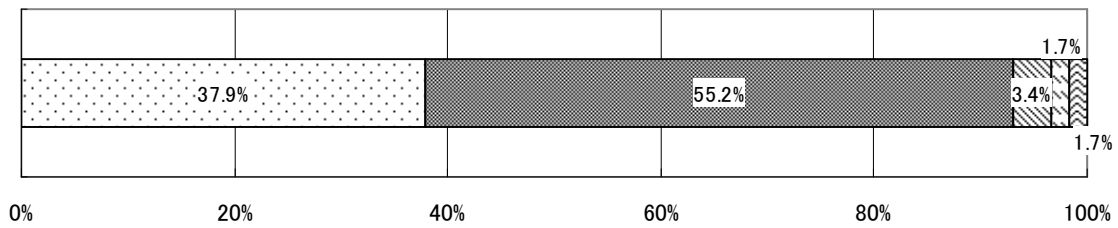
番号	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.15	入園に際し保育所から受けた説明は、分かりやすかったですか	13	2	0	0	0	15
		24.1%	8.6%	0.0%	0.0%	67.2%	100.0%



(5) 総合的な満足度について

総合満足度	回答数 (人)	回答率 (%)
大変満足	22	37.9%
満足	32	55.2%
どちらともいえない	2	3.4%
不満	0	0.0%
大変不満	1	1.7%
無回答	1	1.7%
合計	58	100.0%

大変満足
 満足
 どちらともいえない
 不満
 大変不満
 無回答



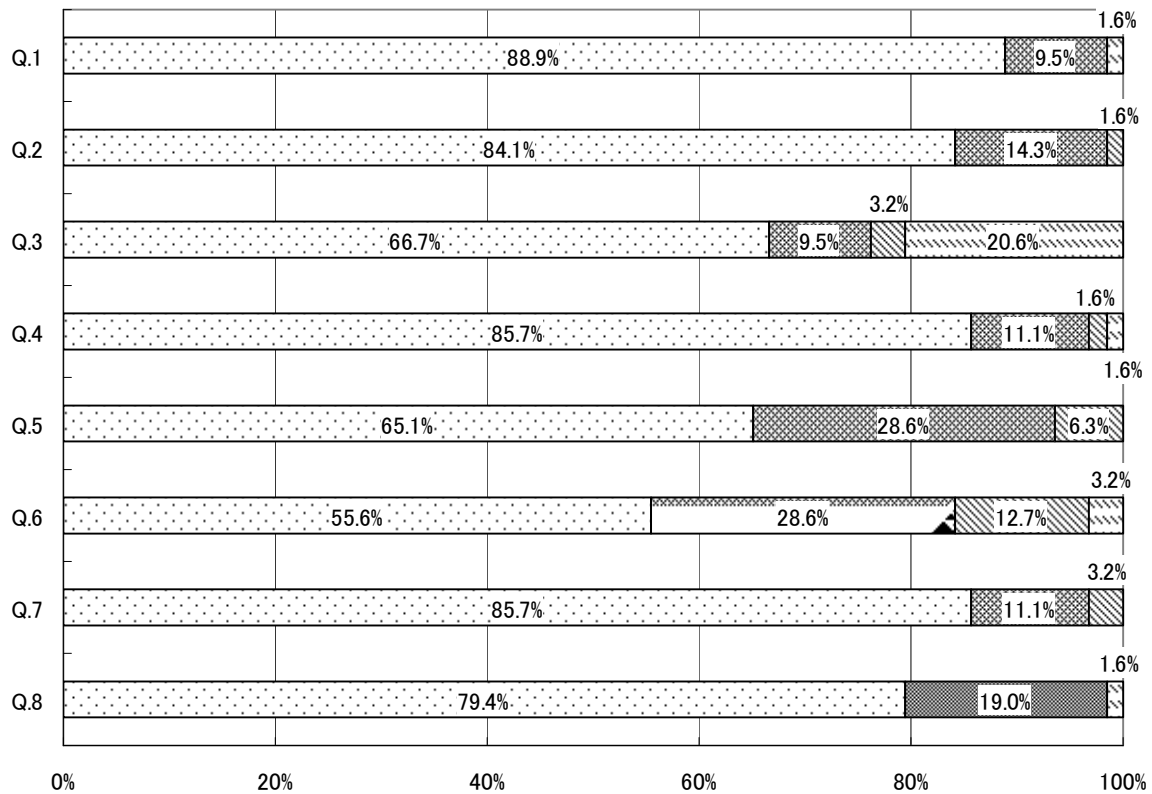
下井草保育園

下井草
保育園

(1) 毎日の保育サービスについて

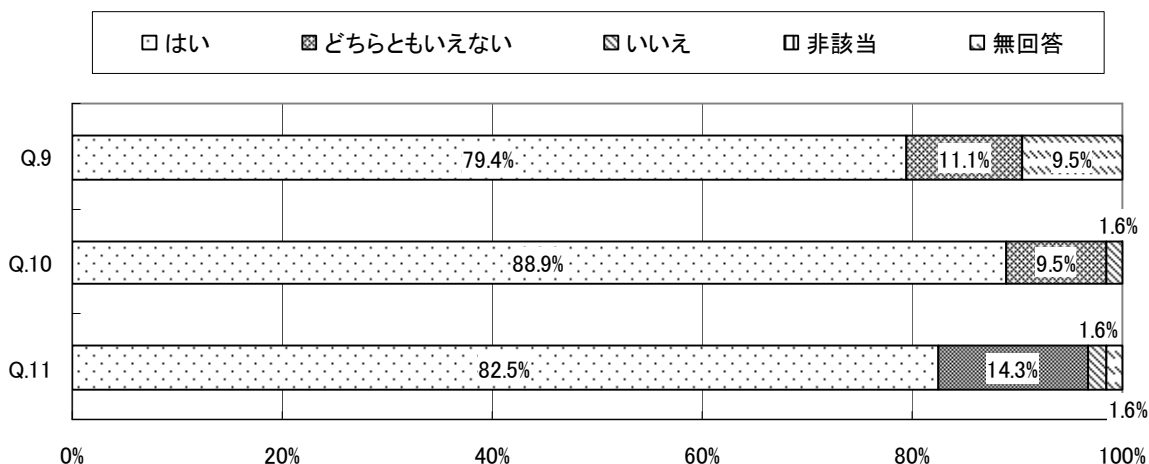
番号	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.1	食事（給食）・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか	56	6	0	0	1	63
		88.9%	9.5%	0.0%	0.0%	1.6%	100.0%
Q.2	戸外遊びの機会は十分ですか	53	9	1	0	0	63
		84.1%	14.3%	1.6%	0.0%	0.0%	100.0%
Q.3	保護者の急な残業などであらかじめ決められた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	42	6	2	0	13	63
		66.7%	9.5%	3.2%	0.0%	20.6%	100.0%
Q.4	保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか	54	7	1	0	1	63
		85.7%	11.1%	1.6%	0.0%	1.6%	100.0%
Q.5	安全対策が十分取られていると思いますか	41	18	4	0	0	63
		65.1%	28.6%	6.3%	0.0%	0.0%	100.0%
Q.6	保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	35	18	8	0	2	63
		55.6%	28.6%	12.7%	0.0%	3.2%	100.0%
Q.7	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することはできますか	54	7	2	0	0	63
		85.7%	11.1%	3.2%	0.0%	0.0%	100.0%
Q.8	保育者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか	50	12	0	0	1	63
		79.4%	19.0%	0.0%	0.0%	1.6%	100.0%

はい
 どちらともいえない
 いいえ
 非該当
 無回答



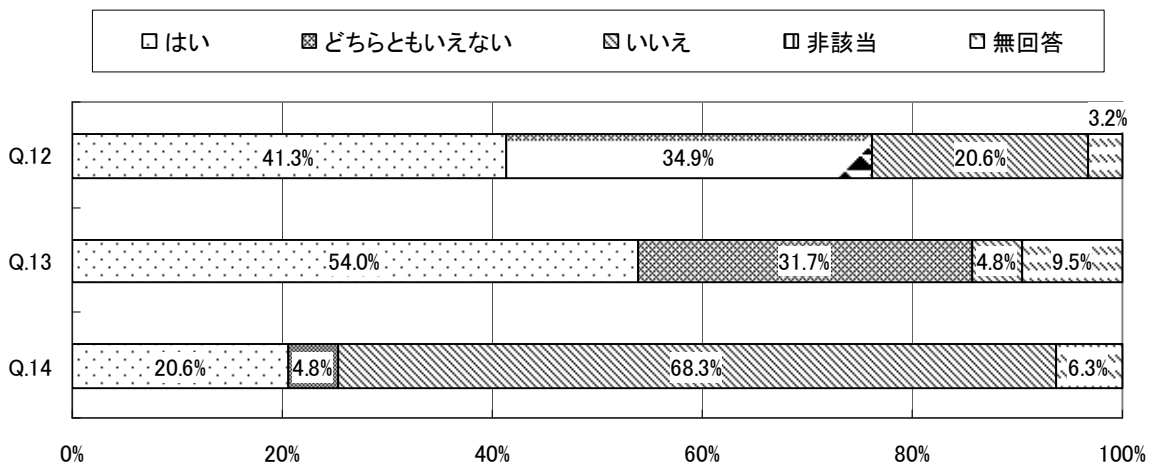
(2) お子様や保育者の尊重について

番号	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.9	職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー（秘密）を守っていますか	50	7	0	0	6	63
		79.4%	11.1%	0.0%	0.0%	9.5%	100.0%
Q.10	お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	56	6	1	0	0	63
		88.9%	9.5%	1.6%	0.0%	0.0%	100.0%
Q.11	職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	52	9	1	0	1	63
		82.5%	14.3%	1.6%	0.0%	1.6%	100.0%



(3) 要望・意見やトラブルへの対応について

番号	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.12	要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか	26	22	13	0	2	63
		41.3%	34.9%	20.6%	0.0%	3.2%	100.0%
Q.13	保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	34	20	3	0	6	63
		54.0%	31.7%	4.8%	0.0%	9.5%	100.0%
Q.14	要望や不満があったとき、第三者委員（保育所外の苦情解決相談員）などにも相談できることを知っていますか	13	3	43	0	4	63
		20.6%	4.8%	68.3%	0.0%	6.3%	100.0%



(4) 利用(入園)前の保育園の対応について

◆過去1年以内にこの施設を利用し始めましたか

	人	%
1. はい	18	100.0%
2. いいえ	0	0.0%
非該当・無回答	0	0.0%
合計	18	100%

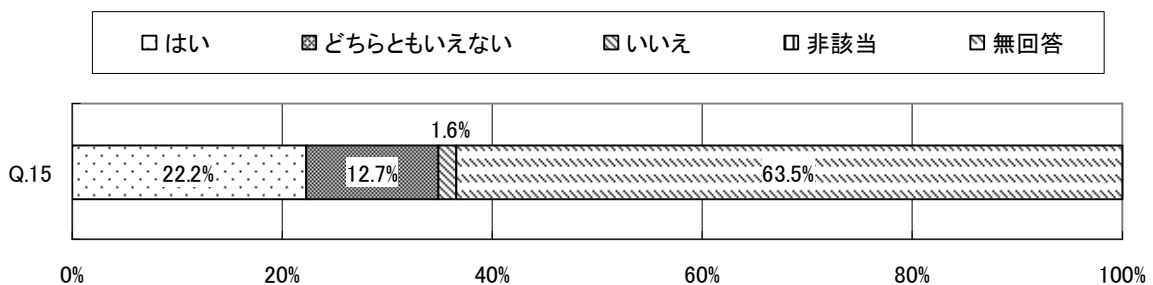
◆過去1年以内に施設を利用した方々18名が対象

保育所の利用を始める前に、保育所から保育内容などの説明がありましたか

	人	%
1. はい	18	100.0%
2. いいえ	0	0.0%
非該当・無回答	0	0.0%
合計	18	100%

◆保育所から保育内容などの説明を受けたと答えた方々18名の方々が対象

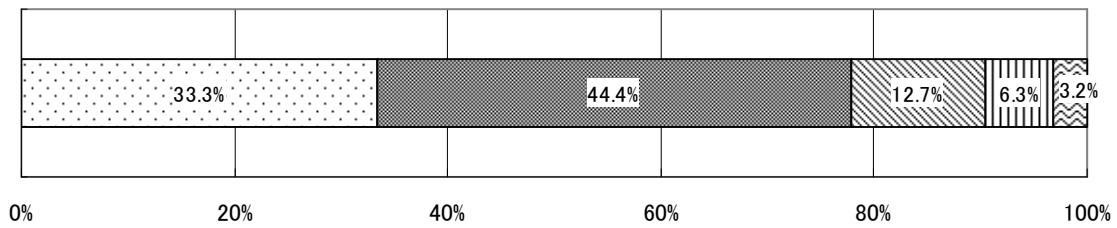
番号	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.15	入園に際し保育所から受けた説明は、分かりやすかったですか	11	6	1	0	0	18
		22.2%	12.7%	1.6%	0.0%	63.5%	100.0%



(5) 総合的な満足度について

総合満足度	回答数 (人)	回答率 (%)
大変満足	21	33.3%
満足	28	44.4%
どちらともいえない	8	12.7%
不満	4	6.3%
大変不満	0	0.0%
無回答	2	3.2%
合計	63	100.0%

大変満足
 満足
 どちらともいえない
 不満
 大変不満
 無回答



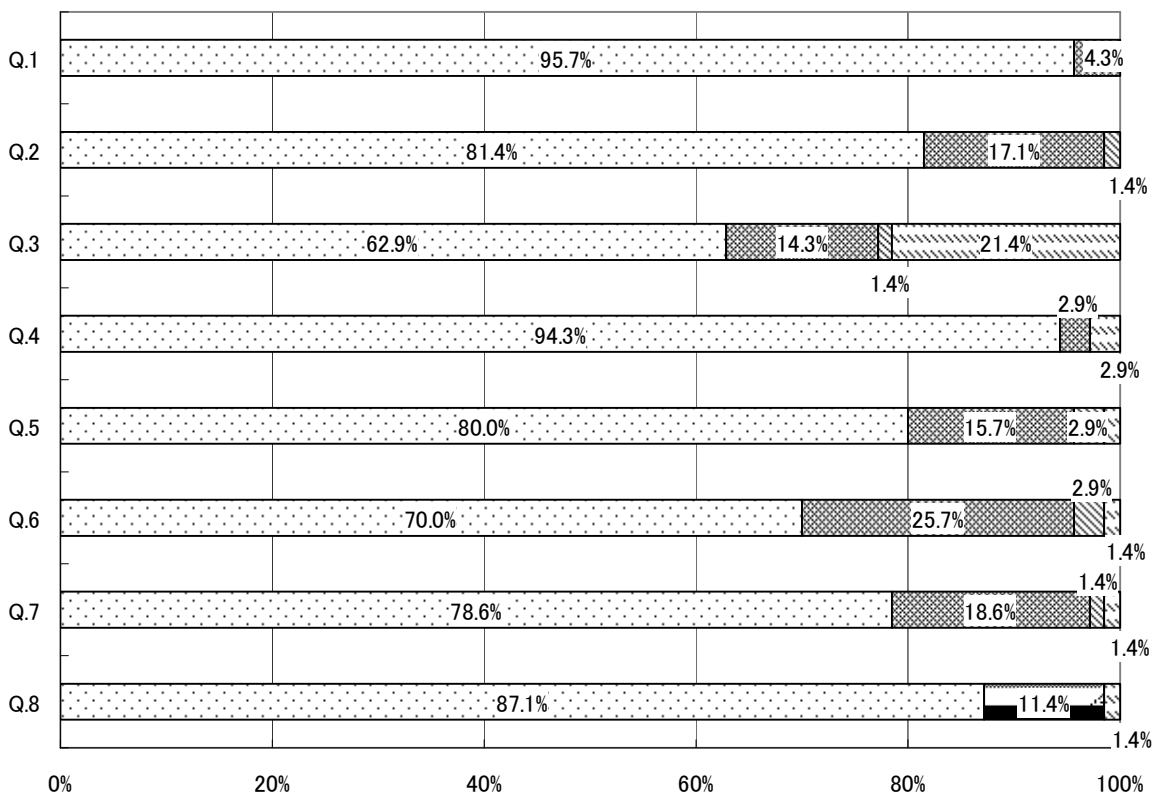
上井草保育園

上井草
保育園

(1) 毎日の保育サービスについて

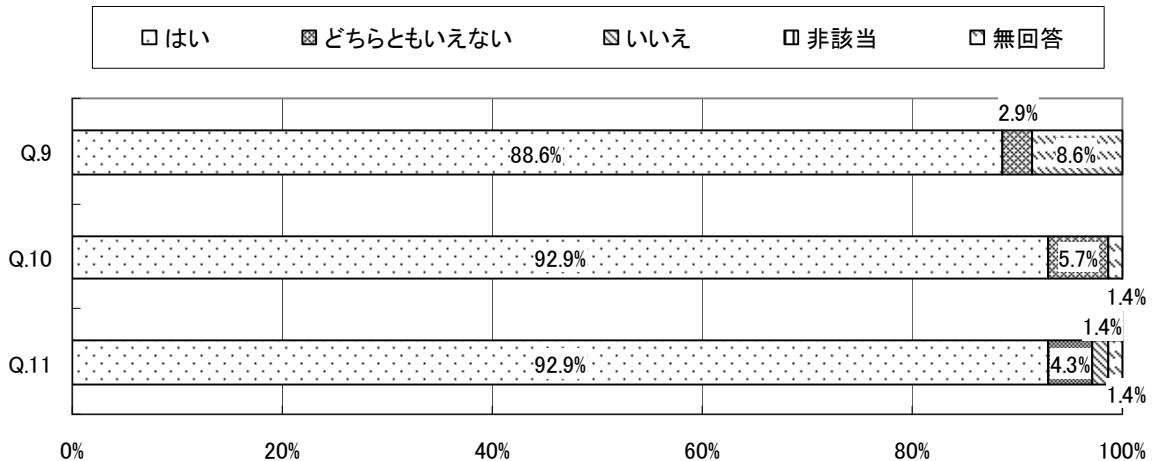
番号	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.1	食事(給食)・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか	67	3	0	0	0	70
		95.7%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
Q.2	戸外遊びの機会は十分ですか	57	12	1	0	0	70
		81.4%	17.1%	1.4%	0.0%	0.0%	100.0%
Q.3	保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	44	10	1	0	15	70
		62.9%	14.3%	1.4%	0.0%	21.4%	100.0%
Q.4	保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか	66	2	0	0	2	70
		94.3%	2.9%	0.0%	0.0%	2.9%	100.0%
Q.5	安全対策が十分取られていると思いますか	56	11	2	0	1	70
		80.0%	15.7%	2.9%	0.0%	1.4%	100.0%
Q.6	保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	49	18	2	0	1	70
		70.0%	25.7%	2.9%	0.0%	1.4%	100.0%
Q.7	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することはできますか	55	13	1	0	1	70
		78.6%	18.6%	1.4%	0.0%	1.4%	100.0%
Q.8	保育者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか	61	8	0	0	1	70
		87.1%	11.4%	0.0%	0.0%	1.4%	100.0%

はい
 どちらともいえない
 いいえ
 非該当
 無回答



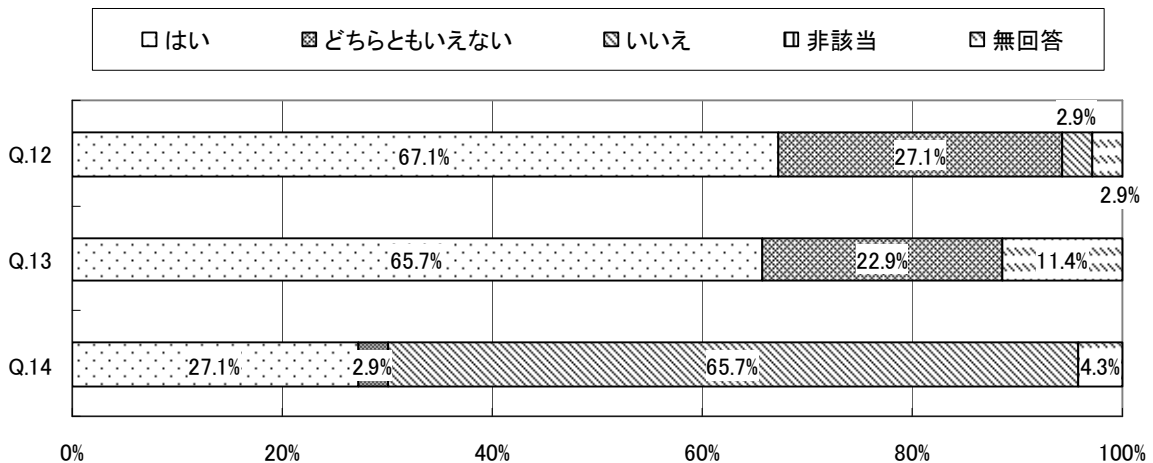
(2) お子様や保育者の尊重について

番号	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.9	職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー（秘密）を守っていますか	62	2	0	0	6	70
		88.6%	2.9%	0.0%	0.0%	8.6%	100.0%
Q.10	お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	65	4	0	0	1	70
		92.9%	5.7%	0.0%	0.0%	1.4%	100.0%
Q.11	職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	65	3	1	0	1	70
		92.9%	4.3%	1.4%	0.0%	1.4%	100.0%



(3) 要望・意見やトラブルへの対応について

番号	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.12	要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか	47	19	2	0	2	70
		67.1%	27.1%	2.9%	0.0%	2.9%	100.0%
Q.13	保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	46	16	0	0	8	70
		65.7%	22.9%	0.0%	0.0%	11.4%	100.0%
Q.14	要望や不満があったとき、第三者委員（保育所外の苦情解決相談員）などにも相談できることを知っていますか	19	2	46	0	3	70
		27.1%	2.9%	65.7%	0.0%	4.3%	100.0%



(4) 利用(入園)前の保育園の対応について

◆過去1年以内にこの施設を利用し始めましたか

	人	%
1. はい	21	30.0%
2. いいえ	49	70.0%
非該当・無回答	0	0.0%
合計	70	100.0%

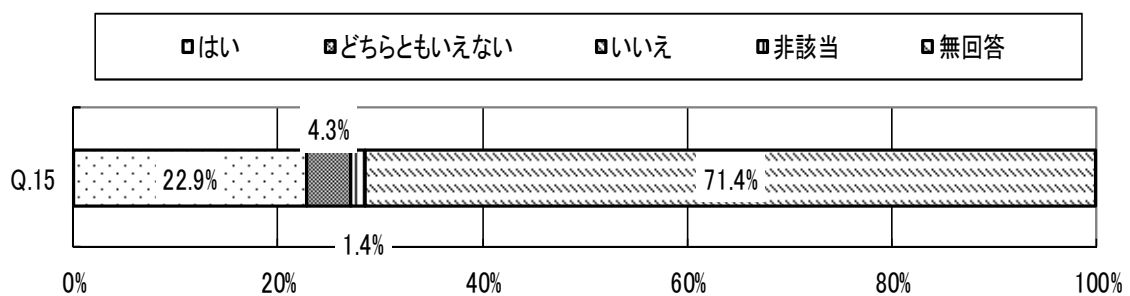
◆過去1年以内に施設を利用した方々21名が対象

保育所の利用を始める前に、保育所から保育内容などの説明がありましたか

	人	%
1. はい	18	85.7%
2. いいえ	2	9.5%
非該当・無回答	1	4.8%
合計	21	100%

◆保育所から保育内容などの説明を受けたと答えた方々18名の方々が対象

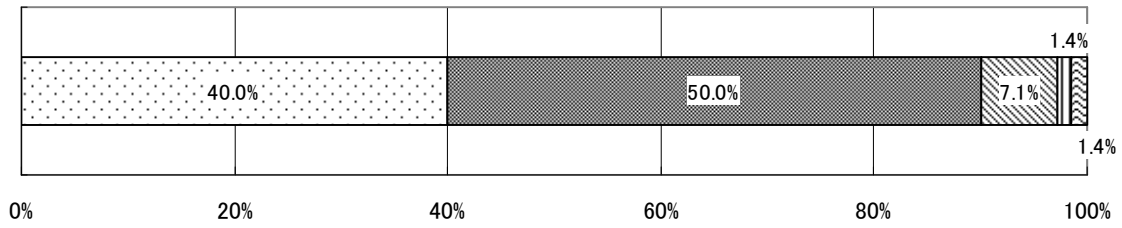
番号	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答	合計
Q.15	入園に際し保育所から受けた説明は、分かりやすかったですか	15	2	0	1	0	18
		22.9%	4.3%	0.0%	1.4%	71.4%	100.0%



(5) 総合的な満足度について

総合満足度	回答数 (人)	回答率 (%)
大変満足	28	40.0%
満足	35	50.0%
どちらともいえない	5	7.1%
不満	1	1.4%
大変不満	0	0.0%
無回答	1	1.4%
合計	70	100.0%

大変満足
 満足
 どちらともいえない
 不満
 大変不満
 無回答



1. 評価の概要

(1) 評価の目的

組織としてのマネジメント力がどのような状況にあるか、また、現在、提供されているサービスの質がどのような状況であるかについて、第三者評価機関が経営層及び職員の自己評価を事前に分析し、訪問調査を実施した上で合議により評価を行った。

- カテゴリー1：リーダーシップと意思決定
- カテゴリー2：経営における社会的責任
- カテゴリー3：利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
- カテゴリー4：計画の策定と着実な実行
- カテゴリー5：職員と組織の能力向上
- カテゴリー6：サービス提供のプロセス
- カテゴリー7：情報の保護・共有
- カテゴリー8：カテゴリー1～7に関する活動成果（前年度比）

(2) 評点の付け方

上記カテゴリー1～7（活動状況：今年度）の評点は評価項目ごとに、下記ルールに基づきつける。

評点<カテゴリー1～7>
評点は、標準項目の実施状況を以下のルールに基づき、記号化したもので、評価項目ごとにつける。 1. 標準項目の実施が確認できた場合は○、未実施・確認不可の場合は●で表す。 2. ○及び●が混在する場合は、標準項目の場合にかかわらず、左端から○を配列し、●は右端に寄せて表す。 3. 「非該当」が選択された標準項目は、評点の構成要素からのぞく。
標語<カテゴリー8>
1. 改善に向けた計画的な取組みが行われており、成果として現れている。 2. 改善に向けた計画的な取組みが行われているが、成果として現れていない。 3. 改善に向けた計画的な取組みが行われていない。

「標準項目」を確認することができる（出来ていることが確認できる）のは、以下の①～③すべてを満たした場合である。

- ① 事業者が当該事項を実施していること
(項目の示す内容が「できている」状態である)
- ② その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること
(偶然できているのではなく、再現性がある)
- ③ その根拠が示せること
(資料等で具体的に示すことができる)

(3) 訪問調査とフィードバック

評価者による訪問調査及び評価結果のフィードバックは、以下の日程で行った。

保育園名	訪問調査日	フィードバック訪問日
1. 和田保育園	平成 25 年 11 月	平成 26 年 1 月
2. 松庵保育園	平成 25 年 11 月	平成 26 年 1 月
3. 下井草保育園	平成 25 年 11 月	平成 26 年 1 月
4. 上井草保育園	平成 25 年 11 月	平成 26 年 1 月

2. 各保育園の評価結果報告書

園ごとの評価結果報告書は、それぞれ次の通りである。

1. 和田保育園	42
2. 松庵保育園	71
3. 下井草保育園	100
4. 上井草保育園	129

調査対象

平成25年9月時点で利用している子どもの保護者。ただし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答とした。

調査方法

①調査票、②調査のご協力依頼文書、③返信用封筒を同封した封筒を保育園の職員から直接、保護者の方々に配布してもらい、保護者の方々から返信用封筒に調査票を入れて、直接、評価機関へ返送していただいた。調査にあたっては保育所内に「ご協力をお願い」文書を掲示した。

利用者総数	71
共通評価項目による調査対象者数	71
共通評価項目による調査の有効回答者数	56
利用者総数に対する回答者割合(%)	78.9

利用者調査全体のコメント

・総合的な感想は「大変満足」16名(28.6%)、「満足」30名(53.6%)、「どちらともいえない」4名(7.1%)、「不満」1名(1.8%)、「大変不満」1名(1.8%)、無回答4名(7.1%)であった。
 ・回答者の80%以上が「はい」と答え、満足度が高い設問は問1「食事」、問4「体調変化への対応」、問10「一人ひとりの子どもへの尊重」、問11「職員の対応」であった。
 ・「はい」と答えた方々が回答者の半数以下の設問は問12「要望や不満は保育所に対して言いやすいか」、問13「要望や不満などにきちんと対応しているか」、問14「第三者委員などにも相談できることを知っているか」であった。
 ・保護者の自由記述では「子どもが年上・年下のクラスの子ともまで知っていて、園全体でまとまっている」「担任以外の職員も子どものことをわかってくれていて、安心できる」「ハンデがある子どもへの思いやり、ハンデのある子どもから思いやりをもらい、「みんな一緒」という気持ちを自然に身に付けている」などの温かなコメントが寄せられおり、クラス担任だけでなく、園全体で子ども一人ひとりのことをみてもらっているとのコメントが寄せられていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	50	5	0	1
回答者の89.3%が「はい」との返答で、食事に関しては高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「季節ごとのメニューやお月見などの日本の伝統文化を伝える取り組みはよい」「クラスによって食器を変えるなど工夫している」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	41	13	2	0
回答者の73.2%が「はい」との返答で、戸外遊びに関しては概ね満足を得ている。「はい」と返答した方からは「よくお散歩に行っているようです」「外遊びは十分にしてくれている」などのコメントが寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	33	8	4	11
回答者の58.9%が「はい」で、回答者の19.6%が無回答であった。無回答の方々は「延長利用がない」との理由であった。「どちらともいえない」と答えた方からは「急な残業の時でも延長保育が利用できるといい」などのコメントが寄せられていた。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	48	7	0	1
回答者の85.7%が「はい」との返答で、子どもの体調変化への対応に関しては高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「細かく説明してくれて安心できる」などの声が寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	41	14	1	0
回答者の73.2%が「はい」との返答で、安全対策に関しては概ね満足を得ている。「どちらともいえない」と答えた方々も回答者の25%であったが、「園庭で遊んでいる様子を見ていないので、わからない」などのコメントが寄せられていた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	39	10	6	1
「はい」と返答した方々は回答者の69.6%、「どちらともいえない」「いいえ」と答えた方々は回答者の28.6%であった。「はい」と返答した方からは「すべての人にあった日程は難しいが、その中で配慮工夫している」、「いいえ」と答えた方々からは個人面談や保護者会が平日の昼間となっていることに対する不満が理由であった。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	43	11	2	0
回答者の76.8%が「はい」との返答で、家庭と保育所との信頼関係に関しては概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「プロの意見として、また日ごろ共に育てている者としての視点がよい」、「どちらともいえない」と答えた方からは「人による」などのコメントが寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	43	11	1	1
回答者の76.8%が「はい」との返答で、保護者の考えを聞く姿勢に関しては概ね満足を得ている。「はい」と返答した方からは「いつもとても親切で丁寧」、「どちらともいえない」と返答した方からは「人による」などのコメントが寄せられていた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	37	12	3	4
「はい」との返答された方々は回答者の66.1%で、「どちらともいえない」と返答した方々は回答者の21.4%であった。「どちらともいえない」と答えた方からは「あまり気にしたこともなく、わからない」とのコメントが寄せられていた。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	45	8	0	3
回答者の80.4%が「はい」と返答され、一人ひとりの子どもの尊重に関しては高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「連絡ノートを見ると、嬉しくなる」「連絡帳に愛を感じます」などのコメントが寄せられた。				

11. 職員の対応は丁寧か	45	8	1	2
回答者の80.4%が「はい」と返答され、職員の対応に関しては高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「気さくに声をかけてくれ、対応も気持ちよい」などのコメントが寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	24	22	7	3
「はい」と答えた方々は回答者の42.9%で、「どちらともいえない」39.3%、「いいえ」12.5%で、当該設問に関して消極的否定的な返答が半数以上であった。「どちらともいえない」と返答した方からは「子どもをみていただいているので、言いづらい」「子どもを預けているため、意見を言うことに勇気がある」などのコメントが寄せられていた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	27	18	2	9
「はい」と答えた方々は回答者の48.2%で、「どちらともいえない」32.1%、「いいえ」3.6%で、回答者の35.7%が消極的否定的な返答であった。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	18	2	34	2
「はい」と答えた方々は回答者の32.1%、「いいえ」と答えた方々は回答者の60.7%であった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	15	2	1	0
回答者56名中19名の方々が「過去1年以内に利用を開始した」と答え、その19名中18名の方々が「利用前の説明を受けた」と答え、その18名中15名の方々が「利用前の説明はわかりやすかった」と答えている。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当

カテゴリー1の講評

年度初めに園長から園目標などに基づいた年間の取り組み課題について説明している

児童憲章および保育理念・保育方針・当園の保育目標(こころもからだもたくましいこども)などを正面玄関・事務室に掲示している。保育理念などは「和田保育園へようこそ」(園のしおり)にも明示し、保護者・職員などに配布している。「園のしおり」は12月から新年度にかけて、全職員で確認し、理念・目標等の理解の浸透に努めている。年度初めに、園長から園目標・保育方針に基づいた年間の取り組み課題について説明している。今年度は保育内容の充実に向けて、子どもが遊びに集中できる環境設定や保護者との信頼関係に力を注いでいる。

区立保育園間で階層別職種別の横断的な情報交換の場を設けている

杉並区立保育園では、保育の質の向上を目的に「保育の向上を考えるリーダー会議」が組織化されており、各園2名のリーダーを選出し、区立保育園の各園のリーダーが参集し、横断的に情報交換し、互いに刺激をし合い、自園での実践の参考にしていく。園長・主査・情報リーダー2名が保育の向上促進の4本柱との位置づけである。また園長会(月2回)が実施され、両会とも保育課長も参加し、区の取り組みなどについて情報伝達されている。そのほか、主査・看護師などの区立保育園の連絡会もあり、各園の取り組みや共通課題について検討している。

職員個々の役割および園内の意思決定の場を明確化している

「杉並区立保育所処務規程」に園長の専決事項が記載され、園幹部の職責を明確化している。「決裁決定ルート」を作成し、園内の指示命令系統や「行事・係分担表」により職員個々の役割を明確化している。会議体も作成し、当園の意思決定の場を明確化している。「昼ミーティング」(毎日・昼)や「定例打ち合わせ」(週1回・昼)を設け、子どもの特変事項・職員体制など園全体の動きを共有化し、「職員会議」(月1回、17:15～19:15)では園目標の進捗状況の確認やテーマを設定しての課題検討なども行っている。

2			カテゴリ-2	
2 経営における社会的責任				
サブカテゴリ-1(2-1)				
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況		4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(〇〇)				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(〇〇)				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している			<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)				
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況		7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(〇〇)				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している 評点(〇〇〇)				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている			<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている			<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

「杉並区立保育園保育実践方針」をパート・アルバイトも含む全職員に配布している

正規職員の入職時の研修では「公務員倫理」「人権」などについて指導教育している。「杉並区立保育園保育実践方針」はパート・アルバイトも含めた全職員に配布し、全職員で読み合わせをし、自己の保育について振り返りをしている。また、パート・アルバイト職員に対して「区立保育園で働くにあたって」を作成し、入職時に説明している。「子どもの話に耳を傾けているか」について各クラスで話し合い、自己の保育を振り返っている。また子どもに強要するのではなく、子どもが自発的に行動するよう、園長自ら手本を示し、職員を教育指導している。

ふれあい保育、子どもの身体測定、園庭開放など実施している

地域の子どもたちが自由に参加できるよう、夏まつりと運動会のプログラムを地域住民に配布している。また、地域の子どもが自由に園児とふれあいながら遊びを体験できるよう月曜日から金曜日まで園庭を開放している。月1回「すくすく和田」として地域の子どもの身体測定や看護師・保育士・栄養士による育児相談を行っている。2歳児担任保育士が近くの児童館に出向いて、子どもたちにパネルシアターをし、地域の子育て中の保護者に対して、レジュメを作成し、トイレトレーニングの話をしている。園が保有する専門性を地域還元に努めている。

園独自に実習生・ボランティア・職場体験の受け入れの手順書を作成している

園独自に実習生・ボランティア・職場体験の受け入れの手順書を作成している。そこには「いろいろな職種の大人とのふれあいを通して働くことの大切さや楽しさを感じ取ってもらう」「社会の中での保育園の役割を感じ取ってもらう」ことを明記している。今年度、3・4・5歳児対象に絵本の読み聞かせや素話をする2名のボランティアが活動している。毎年継続して、近隣高校保育科生徒の保育実習を受け入れている。また、2か所の中学生の職業体験や大学生のボランティア体験も受け入れている。

3			カテゴリ-3	
利用者意向や地域・事業環境の把握と活用			サブカテゴリ-1(3-1)	
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
			8/8	
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている			○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる			○非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる			評点(〇〇〇)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる			○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している			○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる			○非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している			評点(〇〇〇)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる			○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる			○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している			○非該当
カテゴリ-3の講評				
「保健福祉サービス苦情調整委員制度」について掲示し、保護者に周知している 園内に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示し、保護者に周知している。利用者がサービスに不満があるとき、保健福祉サービス苦情調整委員が申立者と事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る制度である。今年度、申し立て実績はゼロである。また、ご意見箱も以前は置いていたが、投函実績がないため、現在、置いていない。その代わりに、入園時に保護者に「連絡メモ」を渡し、要望や質問などができるようにしている。				
連絡帳・保護者会・個人面談などを通して保護者の要望や意向を把握している 保護者会(年2回)の開催前に議題についてアンケートを行い、集計し、課題を抽出し、保護者会でテーマを掲げ、皆で話しあい、議論した内容をおたよりに掲載し、不参加の保護者にも知らせている。個人面談(年1回)でも保護者の要望を把握している。また日常でも連絡帳に記載のあった保護者の要望や意向は、ミーティングなどで情報伝達し、対応について話し合っている。保護者に試食会アンケートを行い、その集計結果を改善に活用している。保護者が気になる給食の放射能の影響については定期的に区栄養士が検査を実施し、結果を掲示している。				
「地域子育てネットワーク」などに参画し、地域の福祉ニーズを収集している 近隣中学校を中心に町会・中学校・大学と合同の震災救援所訓練に園長が参加し、地域の防災力向上に取り組んでいる。また、児童館主催で近隣小学校・保健センター・保育園などが参加する「地域子育てネットワーク」や近隣自治会・町会・商店会・青少年育成委員会・小中PTAなどが参加する「地域懇談会」に参画し、地域ニーズの収集を行っている。また区内にある認可保育園・認証保育所・杉並区立子供園などの保育関係施設の長が集まる杉並区内保育施設地域懇談会にも参加し、情報交換している。				

カテゴリ4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している 評点(000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している 評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる 評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー4の講評

組織目標に一丸となって取り組んでいる

「杉並区総合計画10年プラン」(平成24～33年度)に基づき、「杉並区実行計画3年プログラム」(平成24年～26年度)を作成し、その施策の一つである「保育の充実」の中の「多様なサービスの提供」に基づき、当園では「障害児保育」「在宅子育て支援(育児相談)」を実施し、次年度より「延長保育」の実施予定である。また保健福祉部・保育課の組織目標に基づき、園の具体的な取り組みを策定し、さらに職員個々が仕事目標を立てている。園全体で一丸となって組織目標に取り組んでいる。

警察、消防署、地域パトロール隊と連携し、防犯訓練や避難訓練を実施している

子どもの安全確保・向上のため警察、消防署、地域パトロール隊と連携し、防犯訓練や避難訓練を実施している。年2回の防犯訓練では、さすまたの使い方、不審者に対する心構えなどについて警察署から指導を受けている。警察署職員が来園し、5歳児対象にビデオを使って「知らない人から声をかけたらついていけない」などの話をしてもらっている。区所管部署からの不審者情報を掲示し、保護者に通知している。今年度、門の改修を行い、テンキー錠をつけ、新たに自転車置き場を作るなど、安心安全な園環境の整備を行っている。

年間「自衛消防訓練実施計画」を策定し、月1回、防災・避難訓練を実施している

年間「自衛消防訓練実施計画」を策定し、月1回、防災・避難訓練を実施している。その中で、年1回、総合訓練を行い、消防署が立ち合い、指導を受けている。また、消防署職員より、人工呼吸・心臓マッサージなどの救命救急講習も受けている。そのほか、プールや水遊び中の訓練、朝保育・散歩中・午睡中の時間帯での訓練、第一避難場所へ避難するなど、さまざまな場面を想定しての訓練を行っている。実施後は反省会を持ち、改善を図っている。子どもの安否確認等情報を保護者にメールで伝える仕組みも導入している。

5 職員と組織の能力向上			カテゴリー5
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 8/8
サブカテゴリー1(5-1)			
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている			評点(000)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる			評点(00000)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(5-2)			
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる			評点(000)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ5の講評		
<p>「チャレンジプラン」を使って、上司との面談を行い、個々の仕事目標を確認している</p> <p>保育士、看護師、調理員、用務など職種ごとに採用を行い、区ホームページや広報紙などを通して、採用募集を行っている。保育士としての適性を見極め、採用の可否を判断している。パート・アルバイト等の非常勤職員は園長が面接を行い、区保育課で最終決定を行っている。「チャレンジプラン」(目標達成チェックシート)を使って、年2回以上の上司との面談を行い、個々の仕事目標を確認している。また人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行い、能力開発や活性化につなげている。</p> <p>「研修受講記録」で研修受講の履歴を確認し、全職員の保育の専門性向上を図っている</p> <p>新人職員への支援制度を設け、育成担当者を配置し、育成計画を立て、新入職員を育成している。年3回、育成担当者会議を開催し、育成担当者の育成も図っている。区主催の階層別職種別研修会などの園外研修に、希望者や園長・主査による指名にて職員を派遣している。受講後は昼ミーティングで報告している。障害児指定園であるため、パート職員も含めた全職員を対象にリハビリテーションの専門講師を招き、「感覚統合の実際と保育への活かし方」について学んでいる。園長は「研修受講記録」を確認し、研修受講のバラつきがないよう努めている。</p> <p>職員間で活発に意見を言い合い、風通しのよい職場づくりに努めている</p> <p>年2～4回の定期的な面談、また園長は職員との個別面談を随時、実施し、「チャレンジプラン」(目標達成チェックシート)に記載している仕事目標の達成度を確認し、仕事の問題課題も把握し、やる気向上につなげている。ノー残業デーも週1回設けている。園長・主査は、職員個々の有給休暇の取得状況を把握し、職員の心身の健康に配慮している。障害児指定園の特性を生かして、隔月の心理士などの巡回指導や相談等を通して、職員は研鑽を重ね、職員間で活発に意見を言い合い、風通しのよい職場づくりに努めている。</p>		

7		カテゴリ-7	
7		情報の保護・共有	
		サブカテゴリ-1(7-1)	
情報の保護・共有に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	標準項目 1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点(〇〇〇〇)	
評価 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	標準項目 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当	
カテゴリ-7の講評			
区「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている 杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。パソコンを使用しない時は鍵のかかる書棚・机の引き出しに入れ、事務室に誰もいない時は施錠して出かけている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。基本的にUSBメモリーは園外持出禁止である。個人情報や鍵の取り扱いには十分に注意し、書庫などの鍵の取扱者を限定している。区で定めた文書保管期間に基づき、保存年限を過ぎた文書等の廃棄を行い、記録類の管理を行っている。			
情報管理の方法や危機管理について職員間で話し合いをし、注意喚起を促している 杉並区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の収集・利用・管理を行っている。また情報収集の目的・使用範囲などを明示し、個人情報の漏洩等の事故がないよう、その取り扱いに関して注意を徹底している。そのため、定期的に全職員で保育記録に関する情報管理の方法や危機管理について話し合いを行い、注意喚起を促している。保育記録の閲覧を希望する際は「閲覧等申出書」を提出すれば可能である。「保育記録の保護者閲覧の流れ」(手順書)を作成し、「保育記録閲覧記録簿」も用意し、適切な対応ができるようにしている。			
ボランティアなどの受け入れ時に個人情報の扱いについて説明している 正規職員に対して、入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導している。パート・アルバイト等の非常勤職員に対しては、「区立保育園で働くにあたって」文書を配布し、「仕事をしていく上で知り得たことは、絶対外部へ漏らさないで下さい」との文面を確認している。実習生・体験学習・ボランティアなどの受け入れにあたっては、受入手順書を作成し、活動初日のオリエンテーションで、園長・主査が活動中に知り得た個人情報について活動中・活動後も第三者に漏らさないことを説明している。			

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

近隣中学校を中心に町会・中学校・大学と合同の震災救援所訓練に園長が参画している
 ・近隣中学校を中心に町会・中学校・大学と合同の震災救援所訓練に園長が参加し、地域の防災力向上に取り組んでいる。
 ・近隣中学校のオータムフェアや「和田っ子まつり」に保護者と参加するよう声をかけたり、チラシを渡している。また、近隣小学校の学芸発表会に年長児と職員が参加している。そのほか、高齢者施設と年長児の交流もある。年長児がエイサーを披露し、高齢者からあやとりや折り紙などの伝承遊びを教えてもらっている。近隣の関係機関と連携し、子どもの生活を豊かにしている。
 ・2歳児担任保育士が近くの児童館に出向いて、子どもたちにパネルシアターをし、地域の子育て中の保護者に対して、レジュメを作成してトイレトレーニングの話をしている。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

3つのプロジェクト・チームをつくり、保育の充実につながっている
 ・3つのプロジェクト・チーム(①打ち合わせ、②室内環境、③園庭環境)を設け、保育の質向上に取り組んでいる。特に室内環境・園庭環境のプロジェクトは昨年度より引き続き、正規職員全員がこの2つのチームに入り、保育の質向上を図るとともに、子どもにとってより安全で快適な環境づくりに努めている。プロジェクトチームは毎年見直しをして、職員個々が分担をしてそれぞれが責任を持って活発に活動できるようにしてきた。その結果、保育の充実につながっている。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

一人ひとりの育ちを大切に、少人数保育をすすめ、子どもたちが落ち着いてきた
 ・一人ひとりの育ちを大切に、少人数保育をすすめてきた。クラスや園全体で話し合いが行われ、少人数で保育をすることで子どもたちが落ち着いてきた。
 ・指導計画について話し合う際は、振り返りの報告形式から、今年度は課題検討方式に変え、皆で課題を出して意見を交換し方向性を定めて実践するようになってきた。その結果、各自活発に意見が出せるようになってきた。

サブカテゴリ4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保育料の収納率については対前年比微増しており、適切に収支管理を行っている

- ・区より定められた予算の中で必要な物品・修繕などの必要経費について検討し、無駄をなくすよう努めている。また、光熱水費の削減やコピー用紙は裏紙を使うなどして節約し、経費削減に努めている。
- ・調理・用務業務を民間委託にすることにより、財政負担の軽減を図っている。
- ・保育料の収納率については対前年比微増しており、適切に収支管理を行っている。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
 ・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者の意見や要望を反映し、子どもにとって安心安全な園環境の整備を整えている。

- ・保護者の要望もあり、3歳児クラスは外階段ではなく、内階段を通るようにした。
- また、一階ベランダにひさしをつけたり、門の改修を行い、テンキー錠をつけ、新たに自転車置き場を作るなど、安心安全な園環境の整備を行い、保護者からも好評価を得ている。
- ・近隣中学校を中心に町会・中学校・大学と合同の震災救援所訓練に園長が参加し、地域の防災力向上に取り組んでいる。また、児童館主催で近隣小学校・保健センター・保育園などが参加する「地域子育てネットワーク」や近隣自治会・町会・商店会・青少年育成委員会・小中PTAなどが参加する「地域懇談会」に参画し、地域ニーズの収集を行っている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー1の講評		
<p>利用希望者等に対してさまざまな情報ツールを用意している</p> <p>杉並区ホームページでの「保育ホットナビ」に当園の情報が掲示されている。また、利用希望者等には、区作成の「保育園のしおり」、園の概要について記載したチラシなどを用意している。区作成の「保育園のしおり」は、杉並区立保育園の開所時間と保育時間・主な行事・保育園の一日などを記載し、区役所に入園相談に来た方々に配布している。見学者には保育園紹介のチラシを配布し、園目標や行事についても説明をしている。英語版の見学時の説明文書も用意している。</p> <p>子ども家庭支援センター・こども発達センターなどの関係機関と連携している</p> <p>園の情報は、適宜、区所管部署へ電話・メールなどにて報告し、密な連携に努めている。事故が発生した場合は事故報告書を作成し、区所管部署に報告している。また、近くの保健所・保健センターの母子保健相談事業と連携し、地域の子育てをしている保護者に対して、当園での身体測定(月1回)と看護師・保育士による育児相談についてのお知らせを配布している。必要に応じて、子ども家庭支援センターやこども発達センターなどの関係機関と相談・連携体制を敷いている。</p> <p>見学時は、園の特徴を説明し、質問や育児相談にも応えている</p> <p>見学には園長や主査が対応している。子どもの様子がみれる10時頃の見学を勧めているが、仕事帰りを希望する方に対しては16時頃も対応している。土曜日に希望される方もおり、見学者の希望に沿って対応している。見学の際は園の目標や障害児指定園としての設備や特徴を伝えている。見学時に「入園できるかどうか」を聴かれることも少なくないが、「必ず入園できる」ということは伝えていない。見学時には育児相談にも応じており、丁寧な説明を心がけている。</p>		
サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ2の講評

入園面接で収集した情報は、職員会議などで共有し、保育に反映している
 入園内定後、保護者に、保育に必要なシート(入園までの生活状況など)を園に取りに来ていただき、入園面接前に記入、持参していただいている。2月下旬に入園面接を実施している。入園面接では園医による健康診断や、園長・保育士・栄養士・看護師などの各専門職種が子どもの生活状況や留意すべきことなどを児童票などに記録している。保育時間の確認もしている。収集した情報は職員会議などで共有している。3月最後の土曜日の午前、入園説明会を行い、園のしおりを配布し、園の決まりごとなどについて説明している。

入園当初は子どもが徐々に園生活に馴染めるよう「慣れ保育」を実施している
 入園当初は子どもが徐々に園生活に馴染めるよう「慣れ保育」を実施している。「慣れ保育」は、育児休暇を取っている保護者には、入園後1～2日の子どもの様子を見て、子どもと保護者の状況に合わせて時間を決めている。慣れ保育の期間は、園長・主査も保育に入り、マンツーマンでおんぶや抱っこをするなど、個別に温かく対応している。送迎時に保護者に子どもの状況を詳しく伝え、保護者の不安の解消に努めている。転園児の場合は直ぐに基本の保育時間に入ることが多い。

年長児は、毎年、近くの小学校に見学に行き、小学生と一緒に遊ぶ機会がある
 転園児には、本人の作品やクラスのメッセージカードを渡している。5歳児は、「幼保小連携」の取り組みの一環として、今年度、初めて小学校の図書館司書が来園し、読み聞かせをしてくれた。配慮が必要な子どもに対しては、保護者の依頼を受けて、「就学支援シート」に子どもの様子を記入し、保護者が就学先に持参している。就学先にとって大切な参考資料であり、就学先の担任教師が内容を確認し、必要に応じて担任教師と情報交換するなど円滑に就学移行できるよう支援している。

サブカテゴリ3

3 個別状況に応じた計画策定・記録 **サブカテゴリ毎の標準項目実施状況** 12/12

評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している		評点(00000)
---	--	------------------

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(00)
---	--	---------------

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしきみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(00)
---	--	---------------

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー3の講評

「保育課程」は養護、食育、教育、統合保育の項目で保育のねらいと内容を作成している
 障害児指定園であるため、「保育課程」には養護(生命、情緒)、教育(健康、人間関係、環境、言葉、表現の5領域)、食育のほかに、統合保育の項目を設け、保育理念・方針・園目標を具現化したねらいと内容で構成した計画を立て、それに基づいた保育の実践に努めている。「統合保育」では、障害のある子どもの発達過程や障害の状態を把握し、個別の年間指導計画・月別指導計画を立て、他の子どもと共に成長できるよう援助している。そのため、専門機関との連携を図り、助言を得て、計画に反映している。

年間指導計画は要約して保護者会で説明している

「年間指導計画」に基づき月案・週案を作成し、計画的に保育を実践している。1歳児・2歳児は毎月、個別目標を立て、3歳児以上の幼児は必要なケースに対して個別目標を立てている。毎月および半期ごとにクラスごとに指導計画について話し合い、職員会議で全職員で確認し、検討している。指導計画について話し合う際は、振り返りの報告形式から、今年度は課題検討方式に変え、保育内容の充実につなげている。年間指導計画は要約して保護者会で説明している。またクラスごとに週案を掲示し、週の活動計画、当日の活動を保護者に周知している。

毎日の昼ミーティングや職員会議などで子どもの様子などを職員間で情報共有している

毎日の昼ミーティングや職員会議などで子どもの状況を職員間で情報共有している。職員会議の議事録は、「園用フォルダ」に綴じ、職員がいつでも確認できるようにしている。個々の子どもの発達の経過は「児童票」に記録している。1歳児は1か月ごと、2歳児は2か月ごと、3歳以上の幼児は四半期ごとに「児童票」に記入している。保護者には子どもの発達の経過を個人面談の時に説明している。個人面談で聴取した保護者の意向は児童票の中の「個人面談」の欄に記載し、月案や個人カリキュラムに反映している。

サブカテゴリー5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評			
<p>入園説明会で園のしおりを使ってプライバシー保護や肖像権について説明している</p> <p>入園説明会で園のしおりを使ってプライバシー保護や肖像権について説明し、保護者から「写真 ビデオ承諾書」を得ている。子どもや保護者についての問い合わせには本人の承諾がない限り断るなど、プライバシー保護の管理を徹底している。プライバシー・羞恥心への配慮としてプール遊びや着替えの時はカーテンで第三者から子どもの水着姿が目につれないようにしている。幼児クラスは今年から子ども用タオルを使用し全裸にならないようにしている。1歳児のオムツ交換でもオムツコーナーをつくって周囲から見えないようにしている。</p> <p>虐待が疑われる場合は子ども家庭支援センターなどの関係機関との連携体制を整えている</p> <p>宗教上の除去食に対応したり、食材の産地や給食の放射能測定値を保護者に周知するなど、食事に関して保護者の心配に応えている。児童相談所所長が講師の「虐待の未然防止、早期発見・対応のために」の研修に職員を派遣し、その後、研修報告を行い、全職員で虐待予防について学んでいる。これまで虐待の疑いのある子どもの発見はないが、虐待が疑われる場合は区所管部署に報告し、保健所や子ども家庭支援センターなどの関係機関との連携体制を整えている。虐待防止マニュアルも用意している。</p> <p>一人ひとりの発達段階を確認しあい、子どもが安心して生活できるよう支援している</p> <p>各種ミーティング・会議などを通して、子ども一人ひとりの発達段階を確認しあい、具体的な対応の仕方や声かけをして子どもが安心して生活できるよう支援している。特別な支援を必要とする子どもに対しては、子ども発達センターからの心理士、作業療法士、理学療法士などの巡回相談を受けている。巡回相談の際は、専門職による子どもの観察の後、できる限り全職員が参加し、関わり方や対応方法などについて助言・指導を受けている。</p>			

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー6の講評

保育に必要なマニュアルを整備している

「和田保育園マニュアル」「危機管理マニュアル」などを用意し、保育に必要なマニュアルを整備している。「危機管理マニュアル」の中には「光化学スモック」「火災・地震等災害の対応」などの手順書もあり、日々の保育の安全性を確保している。また、「調理業務等完了確認簿」「用務業務完了確認簿」などを使って、日々の安全確認を行っている。これらのマニュアルは事務室や各クラスに保管し、いつでも確認できるようにしている。マニュアル類は毎年見直ししているが、保育に関しては、毎月、半期ごとでも見直し、更新している。

室内環境・園庭環境のプロジェクトを設け、より安全で快適な環境づくりに努めている

3つのプロジェクト・チーム(①打ち合わせ、②室内環境、③園庭環境)を設け、保育の質向上に取り組んでいる。特に室内環境・園庭環境のプロジェクトは昨年度より引き続き、正規職員全員がこの2つのチームに入り、保育の質向上を図るとともに、子どもにとってより安全で快適な環境づくりに努めている。また、日常保育の中でヒヤリハット事例も参考にし、園内外の安全について確認している。事故発生時はミーティングなどで対応策を話し合い、報告書は治療が終了するまで、経過も記録している。

「杉並区立保育園保育実践方針」を全職員に配布し、保育の質向上に活用している

杉並区立保育園の保育のあり方をまとめた「杉並区立保育園保育実践方針」をパート・アルバイトも含めた全職員に配布し、各種会議などでも活用し、保育の質向上に活用している。「杉並区立保育園保育実践方針」は平成20年に検討会を発足し、3年間かけて作成したものである。パート・アルバイトなどの非常勤職員は園の保育に占めるマンパワーとして欠かせない存在であるため、園長は非常勤職員も含めて全職員に対して個別面談を実施し、仕事上の問題課題を聴取し、仕事内容を改善するなど、園全体のチームワーク強化に取り組んでいる。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
		37 / 37	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>園と家庭で子どもの姿を把握し、それらから子どもの全体的な姿を把握している 入園時に保護者からこどもの生育歴や家庭での子どもの姿を聴いて、児童票に記録し、把握している。入園後も家庭と園の連絡帳、個別面接記録、発達経過記録や日々の保護者との会話などや毎日の子どもの園での生活や遊びの姿を保育日誌に記入し、子どもの姿を捉えている。職員会議やクラス会議(クラス打合せ)などの中で、話し合い、子どもの姿を把握している。子ども一人ひとりの発達の特性や発達過程を児童票に記載し、子どもの全体的な姿を把握し、指導計画に反映させている。</p> <p>異年齢の子ども同士や特別な配慮を必要とする子どもがともに成長するよう支援している 幼児の異年齢保育で子どもたちは生活や遊びをともにしている。異年齢では発達差が大きいため、各年齢の指導計画に保育のねらいや内容を明確にし、環境構成を行っている。日頃の異年齢との関わりの中で年下の子が年上の子に甘えたり、頼ったり、遊びをまねたり、あこがれを持つなどの姿がみられる。また上の子は下の子の面倒をみたり、けんかの仲裁をする姿が自然な形でみられる。特別な配慮を必要とする子どもと自然な形で関わり、子ども同士の関わりを通して、思いやりや人との関わり方を身に付けるよう援助している。</p> <p>子ども同士のトラブルが起きた時は双方の気持ちを受容しながら仲立ちをしている 発達の過程で生じるかみつきなどのトラブルが起きた時は、職員が仲裁に入り、双方の気持ちを受け入れ、代弁し、子どもの気持ちが落ち着いたら、子どもの思いや要求を言葉に換えて伝えている。トラブルが多い時には、トラブルの内容の具体的な検討と職員の対処について職員同士で話し合い、トラブルを防ぐよう留意している。トラブルを起こした子どもの保護者には丁寧に話をして不安な気持ちにならないよう配慮している。保護者には発達の特長や子ども同士の関わり方の必要性を伝え、理解を得るように努めている。</p>			
2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評

登園時に子どもの様子について保護者に確認している

送迎時には保護者に声かけと子どもの様子を知らせるようにしており、保護者も様子を伝えてくれている。家庭での朝の検温は水遊び、プール遊び後も続け、体調の管理をしている。受け入れ時に確認した伝達事項は各クラスの「朝タノート」に記入している。1歳、2歳の連絡帳は手渡しして、口頭で様子を聴いている。3歳以上は、保護者が子どもの変わったことを「連絡メモ」に記入してもらい、職員は顔色・鼻水・機嫌などの子ども様子について聴き取り、「朝タノート」に記録している。24時間を見据えた子どもの生活時間を考慮し、保育を行っている。

1歳児から基本的な生活習慣を身に付けるように援助している

1歳児から基本的な生活習慣を身に付けるように援助している。たとえば、食事では「自分で食べたい」という意欲を大切にしている。手づかみからスプーンやフォークを握って、自分で食べられるよう援助している。着脱では「自分でやる」という気持ちを見守り、必要に応じて手伝っている。排泄では排泄した後、仕草で伝え、オムツを換えた時の気持ちよさが感じられるようにしている。睡眠では日中は元気であそび、お昼寝はまとまった時間、眠れるようになってきている。これらの取り組みは家庭と園で連携しながら進めている。

家庭での状況を把握し、一人ひとりにあわせて午睡がとれるようにしている

4月当初、必要な子どもには午前寝をして、昼食がしっかりとれるように配慮している。体調不良の子どもには、個別のリズムを把握し、休息がとれるように援助している。午睡の際は、気持ちを落ち着かせて安心してお昼寝ができるようにしている。眠くない子どもには、強要せず、静かによこになり、休息がとれるようにする。眠くなくても、よこになって静かに過ごすことができるように援助している。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

保育目標を反映した指導計画・月案・週案を立て、日々の実践につなげている

保育目標「3つの力(生活する力・人とかかわる力・学ぶ力)の基礎を育てます」を基に年間指導計画・月案・週案を立て、日々実践している。特に実体験を大切にしており、おたまじゃくしからカエルになるまで飼育し、発砲スチロールでつくった田んぼに放したり、かぶと虫を幼虫から育てるなど自然とふれあって遊べるよう援助している。また、「せんたくごっこ」も取り入れ、一生懸命洗って、干したり、布団カバー外しなどのお手伝いも行っている。実際に体験することで、生活の仕方を身体で覚えており、保育目標の「生活する力」につなげている。

園庭環境プロジェクトを設け、遊び込める環境づくりに取り組んでいる

園庭環境プロジェクトを設け、定期的に話し合い、遊び込める環境づくりに取り組んでいる。裏庭には、木々を利用して手づくりのミニ・アスレチックをつくり、異年齢でターザンごっこや、のぼり棒をして遊んでいる。園庭には家・ベンチ・鉄棒・お風呂マットでつくった遊具・トンネル遊びができるドラム缶・ハンモックの架かった太鼓橋などの園庭で遊ぶ環境が充実している。子どもたちはさまざまな遊具に自ら働きかけをして、楽しく、遊べるようにしている。そして、子どもたちの発想や想像を働かせ、子どもの自主性や自発性を養っている。

園庭の銀杏の木を見て、秋に葉の色が黄色くなることを目にして季節を感じている

園庭にはビワ、モミジ、カシの木、花壇にはパンジーなどを植え、子どもたちは銀杏の黄色くなった葉を手にして喜んでいる。バス遠足で出かけた公園や園庭のカシの木から落ちたドングリを拾って、拾ってきたドングリを図鑑などでその種類を調べ、紙面で詳しく書いて掲示している。散歩に出かけ、公園で松ぼっくりを拾い、松ぼっくりの実で作品をつくり展示している。銀杏の木を見て、秋に葉の色が黄色くなるのを見て季節を感じている。4歳・5歳児は芋ほりをし、さつま芋の蔓で作ったリースをつくり、収穫したお芋を焼き芋にし、皆で食べている。

4 評価項目4 行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4の講評

運動会への準備を通して、皆で協力し、助け合っていく満足感や達成感を味わっている

運動会は3歳児以上を対象に晴天時は近くの公園で行い、雨天時は近くの中学校の体育館を借りて実施している。保護者競技や小学生も加わり、園児は玉入れ・エイサー(沖縄の伝統芸能)などを披露し、また縄跳びなどの普段の運動の成果を発揮している。緊張した顔、照れた顔、頑張る姿、りりしい動き、一人ひとりの輝く姿を保護者に見せている。運動会に向けての準備を通して、皆で協力し、助け合っていく満足感や達成感を味わっている。また競争する面白さや悔しさや喜びを味わい、保育目標の「人とかかわる力」を養っている。

季節行事を通して、地域の人に対する親しみや感謝の気持ちを育んでいる。

夏祭りに向け、5歳児はお神輿の色やデザインを話し合い、皆で力をあわせてお神輿を作り上げた。夏祭りの当日は、残念ながら光化学スモッグ注意報が出てしまい、お神輿を外でかつぐことができなかった。しかし、子どもたちは場所はどこでもお父さん・お母さんたちの前でお神輿ワッショイができ、満足していた。どの子の顔もにこにこし、半被姿が格好良かった。夏祭りには地域の方々にも呼びかけ、一緒に夏のひと時を楽しんでいる。子どもたちは季節行事での関わりを通して、地域の人に対する親しみや感謝の気持ちを育んでいる。

地域の行事に参加し、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している

近隣中学校のオータムフェアや「和田っ子まつり」に保護者と参加するよう声をかけたり、チラシを渡している。また、近隣小学校の学芸発表会に年長児と職員が参加している。そのほか、高齢者施設と年長児の交流もある。年長児がエイサーを披露し、高齢者からあやとりや折り紙などの伝承遊びを教えてもらっている。都市化や核家族化が進行し、世代間の交流が乏しくなっている現代、子どもが高齢者などふれあう機会をつくり、自分の家族や身近な人のことを考える切っ掛けになり、豊かな人間性を育んでいる。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目5の講評

お迎え時間の遅い子どもたちは家庭的な温かい雰囲気の中で過ごしている

17時から18時までは各クラスの部屋で過ごし、18時から18時30分までは合同で過ごしている。年齢の小さい子どもたちは押し入れの下に座布団を敷いてゆったりと遊んでいる。ままごとや積み木、パズル、玉さし、絵本などの静的な遊びをしている。4歳児は、トランプ、ゲーム、塗り絵などの机上あそびやゲーム遊び、積み木で遊び、5歳児は友だちと木製玩具で遊んでいる。友だちと共同で工夫しているいろいろな形をつくって楽しんでいる。職員は小さい子どもを抱っこしたり膝にのせるなどして、安心して迎えを待てるように援助している。

異年齢で関わり合うことで、活動の展開の仕方がより多様なものになっている

毎月、「幼児集会」を行っている。「幼児集会」では別のクラス同士(異年齢)のペアをつくり、宝探しゲームをしている。ボランティアによるパネルシアターや絵本の読み聞かせも異年齢で実施している。園庭遊び、年数回の異年齢での食事会も実施している。年上の子どもは年下の子ども世話をしたり、遊びを教えるなど優しくかかわっている。異年齢の子ども同士による相互作用の中で、子どもは同一年齢の子ども同士の姿と違う姿をみせている。異年齢で関わり合うことで、日々の保育における遊びや活動の展開の仕方がより多様なものになっている。

お迎え時はその日の子どもの様子を伝えている

お迎え時に1歳、2歳児はその日の子ども一人ひとりの健康状態や遊びの様子を連絡帳に記載し、口頭でも細かく丁寧に伝え、保護者の疑問や不安の解消に努めている。3歳以上の幼児は「朝夕保育ノート」に一人ひとりの健康状況などについて記載し、全職員で周知し、保護者にも伝えるよう努めている。お迎え時、子どもの状況を担任が直接保護者に口頭で伝えられない時は「伝言メモ」を使って他の当番職員に引き継ぎをして確実に保護者に報告できるようにしている。子どものその日のエピソードを一言伝え、親子の楽しい会話につながるよう努めている。

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	○非該当

評価項目6の講評

食事の時間は、ランチョンマットを敷いて、温かい雰囲気をつくっている

行事や縦割り保育の食事ではランチョンマットを敷いて、温かい雰囲気をつくっている。縦割り保育の3グループが年間を通して同じメンバーで食事会を行っている。2歳児から食事マナーを身に付けるよう指導計画にも示し、「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶、良い姿勢で食べる、箸やスプーンを持つ方の反対側の手を食器や茶碗に軽くそえる、「ながら食べ」をしないなど、正しい食事の仕方を促している。楽しい雰囲気の中で自分で食事をしようとする気持ちを持たせ、嫌いなモノでも少しずつ食べられるよう支援している。

食物アレルギーを持つ子どもへの対応は区の規定に準じて行っている

食物アレルギーを持つ子どもへの対応は区の規定に準じて行っている。食物アレルギーを持つ子どもの場合は必ず医療機関に受診のうえ除去する食品と除去の程度を確認し、受診結果を「食物除去食申込書」に記入し、園に提出し、対応している。毎朝、アレルギー献立表に基づいて、看護師が中心となり、園長・主査・栄養士・調理員・看護師・担任で、除去食の打合せを行い、確認している。配膳の時は、トレイを別にして、そこに名前を書き、確実にその子どもに配膳している。職員が傍について、誤食を防止している。

栄養士と担任とで話し合い、多彩な食育の取り組みを行っている

栄養士と担任とで話し合い、多彩な食育の取り組みを行っている。野菜作り、お米づくり、月見団子、クッキー、おにぎり、皮むき、親子クッキング、魚をおろすのを見る、調理前の野菜・果物をみる、バイキングなどである。子どもたちと相談して、毎年、プランターに、種を蒔いて育てている。今年度はピーマン・キュウリ・トマト・ナスを収穫し、調理をしてもらい、食べている。発砲スチロールの箱で稲を育て、取れた稲を手でむいたり、すり鉢を使って、玄米にしている。シタケも育てており、これらは園内に展示している。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

看護師は年間保健計画を立て、園児・職員・保護者に保健指導を行っている

看護師が1名配属されている。看護師は年間保健活動計画を立て、園児・職員・保護者に向けて、期ごとに「ねらい」を設定し、保健指導を行っている。子どもたちには[手洗いとうがい][鼻のかみ方][目の話][熱中症][風邪のはなし][食べものの道]など、職員に向けては[けがの手当てと症状別手当][水遊び、プール時の衛生管理][感冒・嘔吐下痢症の予防][湿度・換気・衣服の調整]など、保護者に向けては[親子で歯みがき会]などについて説明、指導を行い、随時、「ほけんだより」で保護者にも伝えている。

巡回指導や巡回相談で、障害児や発達が気になる子どもの対応を学び実践している

障害児保育の指定園として、定期的に嘱託医・理学療法士・作業療法士・心理士が来園し、職員は障害児への対応や食事介助、歩行介助などについて相談し、具体的な対応について指導を受けている。また気になる子どもへの接し方について、定期的に行われる巡回相談の心理士に相談している。巡回相談では、午前中は子どもの様子や保育環境を観察してもらい、午後職員との話し合いを設けている。職員は心理士との話し合いの中で、子どもの状態をより深く把握できるようになっている。

保育士と看護師が連携して、子どもの健康を支えている

健康面で配慮が必要な子どもには「状態変化時の対応」のシートを用意して、全職員に周知している。毎年消防署の職員が来園し、職員は救命救急の講習を受けている。また、傷の種類別手当、肘内障、痙攣、頭を強く打った時、歯の外傷、目・耳・鼻の外傷と異物、熱中症の症状と対処などのマニュアルも整備されており、看護師から指導を受けている。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

父母の会活動の援助をし、保護者同士の交流の場を提供している

保護者が参加できる園行事は運動会や夏祭りなどである。運動会や夏祭りでは、子どもの競技・遊戯を見て子どもの成長を保護者同士で喜びあっている。また、お昼はお弁当を食べながら、会話を楽しんでいる。父母の会主催の「ともものガラクタ音楽会」を実施している。音楽会では、空き缶・ばね・水道管・枯れ木などをつかって音をだし、子どもたちはペットボトルに音が出るものをいれた手づくりの楽器を使って保護者と一緒に合奏して楽しんでいる。父母の会活動の援助をし、保護者会の後、懇談する機会をつくり、保護者同士の交流の場を提供している。

保護者会ではテーマを決め保護者が意見を出しやすいように工夫し進めている

保護者会ではテーマを決め保護者が意見を出しやすいように工夫し進めている。また保護者会後は親だけで話す場を設定したり、乳児クラスは保育室で親子で遊ぶ時間をつくり交流の場としている。2歳児クラスでは、グループにわかれて保護者同士で意見交換を行っている。特に2歳児は自己主張の時期で、保護者が扱いに困る頃であるため、子育てに関して意見交換をして、より良い子育てができるよう支援している。「クラスだより」で保護者会での意見交換の話を掲載し、参加していない保護者に内容を知らせている。

保育室入り口に週案を掲示し、週の活動計画・当日の活動について情報提供している

保育室入り口に週案を掲示し、週の活動計画・当日の活動について情報提供している。家庭との適切な連携を図り、保育を行っていくために、保護者会、クラス懇談会、個別面談、行事、日々の送迎時の会話、「連絡帳」、「園だより」「クラスだより」「保健だより」「給食だより」などで保育方針、保育内容の情報を保護者に提供し、理解を得るように努めている。連絡帳は、家庭と園側の貴重なコミュニケーションのツールである。園として毎日の連絡帳で、子どもの様子をエピソードを盛り込み、園と家庭での生き生きとした伝えあいになるよう努めている。

9 評価項目9

地域のニーズに即した子育て支援を実施している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目9の講評

「ふれあい保育」などを通して、地域の子育てをしている親子を支援している

「すくすく和田」では看護師や栄養士が対応し、健康面、離乳食の質問などにも答えている。保健所の紹介でたずねて来る家庭も多い。園庭開放では、砂場で園のお砂場用のおもちゃを使って遊んでいる。「ふれあい保育」は、1歳児(完了食)から就学前の子供が対象で、10時から給食終了まで、希望者に給食を提供している。児童館に保育士が出かけていき、子育ての話をしている。近隣の認証保育所の子どもたちが園庭で遊べるよう働きかけている。

児童館や保健所事業の案内を配布し、子育て中の親子同士が交流できるよう支援している

地域の子育て中の保護者に対して、児童館や保健所事業の案内を配布している。児童館でのトイレトレーニングの話や保育園の生活について話を聞き、保護者同士で互いに育児について意見交換もしている。運動会や夏祭りなどの行事にも招待し、地域の方々に参加できる競技に参加している。

年度末に全職員で話し合い、年間反省をし、見直ししている

地域ネットワークで当園の子育て支援事業について報告している。また、年度末に「ふれあい保育」などの活動について全職員で話し合い、見直し・評価を行い、次年度の改善につなげている。「すくすく和田」は、毎月、楽しみにしているリピーターもあり、その活動が定着している。今後は、もう少し参加者を増やすために児童館に出向いてポスターを掲示するなどPRIに力を注いでいきたいと考えている。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-6-3	さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している
タイトル①	障害児指定園という役割を担い、園独自の園内研修の企画、実施に取り組んでいる	
内容①	パート職員も含めた全職員を対象に、大学リハビリテーションの専門講師を招き、「感覚統合の実際と保育への活かし方」について学んでいる。障害児指定園という役割を担い、園独自の園内研修の企画、実施やこども発達センターの心理士・理学療法士・作業療法士などの専門職種の巡回指導や訪問支援を受け、職員も「見る力・考える力・記録する力・伝える力」の向上につなげている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-6-3	さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している
タイトル②	保育の質向上を目的に、非常勤職員に対しての教育指導体制も充実している	
内容②	杉並区立保育園の保育のあり方をまとめた「杉並区立保育園保育実践方針」をパート・アルバイトも含めた全職員に配布し、各種会議などでも活用し、保育の質向上に活用している。「杉並区立保育園保育実践方針」は杉並区保育課で平成20年に検討会を発足し、3年間かけて作成したものである。パート・アルバイトなどの非常勤職員は園の保育に占めるマンパワーとして欠かせない存在であるため、園長は非常勤職員も含めて全職員に年2回以上の個別面談で仕事上の問題課題も聴取し、仕事内容を改善するなど、園全体のチームワーク強化にも取り組んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-7	子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている
タイトル③	耳鼻科、眼科などの検診の機会もあり、健康管理の取り組みが充実している	
内容③	年2回の定期健康診断および年1回歯科検診のほかに、3歳以上の子どもに対して、耳鼻科、眼科などの検診も年1回、実施している。看護師から、毎月の「ほけんだより」を通して流行期の病気や予防、園児の罹患状況について情報を提供しており、内容が充実している。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	園庭環境プロジェクトを設け、遊び込める環境づくりに取り組んでいる
	内容	園庭環境プロジェクトを設け、定期的に話し合い、遊び込める環境づくりに取り組んでいる。裏庭には木々を利用して手づくりのミニ・アスレチックをつくり、異年齢でターザンごっこや、のぼり棒をして遊んでいる。園庭には家・ベンチ・鉄棒・トンネル遊びができるドラム缶・ハンモックの架かった太鼓橋・タイヤ・フープなどの園庭で遊ぶ環境が充実している。子どもたちがさまざまな遊具に自ら働きかけをして楽しく遊べるようにしている。子どもたちの発想や想像を働かせ、子どもの自主性や自発性を養っている。
2	タイトル	実体験を大切にし、保育目標の「生活する力」につなげている
	内容	実体験を大切にしており、おたまじゃくしからカエルになるまで飼育し、発砲スチロールでつくった田んぼに放したり、かぶと虫を幼虫から育てるなど自然とふれあって遊べるよう援助している。また、「せんたくごっこ」も取り入れ、一生懸命洗って、干したり、布団カバー外しなどのお手伝いも行っている。実際に体験することで、自然の営みを知り、生活の仕方を身体で覚え、保育目標の「生活する力」につなげている。
3	タイトル	多彩な食育の取り組みを行っている
	内容	栄養士と担任とで話し合い、多彩な食育の取り組みを行っている。野菜作り、お米づくり、月見団子、クッキー、おにぎり、皮むき、親子クッキング、魚をおろすのを見る、調理前の野菜・果物をみる、バイキングなどである。子どもたちと相談して、毎年、プランターに、種を蒔いて育てている。今年度はピーマン・キュウリ・トマト・ナスを収穫し、調理をしてもらい、食べている。発砲スチロールの箱で稲を育て、取れた稲を手でむいたり、すり鉢を使って、玄米にし、透明の鍋で炊いて食べている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保護者とのコミュニケーションの促進が望まれる
	内容	利用者調査では「不満や要望は保育所に言いやすいですか」に対して、「はい」と答えた方々は回答者の42.9%、「どちらともいえない」39.3%、「いいえ」12.5%であった。「不満や要望に対して対応しているか」に対しては、「はい」と答えた方々は回答者の48.2%、「どちらともいえない」32.1%、「いいえ」3.6%であった。園としても、保護者会の持ち方の工夫や、保護者の意見要望に迅速に対応していくことを課題と考えている。保護者とのコミュニケーションの促進が望まれる。
2	タイトル	職員育成に向けたより一層の取り組みが望まれる
	内容	利用者調査では保護者から「子どもが年上・年下のクラスの子ともまで知っていて、園全体でまとまっている」「担任以外の職員も子どものことをわかってくれていて、安心できる」などのコメントが寄せられていた。しかし、その一方、「職員によって対応に差がある」などのコメントも散見された。職員育成に向けたより一層の取り組みが望まれる。
3	タイトル	在宅子育て家庭への支援のさらなる充実を期待したい
	内容	地域の子育ての拠点としての機能として園庭開放、身体測定などの「ふれあい保育」を実施しているが、利用する方も少ないのが現状である。また、園としても、地域の子育て家庭向けサービス内容のニーズの把握を課題と考えている。子育て家庭同士の交流など、今後、在宅子育て家庭への支援のさらなる充実を期待したい。

調査対象

平成25年9月時点で利用している子どもの保護者。ただし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答とした。

調査方法

①調査票、②調査のご協力依頼文書、③返信用封筒を同封した封筒を保育園の職員から直接、保護者の方々に配布してもらい、保護者の方々から返信用封筒に調査票を入れて、直接、評価機関へ返送していただいた。調査にあたっては保育所内に「ご協力のお願い」文書を掲示した。

利用者総数

91

共通評価項目による調査対象者数

91

共通評価項目による調査の有効回答者数

58

利用者総数に対する回答者割合 (%)

63.7

利用者調査全体のコメント

・総合的な感想は「大変満足」22名(37.9%)、「満足」32名(55.2%)、「どちらともいえない」2名(3.4%)、「大変不満」1名(1.7%)、無回答1名(1.7%)であった。当園の保育サービスに対して高い満足を得ている。
 ・回答者の80%以上が「はい」と答え、満足度が高い設問は問1「食事」、問2「戸外遊び」、問4「体調変化への対応」、問10「一人ひとりの子どもへの尊重」、問11「職員の対応」であった。
 ・「はい」と答えた方々が回答者の半数以下の設問は問12「要望や不満は保育所に対して言いやすいか」、問14「第三者委員などにも相談できることを知っているか」であった。
 ・自由記述では「体調だけでなく、心の動きについても、その都度連絡帳や話をしてくれ、安心している」「連絡帳の記入を通して、子どもたちの日中の様子を伝えてもらっている」などのコメントが寄せられていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	55	2	1	0
回答者の94.8%が「はい」との返答で、食事に関しては高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「体調不良の時、状態にあわせて量や形態を変更してくれる」「毎日、「おいしかった」と言っています」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	50	7	1	0
回答者の86.2%が「はい」との返答で、戸外遊びについては高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「園庭の利用や周囲にある沢山の公園、隣の小学校など大変充実している」「園庭があるメリットが活かされている」などのコメントが寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	43	4	0	11
回答者の74.1%が「はい」との返答で、保育時間の変更への対応に関しては概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「スボット延長が利用できるのが有難い」、回答者の19%が無回答であったが、「延長を利用しないので不明」との理由である。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	51	5	1	1
回答者の87.9%が「はい」との返答で、子どもの体調変化への対応に関しては高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「いつも早めに連絡してくれる」などのコメントが寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	46	10	2	0
回答者の79.3%が「はい」との返答で、安全対策に関しては概ね満足を得ている。「どちらともいえない」と返答した方から「安全対策についてもっと説明して欲しい」などのコメントも寄せられた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	41	15	2	0
回答者の70.7%が「はい」との返答で、行事日程の配慮に関しては概ね満足を得ている。「はい」と返答した方からは「土曜日に保護者会を開催してくれて助かった」というコメントが複数名から寄せられていた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	43	14	1	0
回答者の74.1%が「はい」との返答で、家庭と保育所との信頼関係に関しては概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「話しやすい環境をつくろうとしてくれる」、「どちらともいえない」と答えた方からは「話しやすい職員もいれば、そうでない人いる」などのコメントが寄せられていた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	45	12	1	0
回答者の77.6%が「はい」との返答で、保護者の考えを聞く姿勢に関しては概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「面談を申し出ると、じっくり話し合い、一緒に考えてくれる」、「どちらともいえない」と答えた方からは「職員によって差がある」などの声が寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	45	10	2	1
回答者の77.6%が「はい」との返答で、プライバシー保護に関しては概ね満足を得ている。「どちらともいえない」と返答した方からは「他の子どもや家族の話がされると、不安」などのコメントが寄せられた。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	54	3	1	0
回答者の93.1%が「はい」との返答で、一人ひとりの子どもの尊重に関しては高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「子どもは保育園が大好き」などのコメントが寄せられていた。				

11. 職員の対応は丁寧か	50	7	1	0
回答者の86.2%が「はい」との返答で、職員の対応に関しては高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「明るく和やか」、「どちらともいえない」と答えた方からは「人によって違う」などの声が寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	27	23	7	1
「はい」と答えた方々は回答者の46.6%で、「どちらともいえない」39.7%、「いいえ」12.1%で、当該設問に関して消極的否定的な返答の方々が回答者の半数以上であった。「どちらともいえない」と返答された方からは「どこまで伝えてよいのか迷う時がある」「どうしても遠慮がちになる」などのコメントが寄せられた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	33	16	3	6
「はい」と答えた方々は回答者の56.9%で、「どちらともいえない」27.6%、「いいえ」5.2%で、回答者の32.8%が消極的否定的な返答であった。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	14	2	42	0
「はい」と答えた方々は回答者の24.1%、「いいえ」と答えた方々は回答者の72.4%であった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	13	2	0	0
回答者58名中15名の方々が「過去1年以内に利用を開始した」と答え、その15名中全員の方々が「利用前の説明を受けた」と答え、その15名中13名の方々が「利用前の説明はわかりやすかった」と答えている。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当

カテゴリー1の講評

年度初めの職員会議で、園長より今年度の目標・方針を職員に周知している

保育理念・保育方針・当園の保育目標(育てあおう 豊かなこころ 丈夫なからだ)などを正面玄関・事務室に掲示している。また「松庵保育園のしおり」に記載し、保護者・職員等に配布している。毎年、1月から3月にかけて、「保育園のしおり」などの新入園児用書類について見直しをする中で、当園の目指す方向性を確認している。年度初めの職員会議で、園長より今年度の目標・方針を職員に周知している。クラス担任の自主性に任せながらも、園長は園としての取るべき方針についてきちんと伝えている。

区立保育園間で階層別職種別の横断的な情報交換の場を設けている

杉並区立保育園では、保育の質の向上を目的に「保育の向上を考えるリーダー会議」が組織化されており、各園2名のリーダーを選出し、区立保育園の各園のリーダーが参集し、横断的に情報交換し、互いに刺激をし合い、自園での実践の参考にしてしている。園長・主査・情報リーダー2名が保育の向上促進の4本柱との位置づけである。また園長会(月2回)が実施され、両会とも保育課長も参加し、区の取り組みなどについて情報伝達されている。そのほか、主査・看護師などの区立保育園の連絡会もあり、各園の取り組みや共通課題について検討している。

職員個々の役割および園内の意思決定の場を明確化している

「杉並区立保育所処務規程」に園長の専決事項が記載され、園幹部の職責を明確化している。「係・役割分担」「事務分担表」により職員個々の役割を明確化している。会議体も作成し、当園の意思決定の場を明確化している。「昼ミーティング」(毎日・昼)や「定例打ち合わせ」(週1回・昼)を設け、子どもの特変事項・職員体制など園全体の動きを共有化し、「職員会議」(月1回、17:15～19:15)では園目標の進捗状況を確認している。昨年度より「環境プロジェクト」を設け、園全体で話し合い、環境改善に取り組んでいる。

2 カテゴリー2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

「杉並区立保育園保育実践方針」をパート・アルバイトも含む全職員に配布している

正規職員の入職時の研修では「公務員倫理」「人権」などについて指導教育している。「杉並区立保育園保育実践方針」はパート・アルバイトも含めた全職員に配布し、全職員で読み合わせをし、自己の保育について振り返りをしている。また、パート・アルバイト職員に対して「区立保育園で働くにあたって」を作成し、入職時に説明している。「子どもの話に耳を傾けているか」について各クラスで話し合い、自己の保育を振り返っている。また子どもに強要するのではなく、子どもが自発的に行動するよう、園長自ら手本を示し、職員を教育指導している。

地域の子どもたちが自由に参加できる「わくわくタイム」などを実施している

地域の子どもたちが自由に参加できる「わくわくタイム」(年3回)、「松庵夏まつり」「ファミリーフェスティバル」園庭開放などを実施している。「わくわくタイム」は手作りのミニシアターを職員が企画している。「松庵夏まつり」は児童館を中心に町内会を含めた地域ぐるみの一大イベントである。「ファミリーフェスティバル」は近隣小学校校庭で楽しい親子遊びを行っている。月曜日から金曜日10時から11時30分園庭を開放し、地域の子どもの身体測定している。また看護師が児童館に出向き、地域の子育ての相談に応じている。

ボランティアの活動初日に個人情報の取り扱いについて説明している

ボランティア導入が円滑にできるよう、区作成の「ボランティアの受入れ手順」「保育実習生の受入れ手順」を用意している。活動初日に個人情報の取り扱いについても説明している。月1回の「絵本を読むパパよみ隊」の数名、月1回の「ワクワクどきどきおばさんズ」の数名が来園し、幼児を中心に絵本の読み聞かせをしている。短大・大学生の保育実習生、近隣中学生の職業体験などの実習生も受け入れ、子どもたちが多様な人々との交流ができるようにしている。

カテゴリ3		
3	利用者意向や地域・事業環境の把握と活用	
サブカテゴリ1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ3の講評		
「保健福祉サービス苦情調整委員制度」について保護者に周知している 園内に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示し、保護者に周知している。利用者がサービスに不満があるとき、保健福祉サービス苦情調整委員が申立者と事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る制度である。今年度、申し立て実績はゼロである。保護者からの意見、苦情、嬉しい報告も含めて、内容とその対応をクラス別に記録化し、ファイルに綴じている。 保護者の要望に応え、今年度、保護者会の開催を土曜日に変更した 保護者の要望に応え、今年度、保護者会の開催を土曜日に変更した。まずは幼児3クラスのみ、希望を叶えることができた。実施後、土曜日変更に関するアンケートを実施し、集計分析も行い、保護者にもフィードバックしている。そのほか、保護者からの苦情についても、すぐに昼ミーティングなどで報告し、対応策を検討し、保護者に掲示文書や「園だより」などで周知している。		
「地域子育てネットワーク」や地域懇談会に参画し、地域の福祉ニーズを収集している 松庵小学校区の地域の方々と、「松庵小地域子育てネットワーク」のさまざまな活動に参画し、災害も含めて、地域ネットワークの構築を図っている。また区内にある認可保育園・認証保育所・杉並区立子供園などの保育関係施設の長が集まる杉並区内保育施設地域懇談会にも参加し、情報交換している。区立保育園園長会でも保育課課長から国・都・区の子どもに係る施策について配布資料を使つての情報伝達があり、園長がこれらの情報を整理・分析し、職員へ回覧するなどして周知している。		

カテゴリ4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評点(000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-4の講評

組織目標に一丸となって取り組んでいる

「杉並区総合計画10年プラン」(平成24～33年度)に基づき、「杉並区実行計画3年プログラム」(平成24年～26年度)を作成し、その施策の一つである「保育の充実」の中の「多様なサービスの提供」に基づき、当園では「障害児保育」「延長保育」を実施し、保育の充実を図っている。また、保健福祉部・保育課の組織目標に基づき、園の具体的な取り組みを策定し、さらに職員個々が仕事目標を立てている。園全体で一丸となって組織目標に取り組んでいる。

危険か所を発見した時は園長・主査にすみやかに連絡し、必要な対応を行っている。

区所管部署からの不審者情報を掲示し、保護者に通知している。防犯カメラの設置と杉並区安全パトロール隊の巡回で、不審者への警備体制を強化している。今後、防犯マニュアルを作成予定である。事故発生時はミーティングなどで対応策を話し合い、報告書は治療が終了するまで、経過も記録している。感染症等の情報は区所管部署または園医より連絡あり、感染情報を掲示し、保護者および職員に周知している。園内の遊具などの破損・故障などの危険か所を発見した時は園長・主査にすみやかに連絡し、必要な対応を行っている。

年間避難訓練計画に沿って、月1回、防災・避難訓練を実施している

年間避難訓練計画に沿って、月1回、防災・避難訓練を実施している。午睡中・散歩中・プール遊び中・近隣火災時など、さまざまな場面を想定しての訓練を行っている。子どもたちも防災頭巾を被っての実際的な避難訓練を行っている。消防署職員による止血法・応急処置、D・VDや看護師の指導をもとに蘇生法や日常起こりやすい事故の救急法、パート職員に対しても救急法・衛生管理への周知徹底などの緊急対応について指導教育している。実施後は反省会を持ち、改善を図っている。子どもの安否確認等情報を保護者にメールで伝える仕組みも導入している。

5			カテゴリー5	
5 職員と組織の能力向上				
サブカテゴリー1(5-1)				
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況		8/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている			評点(000)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる			評点(00000)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している			<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(5-2)				
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況		7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる			評点(000)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ5の講評

「チャレンジプラン」を使って、上司との面談を行い、個々の仕事目標を確認している

保育士、看護師、調理員、用務など職種ごとに採用を行い、区ホームページや広報紙などを通して、採用募集を行っている。保育士としての適性を見極め、採用の可否を判断している。パート・アルバイト等の非常勤職員は園長が面接を行い、区保育課で最終決定を行っている。「チャレンジプラン」(目標達成チェックシート)を使って、年2回以上の上司との面談を行い、個々の仕事目標を確認している。また人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行い、能力開発や活性化につなげている。

区主催の階層別職種別研修会などの園外研修に職員を派遣し、育成している

区で新人職員への支援制度を設け、育成担当者を配置し、育成計画を立て新入職員を支援している。年3回、育成担当者会議を開催し、育成担当者の育成も図っている。区主催の階層別職種別研修会などの園外研修の案内が届いたら、昼ミーティングなどで職員へ周知し、希望者を派遣している。受講後は報告書と資料を提出、他職員へ回覧、また昼の定例会議で報告も実施している。障害児を受け入れていることもあり、「摂食指導」や区主催の「発達が気になる乳幼児の発見と支援」などに職員を派遣している。

健康相談室を設け、職員の心身の健康管理を行っている

定期的な園長による個人面談を実施し、「チャレンジプラン」(目標達成チェックシート)に記載している仕事目標の達成度を確認し、仕事の問題課題も把握し、やる気向上につなげている。ノー残業デーも週1回設けている。園長・主査は、職員個々の有給休暇の取得状況も把握し、職員の心身の健康に配慮している。区の制度として、健康相談室を設け、予約制で職員のからだやこころの悩みなど、健康について不安がある場合は、産業医、心理カウンセラー、保健師が相談に応じる仕組みも整えている。

7		カテゴリー7	
7		情報の保護・共有	
		サブカテゴリー1(7-1)	
情報の保護・共有に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー7の講評			
<p>「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている</p> <p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。パソコンを使用しない時は鍵のかかる書棚・机の引き出しに入れ、事務室に誰もいない時は施錠して出かけている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。基本的にUSBメモリーは園外持出禁止である。個人情報や鍵の取り扱いには十分に注意し、書庫などの鍵の取扱者を限定している。区で定めた文書保管期間に基づき、保存年限を過ぎた文書等の廃棄を行い、記録類の管理を行っている。</p> <p>年度初めの保護者会で、閲覧請求をしていただければ、情報公開することを伝えている</p> <p>杉並区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の収集・利用・管理を行っている。また情報収集の目的・使用範囲などを明示し、個人情報の漏洩等の事故がないよう、その取り扱いに関して注意を徹底している。定期的に全職員で保育記録に関する情報管理の方法や危機管理について話し合いを行い、注意喚起を促している。年度初めの保護者会で「保育所児童保育要録」に関して、閲覧請求をすれば情報公開することを伝えている。「保育記録の保護者閲覧の流れ」を作成し、「閲覧等申出書」「保育記録閲覧記録簿」も用意し、適切な対応ができるようにしている。</p> <p>ボランティアなどの受け入れ時に個人情報の扱いについて説明している</p> <p>正規職員に対して、入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導している。パート・アルバイト等の非常勤職員に対しては、「区立保育園で働くにあたって」文書を配布し、「仕事をしていく上で知り得たことは、絶対外部へ漏らさないで下さい」との文面を確認している。実習生・体験学習・ボランティアなどの受け入れにあたっては、受入手順書を作成し、活動初日のオリエンテーションで、園長が活動中に知り得た個人情報について活動中・活動後も第三者に漏らさないことを説明している。</p>			

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

地域の子どもたちが自由に参加できる「松庵夏まつり」などを実施している
 ・地域の子どもたちが自由に参加できる「わくわくタイム」(年3回)、「松庵夏まつり」「ファミリーフェスティバル」を実施している。「わくわくタイム」は手作りのミニシアターを職員が企画している。「松庵夏まつり」は児童館を中心に町内会を含めた地域ぐるみの一大イベントである。「ファミリーフェスティバル」は近隣小学校校庭で楽しい親子遊びを行っている。月曜日から金曜日10時から11時30分園庭を開放し、地域の子どもの身体測定している。児童館の看護師が出向き、地域の子育て中の方の相談に応じている。
 ・月1回、防災・避難訓練を実施している。午睡中・散歩中・プール遊び中・近隣火災時など、さまざまな場面を想定しての訓練を行っている。子どもたちも防災頭巾を被っての実際的な避難訓練も行っている。消防署職員による止血法・応急処置、DVDや看護師の指導をもとに蘇生法や日常起こりやすい事故の救急法、パート職員に対しても救急法・衛生管理への周知徹底などの緊急対応について指導教育している。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

「環境プロジェクト」を設け、あそびの環境について検討し保育の質の向上を図っている
 ・昨年度より、継続して「環境プロジェクト」を設けて、あそびの環境について検討し、保育の質の向上を図っている。
 ・2か月ごとに心理士が来園し、保育士に対する巡回相談を行っている。その際はできる限り多くの職員が参加するよう呼びかけ、気になる子どもの対応について研鑽を深めている。
 ・区主催の研修などにも積極的に職員を派遣し、今年度は「保育園での事故予防と保護者対応」「配慮の必要な子どもの保護者対応」などに参加し、受講した職員は報告をし、他職員に対しても知識の共有化を図り、園全体での保育の質向上につなげている。
 ・障害児を受け入れていることもあり、「摂食指導」「発達が気になる乳幼児の発見と支援」などの研修にも職員を派遣し、保育の専門性向上を図っている。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

園舎には子どもたちが主体的に遊べるような環境を整えている
 ・集中して遊べるよう各保育室にはコーナーを設けている。積み木のコーナー、ままごとのコーナー、絵本のコーナー、折り紙のコーナーがあり、子どもたちはそれぞれのコーナーで集中して遊んでいる。園庭には滑り台・乳児用ブランコ・鉄棒・沢山のタイヤ・砂場などがある。園舎には子どもたちが主体的に遊べるような環境を整えている。職員は子どもがそれらの環境に興味と関心を示し、子ども自身が考えたり工夫して遊びを発展していくように援助している。
 ・食育の年間計画を立て、多彩な食育に取り組んでいる。目標は「楽しく食べる子に～食事が待ち遠しい子ども～」である。食育活動としては、3歳児から5歳児は「野菜とふれあう」を目的にし、野菜の栽培(ナス・プチトマト・かぶなど)、野菜の収穫、野菜の皮むき、トモロコシ、空豆のさやむき、近くの畑での芋ほり、園庭での焼き芋を行なった。「簡単な調理に関わる」を目的に5歳児はお米作り、稲を育て、脱穀、耐性ガラスでお米を炊いて、4歳も一緒ににぎりづくりを行なった。

サブカテゴリ4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保育料の収納率については対前年比微増しており、適切に収支管理を行っている

- ・区より定められた予算の中で必要な物品・修繕などの必要経費について検討し、無駄をなくすよう努めている。また、光熱水費の削減やコピー用紙は裏紙を使うなどして節約し、経費削減に努めている。
- ・保育料の収納率については対前年比微増しており、適切に収支管理を行っている。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
 ・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者の要望に応え、今年度、保護者会の開催を土曜日に変更した

- ・保護者の要望に応え、今年度、保護者会の開催を土曜日に変更した。まずは幼児3クラスのみ、希望を叶えることができた。実施後、土曜日変更に関するアンケートを実施し、集計分析も行い、保護者にもフィードバックしている。
- ・保護者からの苦情についても、すぐに昼ミーティングなどで報告し、対応策を検討し、保護者に掲示文書や「園だより」などで周知している。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の実望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>利用者希望者等にはさまざまな情報ツールを用意している</p> <p>杉並区ホームページでの「保育ホットナビ」に当園の情報が掲載されている。また、利用希望者等には、区作成の「保育園のしおり」、園の概要について記載したチラシなどを用意している。区作成の「保育園のしおり」は、杉並区立保育園の開所時間と保育時間・主な行事・保育園の一日などを記載し、区役所に入園相談に来た方々に配布している。入園決定者に配布する「松庵保育園のしおり」を渡し、見学者に周知している。今までは使用したことはないが、「保育園のしおり」の英訳版もある。</p> <p>子ども家庭支援センター・こども発達センターなどの関係機関と連携している</p> <p>園の情報は、適宜、区所管部署へ電話・メールなどにて報告し、また事故が発生した場合は事故報告書を提出するなど、密な連携に努めている。子ども家庭支援センターや保健所などの関係機関とも必要に応じて相談できる体制を敷いている。区所管部署からは不審者や感染などの情報が、随時、当園に送付・送信されており、必要に応じて保護者に周知している。杉並区立保育園の園長会が月2回開催され、各園の情報交換を行っている。</p> <p>見学時は質問に対して丁寧な説明を心がけ、空き情報などの必要な情報も提供している</p> <p>見学には園長および主査が対応している。保護者の希望を優先し、職員配置を確認し、体制を整え、見学日を決めている。子どもの様子をみたい方には10時から来ていただくよう伝え、仕事終了後希望する方には、午睡後の15時以降に来ていただいている。入園申し込みが始まる頃から、見学者が多くなる。見学時は質問に対して丁寧な説明を心がけている、空き情報などの必要な情報も提供している。見学時に「入園できますか」との質問が少なくなく、その際には、申込書には第5希望まで書くよう伝えている。</p>		
サブカテゴリ2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2の講評

入園面接で収集した情報は、職員会議などで共有し、保育に反映している
 入園内定後、保護者に入園面接時に提出していただくシート(入園までの生活状況・健康調査表など)を取りに来ていただき、必要か所に記入していただき、3月上旬、入園時面接を行う。園医による健康診断、担任が子どもの様子などについて聴取し、栄養士・看護師の面談、そして園長面接で保育時間を確認している。収集した情報は職員会議で情報伝達し、共有している。3月下旬の土曜日の午前、園長・主査・看護師が分担して、「松庵保育園のしおり」を使って、入園説明会を行い、園の決まり事や持ち物などを伝えている。

入園当初は子どもが徐々に園生活に馴染めるよう「慣れ保育」を実施している
 保育園に徐々に慣れていくために、クラス担当が「慣れ保育」の計画を立て、計画に沿って実施している。「慣れ保育」の期間は子どもと保護者の個別状況にあわせるが、基本は1週間以内に行っている。育児休暇中の方には余裕を持って行き、2週間以内でゆっくりと時間をかけて行っている。初日は親子で食事をしたり、冷凍母乳の希望にも対応している。保護者の不安な気持ちを受け止め、送迎時には丁寧に子どもの様子を知らせ、安心できるように対応している。また保護者との信頼関係が気づけるよう努めている。

退園児には、クラスごとにお別れ会を行い、クラスのメッセージカードなどを渡している
 退園児には、クラスごとにお別れ会を行い、本人の作品やクラスのメッセージカードを渡している。前年度の卒園児に行事などの案内を送付しており、以前、退園した子が、運動会に来てくれたケースもある。今年度から「幼保小連携」が始まり、園児が12月と3月に小学校にかけ、小学生のお兄さん・お姉さんと交流する機会もある。5歳児は午睡を減らしていき、指導計画には「見通しをもって生活する」を保育目標に盛り込み、時計の絵を描いて時間への意識づけをしたり、就学に向けての準備をしている。

サブカテゴリー3

3 個別状況に応じた計画策定・記録 **サブカテゴリー毎の標準項目実施状況** 12/12

評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している		評点(00000)
---	--	------------------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している	○非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(00)
---	--	---------------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしきみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(00)
---	--	---------------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリー3の講評

保育課程、年間指導計画を立て、連続性のある保育の実践に努めている
 「保育課程」は年齢ごとの発達のためやすに基づき、養護(生命、情緒)教育(健康、人間関係、環境、言葉、表現の5領域)、そのほか、食育・あそびなどの項目を位置づけ、保育の目標を具現化したねらいと内容で編成し、計画的に保育に取り組み、連続性のある保育の実践に努めている。「保育課程」に基づき、1年間の見通しを立てた、年間指導計画を作成している。年間指導計画は、年度末に、全職員で振り返りと評価を行い、内容と書式の見直しも検討し、次年度の計画に反映している。

年間指導計画に基づき、月案・週案を作成し、保育の実践に努めている
 年間指導計画に基づき、月案・週案を作成している。毎週末にクラスの振り返りを行い、職員会議では、全職員で、毎月、月案を見直し、検討している。クラスの目標は、保護者会で説明し、「園だより」でも伝えている。0歳・1歳・2歳児は、毎月、個別にカリキュラムを立て、3歳以上は四半期ごとに個別の計画を立てている。特別な配慮を要する子どもに対しては個別にカリキュラムを立て、子どもの状況に応じた保育を実施すると共に他の子どもとの生活を通して、共に成長できるよう援助している。

日々の子どもの状況について「保育日誌」・「保健日誌」などに記録している
 日々の子どもの状況について、保育士は「保育日誌」、看護師は「保健日誌」に記録している。当日の連絡事項を「体制ノート」に記載し、見やすく工夫し、出勤時に目を通すことを義務づけている。子どもや保護者の状況に変化が生じた場合、園長・主査にすぐに報告している。毎日、子どもと保護者の様子や予定などを昼ミーティングで報告、確認しあっている。また早番・遅番など勤務シフトごとに口頭で申し送り、情報共有している。「連絡帳」は保護者が家庭での様子を記載し、園での様子を担任が記載し、子どもの24時間を家庭と園で情報共有している。

サブカテゴリ-5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況 7/7

評価項目1
子どものプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-5の講評

入園説明会で園のしおりを使ってプライバシー保護や肖像権について説明している
 入園説明会で園のしおりを使ってプライバシー保護や肖像権について説明し、保護者から「写真 ビデオ承諾書」を得ている。子どもや保護者についての問い合わせには本人の承諾がない限り断るなど、プライバシー保護の管理を徹底している。一方、子どもの羞恥心に配慮し、0歳・1歳児のおむつ交換時に衝立を使っている。プールでの着替えやシャワーの際もカーテンをし、組み立て式プールの使用では衝立を使用し、他者の目にふれないよう配慮している。

お神輿や七夕などの日本の伝統行事の実施は、保護者の意志を大切にしている
 お神輿や七夕などの日本の伝統行事の実施では、保護者の意志を尊重している。また、放射能を懸念する保護者に対しては、定期的に区の給食の放射能汚染度の情報を提供したり、牛乳の代わりに麦茶を出している。理由のない怪我やあざなどが見受けられた場合は、すぐに園長に報告し、虐待防止マニュアルに沿って対応している。子どもの人権保護に向けて細心の注意を払っている。虐待防止のマニュアルも事務室に保管している。

気になる子どもに対しても、心理士に相談し、関わりについて指導を受けている
 特別な配慮を必要とする子どもに対しては、個別カリキュラムをつくり、子どもの状態を個別に記録し、丁寧な支援を行っている。2か月ごとに心理士が来園し、保育士に対する巡回相談を行っている。その際はできる限り多くの職員が参加するよう呼びかけ、気になる子どもの対応について研鑽を深めている。必要に応じて、区所管部署や子ども家庭支援センターと連携を図り、各種ミーティング・会議などを実施し、子ども一人ひとりの発達段階や具体的な対応の仕方や声かけについて確認しあっている。

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ6の講評

マニュアルは半期ごと見直し、改善点を確認し、改定している

「松庵保育園マニュアル」「危機管理マニュアル」などを用意している。「松庵保育園マニュアル」には各クラスの〔ディリープログラム〕(1日の流れ)や散歩での留意事項などが盛り込まれ、新人職員にもわかるような表記で示している、保育に必要なマニュアルを整備している。これらのマニュアルは半期ごと見直し、改善点を確認し、改定している。マニュアルは事務室や各クラスに保管し、いつでも確認できるようにしている。今年度は、ケガ対応マニュアルを改訂し、誰もがケガの状況を判断し、落ち着いて的確に対応できるようにしている。

「環境プロジェクト」を設け、あそびの環境について検討している

昨年度より、継続して「環境プロジェクト」を設けて、あそびの環境について検討し、保育の質の向上を図っている。また区主催の研修などにも積極的に職員を派遣しており、今年度は「保育園での事故予防と保護者対応」「配慮の必要な子どもの保護者対応」などに参加し、受講した職員は報告をし、知識の共有化を図り、保育の専門性向上を図っている。

園長がクラス担当の原案を出し、皆で話し合っている

クラス担当を決める際は、アンケートを行い、希望やこれまでの受け持ちクラスの履歴を勘案し、園長がクラス担当の原案を作成し、皆で話し合っている。また、新人職員に対しては、同じクラスのベテラン職員を育成担当者とし、毎月、新人職員・育成担当者とも振り返りし、次月の課題を明確にし、双方とも成長できるよう支援している。「杉並区立保育園保育実践方針」をパート・アルバイトも含めた全職員に配布し、会議等でも活用している。「杉並区立保育園保育実践方針」は平成20年に検討会を発足し、3年間かけて作成したものである。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
		37 / 37	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている			
		評点(00000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子ども一人ひとりの全体的な姿を把握し、日々の保育に活かしている</p> <p>子どもの状況は、日々の日誌、家庭との連絡帳、個人別の月案や発達記録などに記録し、把握している。これらを基にクラス打ち合わせや月の指導計画の会議などで子どもの全体像を把握し、看護師・栄養士も含めて全職員で情報を共有するよう努めている。同じ保育園の子どもとして、クラスを越えて、園全体で一人ひとりの子どもを理解しあい、日々の保育に活かしている。発達の全体像がわかる領域別の年間指導計画は一人ひとりの発達の過程を知るうえでも重要であり、3歳から5歳児の異年齢保育には有効であると考えている。</p> <p>子どもが主体的に活動できるよう園舎にはさまざまな工夫がされている</p> <p>集中して遊べるよう各保育室に積み木のコーナー、ままごとのコーナー、絵本のコーナー、折り紙のコーナーがあり、子どもたちはそれぞれのコーナーで集中して遊んでいる。ままごとコーナーにはまな板・お弁当箱・テーブル・スプーン・ままごとの食材・キッチンなどが用意されている。園庭には滑り台・乳児用ブランコ・鉄棒・沢山のタイヤ・砂場などがある。園舎には子どもたちが主体的に遊べるような環境を整えている。職員は子どもがそれらの環境に興味と関心を示し、子ども自身が考えたり工夫して遊びを発展していくように援助している。</p> <p>異年齢の保育の中で、友だちとの関わりを深めている</p> <p>4歳児・5歳児が手をつないで散歩に行っている。4歳児・5歳児と一緒に「おひさま広場」で縦割り保育として活動し、夏祭りの盆踊りでも4歳児・5歳児と一緒に盆踊りをしている。異年齢の保育の中で、自分より年下の子どもに対しては様々な場面で手助けをしたり、遊び方を教えたり、優しい言葉をかけるなど思いやりの気持ちを育んでいる。小さい子供は年長の様子を見て、憧れを持ち、まねをして遊んでいる。特別な配慮を必要とする子どもも生活や遊びの中で自然に交流し、互いを尊重する心が育つよう援助している。</p>			
2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている			
		評点(0000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評

登園時には連絡帳や保護者との対話により子どもの様子を把握している

登園時の受け入れの際には、連絡帳の家庭での様子の記述を確認しながら、子どもの様子を視診している。保護者とコミュニケーションをとり、子どもにも必ず声かけをし、表情・機嫌・健康状態を把握するようにしている。保育園の一日が気持ちよく開始できるよう、機嫌の悪いなど不安を抱える子どもについては一人ひとりの気持ちに寄り添い、職員がじっくりとその子に関わるようにしている。また、保護者から口頭で体調が心配な場合は看護師にも伝え、日中の観察を細やかにしている。「朝夕保育ノート」に記載し、全職員で確認している。

食事・排泄・睡眠などは一人ひとりの子どもにあわせた対応をしている

食事・排泄・睡眠などは一人ひとりの子どもにあわせた対応をしている。食事・排泄・睡眠などの基本的生活習慣については家庭と連携を取りながら、発達の状態に応じた援助をしている。大切なことは一人ひとりの生活リズムを把握し、その中で子どもへの援助を保護者と共に考えていくようにしている。0～2歳児の個別月案には、生活面での指導の計画を具体的に立てている。午睡は家庭での睡眠時間や子どもの状態を考慮しながら、子どもに応じた配慮をしている。家庭との連続性を大切にして、保育園での生活が安心して過ごせるように援助している。

降園時、保護者から尋ねられる前に子どもの様子について保護者に伝えるよう努めている

子どものその日の様子は連絡帳や口頭で保護者に伝えている。0歳から2歳児には連絡帳があり、降園時にはその日の子どもの様子を記録し、保護者に渡している。そのほか、担任が口頭で直接様子を伝え、保護者とのコミュニケーションを図っている。担任が伝えられない場合は、当番職員に引き継ぎ、直接保護者に伝えるようにしている。怪我があった場合は、担任・看護師・園長が保護者に直接口頭で経緯も含めて丁寧に説明し、対応している。降園時は、保護者から尋ねられる前に、職員から子どもの遊びなどについて保護者に伝えるよう努めている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

保育目標に基づき指導計画を立て、保育の実践をしている

保育目標に基づき指導計画を立て、日常保育に反映している。園目標「育てあおう、豊かな心、丈夫なからだ」を基にクラス目標を立てている。5歳児の年間のクラス目標は「園生活を楽しみながら、意欲的にさまざまな活動に取り組み、社会生活における必要な態度や生活習慣を身に付け、主体的に行動する」[友だちや異年齢児との関わりを通していたわりや思いやりの気持ちを持ちながら、協力したり、役割を分担し、目的を成し遂げる喜びを味わう]などである。これらは月案・週案に具体化され、日々の保育に反映させている。

子ども一人ひとりにあった遊びの援助をして子どもの自主性や自発性を養っている

室内環境の充実と定期的な見直しを行い、じっくり遊べるようにしている。0歳はホースの中にビー玉や鈴を入れた手づくりおもちゃや風船などで遊んでいる。1歳児はふれあい遊び(スキンシップを図る)で楽しんでいる。2歳児はお店やさんごっこや積み木を携帯電話に見立て「もしもし」と耳にあてて遊んでいる。3歳児は7月に七夕の製作をして遊んでいる。4歳児は色水あそび、泥あそびなどで遊んでいる。5歳児は毛糸を使った製作あそびなどを行っている。職員は子ども一人ひとりにあった遊びの援助をして子どもの自主性や自発性を養っている。

子どもたちは生活の中で季節を感じ、その成長や変化に気づき、感動の心を育てている

園庭には松・ミズキ・みかん・ゆずの木がある。2歳児以上で園庭のプランターに稲やインゲン・ナス・ピーマン・トマト・ジャガイモなどの野菜の種を蒔いて育てている。公園に出かけ、コスモスをみたり、紅葉も楽しんでいる。秋には4歳・5歳児が近くの畑に芋ほりに行き、さつまい芋を収穫している。また、園で飼っている鈴虫の鳴き声を聴いて秋を感じている。子どもたちは生活の中で季節を感じ、植物を見たり、触ったり、世話をすることで、その成長や変化に気づき、感動したり、自然を大切にする気持ちを持つよう援助している。

4 評価項目4 行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	○非該当
●あり ○なし	4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目4の講評

夏祭りではうきうき弾む感動や喜びを味わい、子どもの内面を豊かにしている

行事の一つに松庵親子夏祭りがある。子どもたちは竹太鼓を一生懸命練習し、皆でリズムと心をつなげてやり遂げようと頑張っている。午前10時半から園庭で竹太鼓をしたり、「わっしょい祭りっこ」を踊り、4歳・5歳児と一緒に近くの障害者施設までお神輿を担いで練り歩いた。夕方の保護者のお迎え時に園のハッピー・帯・豆しほりを貸し、子どもたちは浴衣・甚平を着用している。お神輿を担ぎ、竹太鼓・「わっしょい祭りっこ」を行い、うきうき弾む感動を味わっている。その感動や喜びは子どもの内面を豊かにしている。

保護者参加で「大きくなった会」を実施、子どもの成長を身近に感じている

3歳・4歳・5歳児では「大きくなった会」を通して、保護者に子どもの成長を身近に感じてもらい、みんなで喜びあっている。「大きくなった会」では、クラスごとに表現遊び(劇遊び)、出来るようになった縄跳び、親子でふれあい遊びや手遊び、鬼ごっこなどを、保護者も参加し、子どもの成長を身近にみて感じている。職員は子どもたちが全身でのびのび動いて表現することを楽しめるよう子どもの動きを言葉にして褒め、歌・手遊び・リズム遊びなどを全身で楽しみ、豊かな感性や表現力の基礎を養っている。

お弁当持ち散歩・七夕会食・芋ほり・焼き芋などの行事を実施し、生活を豊かにしている

ファミリーフェスティバル(運動会)では、子どもたちの成長を保護者や地域の人と共に喜び合いながら、みんなで楽しい一日を過ごすことをねらいとしている。2歳児クラスから5歳児クラスが参加対象で、0歳・1歳児は自由参加、地域の乳児が参加する種目に参加可能である。日ごろの運動の成果を披露し、子どもの成長をみんなで喜びあっている。そのほか、お弁当持ち散歩・七夕会食・プラネタリウム・芋ほり・焼き芋・お楽しみ会・新年子ども会・節分・ひな祭り・卒園お別れ遠足・元気でねの会などの行事を実施し、生活を豊かにしている。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	○非該当
●あり ○なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	○非該当

評価項目5の講評

長時間にわたって過ごす際は、子どもが負担なく過ごせるように心がけている

一日の過ごし方にメリハリがもてるようにしている。限られた環境の中で創意工夫しながらゆったり過ごせる環境作りに心がけている。保育室に布団を設定したり、室内環境の工夫をしている。年齢の小さな子どもは職員が個別に関わり抱っこや膝にのせたりして個別に関わり気持ちを安定させて保護者の迎えを待っている。長時間にわたって過ごす子どもには、一人ひとりの子どもの発達過程や心身の状態に基づいて、子どもが負担なく過ごせるように心がけている。1日の疲れや保護者を待つ気持ちを受け止め、職員が温かくかかわっている。

昼のミーティングなどで職員間で子どもの様子を引き継いでいる

昼のミーティングで各クラスの子どもの様子を伝えたり、「体制ノート」「朝夕保育ノート」「視診表」にも記録し、職員間で引き継いでいる。「朝夕保育ノート」は、家庭での様子や園での様子を記入し、24時間を視野に入れた子どもの様子について記載している。「体制ノート」はクラスごとに当日の職員の休暇や出張などを記入している。また、各クラスの子どもの連絡事項も記載している。出勤時は必ず「体制ノート」の連絡事項を見て、朝夕の子どもを受け入れた当番の職員が保護者から聴き取った連絡事項を記載し、職員間で情報を共有している。

子どもを中心に園と保護者の気持ちが通じ合えるように努めている

毎日の送迎時に、職員は一言二言であっても子どもの様子を伝え、子どもを中心に園と保護者の気持ちが通じあえるように努めている。長時間子どもと離れていた保護者の気持ちを思いやり、笑顔で「おかえりなさい」の挨拶を子どもと職員で行うよう努めている。怪我や他の子どもとのけんかについてはその経緯も説明し、翌日の受け入れ時にフォローできるよう職員間で引継ぎをしている。幼児クラスでは園での1日の様子について〔主な活動〕〔活動内容〕などを掲示している。幼児は必要に応じて「連絡メモ」で保護者との情報交換を行っている。

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

子どもは楽しく食事がとれるような雰囲気づくりに配慮している

各年齢に応じ、椅子やテーブルを設定し、良い姿勢で食事ができるよう援助している。乳児は少人数でより静かな環境を整えている。幼児は食事のマナーを身に付け、友だちと一緒に楽しく食事をとれるようにしている。観葉植物が各クラスに置かれ、温かい雰囲気に配慮している。また、食事の中に星のかたちをしたニンジンを入れ、食への意欲を高めている。ニンジンが入っていた子どもは嬉しそうな表情をし、メッセージカードをもらい、家に戻って、保護者との会話も弾む。星のニンジンは全園児にあたるように配慮している。

食物アレルギーを持つ子どもへの対応は区の規定に準じて行っている

食物アレルギーを持つ子どもへの対応は区の規定に準じて行っている。食物アレルギーを持つ子どもの場合は必ず医療機関に受診のうえ除去する食品と除去の程度を確認し、受診結果を「食物除去食申込書」に記入し、園に提出し、確認、チェックし、除去食会議(園長・栄養士・調理員・看護師・担任)の後、保護者に報告している。食物除去を行っている子どもが除去する食品を誤って食べないように献立の確認を毎食行い、アレルギー児はトレーを変え、お盆に名札を置くなど、調理と担任でダブルチェックをし、十分に注意している。

食育を通して、生命を大切にすることを育んでいる

年間計画を立て、食育に取り組んでいる。目標は「楽しく食べる子に～食事が待ち遠しい子ども～」である。食育活動としては、3歳児から5歳児は「野菜とふれあう」を目的にし、野菜の栽培(ナス・プチトマト・かぶなど)、野菜の収穫、野菜の皮むき、トウモロコシ、空豆のさやむき、近くの畑での芋ほり、園庭での焼き芋を行なった。5歳児はお米作り、稲を育て、脱穀、耐性ガラスでお米を炊いて、おにぎりをつくっている。自然の恵みとしての食材料やそれを育て、調理し、食事を整えてくれた人への感謝の気持ち、生命を大切にすることを育んでいる。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

看護師は保健年間計画を立て、園児・職員・保護者に健康・保健について指導している

保健年間計画の目標は、①疾病の予防と早期発見②心身の健康状態に気を配る③心地よい環境づくり④自分のからだに関心を持ち体を知り、自分や相手を大切にす気持ちを持つ⑤事故防止に努めるとなっている。5歳児には[食べものの話][消化の話][目鼻口の話][肺の話][皮膚の話]などをわかりやすく伝えている。職員には、事故や衛生マニュアル、ノロ対応マニュアルの確認と年2回の救急法の訓練(1回は消防署指導)をパート職員も含めて行っている。保護者に対しては、入園時の説明会と毎月発行の「ほけんだより」で情報を発信している。

区の巡回相談で、園児への関わり方について助言・指導を受けている

年5回、巡回相談を実施し、相談にあたっては全職員が保育での気になる子や対応の難しかった子について話し合い、観察希望の場面と相談内容を整理して伝えている。心理士は午前中はクラスに入り、子どもたちの様子や保育士の子どもへの関わり方を観察し、午後、全職員参加のもと、専門的視点からの報告や助言・指導を行い、対応について事例ごとに検討を行っている。全職員が個々の事例について今後の対応や保育環境について理解し、翌日からの保育で実践し、振り返りも行っている。

日常の健康管理を保護者と連携して行い、子どもの健康な生活を支えている

保護者には、入園時に「松庵保育園のしおり」を使って、規則正しい生活習慣を身につけるため「早起き・早寝・朝ごはん・朝の排便」を、普段と変わった症状があったら登園時に知らせよう、具合が悪いときは無理せず早めの受診と休養を、お願いしている。[子供に多い感染症一覧]には、感染経路や潜伏期間、登園停止期間等を掲載している。園の感染情報として、玄関には、各クラスの[発熱・消化器症状(下痢・嘔吐)・感染症の人数]を、毎日掲示している。毎月の「ほけんだより」でも流行の状況や予防について発信し、保護者に注意を喚起している。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

保護者の個別状況を把握し、対応するようにしている

個別面談を実施し、保護者の気持ちや悩みを直接聞き取る機会を設けている。家庭の事情や祖父母との関わりについて話を聴いている。また、子どもの遊びの様子や、子どもが自分を出せるようになり、表情も豊かになったなどの園での様子を保護者に伝えたり、母乳をそろそろ終えたい保護者には卒乳についての話をしている。年齢の発達の特長として、自己主張も強く出るなど保護者に話をしている。また、子どもとのやり取りが大切なこと、生活メリハリをつける、主導権は親が握ることなどを保護者に伝え、専門性を活かした保護者への援助にも努めている。

年2回、保護者会を実施し、懇談会を設けている

保護者同士の交流ができる保護者会を年2回実施している。園長挨拶、担任より写真を使っての子どもの様子を伝えている。それから保護者同士で、自己紹介を行い、懇談会に移っている。保護者会の実施前に、保護者から子育ての悩みを聴き、皆で話しあっている。保護者同士が子育ての悩みを話しあい、共感したり、子育ての方法を共有している。保護者から子育てをして、嬉しかったこと、子育てに役立つ情報などについて情報交換している。同じことで悩んでいることを共感したり、保護者同士でアドバイスをしている姿もみられた。

保護者の自主的活動を支援し、ともに子どもの成長を支えている

毎月の「園だより」には月別で「お子さんと行けるお勧めの場所」「簡単な簡単スピード料理」「好きな絵本・お勧めの絵本」などのテーマを設定し、保護者からの原稿を依頼し、園だよりに掲載し、情報交換し、子育てに役立てている。また、父母会も結成されており、活発に活動している。廊下には父母会専用の掲示板がある。父母会主催の餅つき大会や園と父母会協賛の松庵親子夏祭りも実施している。保護者の自主的活動を支援し、保護者同士の交流を促し、子育てを支えあい、共に子どもの成長を支えている。

9 評価項目9

地域のニーズに即した子育て支援を実施している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目9の講評

園庭開放や身体測定を通して、地域の子育てをしている親子を支援している

月曜日から金曜日までの午前中に園庭開放を実施している。園庭開放では、砂場で園のお砂場用のおもちゃを使って遊んでいる。身体測定(月1回)、子どもの病気のこと・成長のこと・離乳食・しつけ・トイレトレーニングなどの育児相談を実施している。希望者に給食を提供している。児童館主催の「ほやほやママの会」に保育士や看護師が参加し、多くの子育ての悩みや疑問などに応えている。このような取り組みを通して、地域の子育てをしている親子を支援している。緊急一時保育の受け入れをしている。

地域の子育て中の保護者に対して、児童館や保健所事業の案内を配布している

園庭開放をしており、そこに来ている地域の子育て中の保護者に対して、児童館や保健所事業の案内を配布している。児童館でのトイレトレーニングの話や保育園の生活について話を聴き、保護者同士で互いに育児について意見交換もしている。運動会・夏祭りなどの行事にも招待し、地域の方々が参加できる競技に参加したり、子どもたちが担ぐお神輿と一緒にワッショイとかけ声をするなどして、子育て中の親子同士が交流できるよう支援している。

地域ネットワークで当園の子育て支援事業について報告している

地域ネットワークで当園の子育て支援事業について報告している。年度末に全職員で話し合い、年間反省をし、見直ししている。地域の親子および園児が楽しく交流できるような受け入れの仕方について検討している。次年度は、園庭開放をこれから積極的にPRし参加者を増やし、また看護師の育児相談にも積極的に応じていくことを考えている。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル①	食事の中に星のかたちをしたニンジンを入れ、食への意欲を高めている	
内容①	食事の中に星のかたちをしたニンジンを入れ、食への意欲を高めている。ニンジンが入っていた子どもは嬉しそうに表情をし、メッセージカードをもらい、家に戻って、保護者との会話も弾む。星のニンジンが幼児にあたるように配慮している。利用者調査でも保護者から大好評で、「家でも(しあわせニンジンを)つくると沢山食べます」などのコメントが寄せられた。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	夏祭りではうきうき弾む感動や喜びを味わい、子どもの内面を豊かにしている	
内容②	行事の一つに松庵親子夏祭りがある。子どもたちは竹太鼓を一生懸命練習し、皆でリズムと心をつなげてやり遂げようと頑張っている。午前10時半から園庭で竹太鼓をしたり、「わっしょい祭りっこ」を踊り、4歳と5歳児と一緒に近くの障害者施設までお神輿を担いで練り歩いた。夕方の保護者のお迎え時に園のハッピ・帯・豆しぼりを貸し、子どもたちは浴衣・甚平を着用している。お神輿を担ぎ、竹太鼓・「わっしょい祭りっこ」を行い、うきうき弾む感動を味わっている。その感動や喜びは子どもの内面を豊かにしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	保護者の自主的活動を支援し、子育てを支えあい、ともに子どもの成長を支えている	
内容③	毎月の「園だより」には月別で「お子さんと行けるお勤めの場所」「簡単スピード料理」「好きな絵本・お勤めの絵本」などのテーマを設定し、保護者からの原稿を依頼し、園だよりに掲載し、園だよりを通して情報交換し、子育てに役立っている。また、父母会も結成されており、活発に活動している。父母会主催の餅つき大会や園と父母会共催の夏祭りも実施している。保護者の自主的活動を支援し、保護者同士の交流を促し、子育てを支えあい、共に子どもの成長を支えている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもが主体的に活動できるよう園舎にはさまざまな工夫がされている
	内容	集中して遊べるよう各保育室にはコーナーを設けている。積み木のコーナー、ままごとのコーナー、絵本のコーナー、折り紙のコーナーがあり、子どもたちはそれぞれのコーナーで集中して遊んでいる。園庭には滑り台・乳児用ブランコ・鉄棒・沢山のタイヤ・砂場などがある。園舎には子どもたちが主体的に遊べるような環境を整えている。職員は子どもがそれらの環境に興味と関心を示し、子ども自身が考えたり工夫して遊びを発展していくように援助している。
2	タイトル	野菜を栽培したり、収穫し、調理活動を行い、食育に取り組んでいる
	内容	食育の年間計画を立て、食育に取り組んでいる。目標は「楽しく食べる子に～食事が待ち遠しい子ども～」である。食育活動としては、3歳児から5歳児は「野菜とふれあう」を目的にし、野菜の栽培(ナス・プチトマト・かぶなど)、野菜の収穫、野菜の皮むき、トウモロコシ・空豆のさやむき、近くの畑での芋ほり、園庭での焼き芋を行なった。「簡単な調理に関わる」を目的に5歳児はお米作り、稲を育て、脱穀、耐性ガラスでお米を炊いて、4歳も一緒ににおにぎりづくりを行なった。
3	タイトル	異年齢の保育の中で、友だちとの関わりを深めている
	内容	4歳児・5歳児と異年齢で手をつないで散歩に行っている。4歳児と5歳児と一緒に「おひさま広場」で縦割り保育として活動し、夏祭りの盆踊りでも4歳児・5歳児と一緒に盆踊りをしている。異年齢の保育の中で、自分より年下の子どもに対しては手助けをしたり、遊び方を教えたり、優しい言葉をかけるなど思いやりの気持ちを育てている。小さい子供は年長の様子を見て、憧れを持ち、まねて遊んでいる。特別な配慮を必要とする子どもも生活や遊びの中で自然に交流し、互いを尊重する心が育つよう援助している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保護者とのコミュニケーションの促進が望まれる
	内容	利用者調査では「不満や要望は保育所に言いやすいですか」に関して、「はい」と答えた方々は回答者の46.6%、「どちらともいえない」39.7%、「いいえ」12.1%で、「どちらともいえない」「いいえ」と答えた方々が回答者の半数以上であった。保護者とのコミュニケーションの促進が望まれる。
2	タイトル	職員育成に向けたより一層の取り組みが望まれる
	内容	利用者調査では「体調だけでなく、心の動きについても、その都度、連絡帳や話をしてくれ、安心している」「連絡帳の記入を通して、子どもたちの日中の様子を伝えてもらっている」などのコメントが寄せられていた。その一方、「職員によって差がある」というコメントも散見された。職員育成に向けたより一層の取り組みが望まれる。
3	タイトル	在宅子育て家庭への支援のさらなる充実を期待したい
	内容	地域の子育て拠点としての機能として園庭開放、身体測定などの「ふれあい保育」を実施しているが、利用する方が少ないのが現状である。また、園としても、地域の子育て家庭向けサービス内容のニーズの把握を課題と考えている。子育て家庭同士の交流など、今後、在宅子育て家庭への支援のさらなる充実を期待したい。

調査対象

平成25年9月時点で利用している子どもの保護者。ただし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答とした。

調査方法

①調査票、②調査のご協力依頼文書、③返信用封筒を同封した封筒を保育園の職員から直接、保護者の方々に配布してもらい、保護者の方々から返信用封筒に調査票を入れて、直接、評価機関へ返送していただいた。調査にあたっては保育所内に「ご協力のお願い」文書を掲示した。

利用者総数

91

共通評価項目による調査対象者数

91

共通評価項目による調査の有効回答者数

63

利用者総数に対する回答者割合(%)

69.2

利用者調査全体のコメント

・総合的な感想は「大変満足」21名(33.3%)、「満足」28名(44.4%)、「どちらともいえない」8名(12.7%)、「不満」4名(6.3%)、無回答2名(3.2%)であった。
 ・回答者の80%以上が「はい」と答え、満足度が高い設問は問1「食事」、問2「戸外遊び」、問4「体調変化への対応」、問7「家庭と保育所との信頼関係」、問10「一人ひとりの子どもへの尊重」、問11「職員の対応」であった。
 ・「はい」と答えた方々が回答者の半数以下の設問は問12「要望や不満は保育所に対して言いやすいか」、問14「第三者委員などにも相談できることを知っているか」であった。
 ・自由記述には「全職員が全園児を知っている体制づくりがとても良い」「家ではできないようないろいろな遊びもさせてもらい、ルールやマナーなども教えてもらえるのでありがたい」などのコメントが寄せられていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	56	6	0	1
回答者の88.9%が「はい」との返答で、食事に関しては高い満足を得ている。「はい」と答えた方からは「お誕生日の特別なプレートやしあわせニンジンなど子どもが食事に興味を持てるよう工夫されている」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	53	9	1	0
回答者の84.1%が「はい」との返答で、戸外遊びに関しては高い満足を得ている。「はい」と答えた方からは「公園に行く機会がもっと増えるときらによい」、「どちらともいえない」と答えた方からも「もう少し散歩の頻度を増やしてほしい」などのコメントが寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	42	6	2	13
「はい」と答えた方々は回答者の66.7%、回答者の20.6%の方々が無回答であった。「はい」と返答された方からは「今は柔軟に対応してもらっている」などのコメントが寄せられた。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	54	7	1	1
回答者の85.7%が「はい」との返答で、子どもの体調変化への対応に関しては高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「小さな傷でもきちんと報告してくれて満足」などの声が寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	41	18	4	0
「はい」と答えた方々は回答者の65.1%、「どちらともいえない」28.6%、「いいえ」6.3%であった。「どちらともいえない」「いいえ」と返答した方から「園の出入り口のセキュリティをもっと厳しくしてほしい」などのコメントが寄せられていた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	35	18	8	2
「はい」と答えた方々は回答者の55.6%、「どちらともいえない」28.6%、「いいえ」12.7%で、消極的否定的意見が回答者の41.3%であった。「どちらともいえない」「いいえ」と返答した方からは「保護者会や個人面談の開催日・時間を保護者の希望にあわせて柔軟に対応してほしい」などの要望が寄せられていた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	54	7	2	0
回答者の85.7%が「はい」との返答で、家庭と保育所との信頼関係に関しては高い満足を得ている。「はい」と答えた方からは「ゆっくりと相談に応じてくれる姿勢があるので、相談できる」などの声が寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	50	12	0	1
回答者の79.4%が「はい」との返答で、保護者の考えを聞く姿勢に関しては概ね満足を得ている。「どちらともいえない」と答えた方からは「先生によって差がある」などの声が寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	50	7	0	6
回答者の79.4%が「はい」との返答で、プライバシー保護に関しては概ね満足を得ている。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	56	6	1	0
回答者の88.9%が「はい」との返答で、一人ひとりの子どもへの尊重に関しては高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「先生に教えてもらったの」と子どもが嬉しそうに話してくれる」「他のクラスの先生方にも名前を覚えてもらい、声をかけてもらっている」などのコメントが寄せられた。				

11. 職員の対応は丁寧か	52	9	1	1
回答者の82.5%が「はい」との返答で、職員の対応に関しては高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「殆どの先生が大変礼儀正しくこちらも気持ちがよいです」などのコメントが寄せられていた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	26	22	13	2
「はい」と答えた方々は回答者の41.3%で、「どちらともいえない」34.9%、「いいえ」20.6%で、当該設問に関して消極的否定的な返答が半数以上であった。「はい」と答えた方からは「園長先生が全員の名前と顔を知っていて全員に声をかけてくださるので、園に対する信頼感を持つことができる」、「いいえ」と答えた方々は「子どもを預かっていただいているので言いづらい」などのコメントが寄せられた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	34	20	3	6
「はい」と答えた方々は回答者の50.4%で、「どちらともいえない」31.7%、「いいえ」4.8%で、回答者の36.5%が消極的否定的な返答であった。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	13	3	43	4
「はい」と答えた方々は回答者の20.6%、「いいえ」と答えた方々は回答者の68.3%であった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	11	6	1	0
回答者63名中18名の方々が「過去1年以内に利用を開始した」「利用前の説明を受けた」と答え、その18名中11名の方々が「利用前の説明はわかりやすかった」と答えている。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当

カテゴリー1の講評

年度初めの職員会議で、全職員で保育理念・保育方針などを確認しあっている

当園の保育理念(子どもも大人も笑顔あふれる保育園)・保育目標(自分を大切に、人に優しくできる子、自分に自信を持ち、色々なものに意欲的に取り組める子、自分の気持ちを言葉で伝えられ、相手の話を聞ける子、心も体も健やかな子)などは正面玄関・事務室に掲示している。また「下井草保育園のしおり」にも明示し、保護者・職員などに配布している。クラスごとの「業務マニュアル」の中にも保育理念・目標を明示し、いつでも確認できるようにしている。また、年度初めの職員会議で、保育理念・保育方針などを確認しあっている。

区立保育園間の階層別職種別の横断的な情報交換の場を設けている

杉並区立保育園では、保育の質の向上を目的に「保育の向上を考えるリーダー会議」が組織化されており、各園2名のリーダーを選出し、区立保育園の各園のリーダーが参集し、横断的に情報交換し、互いに刺激をし合い、自園での実践の参考にしている。園長・主査・情報リーダー2名が保育の向上促進の4本柱との位置づけである。また園長会(月2回)が実施され、両会とも保育課長も参加し、区の取り組みなどについて情報伝達されている。そのほか、主査・看護師などの区立保育園の連絡会もあり、各園の取り組みや共通課題について検討している。

職員個々の役割および園内の意思決定の場を明確化している

「杉並区立保育所処務規程」に園長の専決事項が記載され、園幹部の職責を明確化している。また、「行事・係分担表」により職員個々の役割を明確化し、会議体により園の意思決定の場を明確化している。当園では主に「定例会議」(週1回、14:00～15:00)に午睡当番を除く全員が参加し、情報共有を図り、現場の問題課題について検討、決定している。また「職員会議」(月1回、17:15～19:15)を設け、当番を除く全員が参加し、主査・情報リーダーが中心となり勉強会などを開催している。

2			カテゴリー2	
2 経営における社会的責任				
サブカテゴリー1(2-1)				
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況		4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(〇〇)				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(〇〇)				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している			<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)				
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況		7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(〇〇)				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している 評点(〇〇〇)				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている			<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている			<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

「杉並区立保育園保育実践方針」をパート・アルバイトも含む全職員に配布している

正規職員の入職時の研修では「公務員倫理」「人権」などについて指導教育している。「杉並区立保育園保育実践方針」はパート・アルバイトも含めた全職員に配布し、全職員で読み合わせをし、自己の保育について振り返りをしている。また、パート・アルバイト職員に対して「区立保育園で働くにあたって」を作成し、入職時に説明している。「子どもの話に耳を傾けているか」について各クラスで話し合い、自己の保育を振り返っている。また子どもに強要するのではなく、子どもが自発的に行動するよう、園長自ら手本を示し、職員を教育指導している。

ふれあい保育、子どもの身体測定、園庭開放など実施している

地域の子育てに役立つ拠点となることをめざし、ふれあい保育、子どもの身体測定、園庭開放など実施している。これらの事業を通して、地域の子育て中の保護者同士の出会いや交流を促し、地域で子育てする親子に役立つ保育園となるよう努めている。地域の子どもの身体測定では、保護者の子どもへの接し方や遊ばせ方などの相談にも応じている。児童館の乳児グループ活動に栄養士を派遣し、食事についての話をし、当園の持つ専門性を地域に還元している。

月1回、4歳児・5歳児クラスに読み聞かせのボランティア2名を受け入れている

ボランティア受け入れマニュアルを作成している。月1回、4歳・5歳児クラスに読み聞かせのボランティア2名を受け入れている。また、年1回、おもちゃコーディネーターが来園し、ボランティアとして、おもちゃの遊び方について職員にアドバイスをしている。そのほか、3名の踊りの会の方々が来園し、盆踊りを子どもたちに教えている。ボランティアセンター発行のボランティア受け入れの募集も掲載しているが、今年度、新たな応募者は来ていない。一方、専門学校・短大・大学生の保育実習、2か所の近隣中学校からの職業体験などを受け入れている。

カテゴリ-3		
3	利用者意向や地域・事業環境の把握と活用	
サブカテゴリ-1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評		
「保健福祉サービス苦情調整委員制度」について掲示し、保護者に周知している 園内に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示し、保護者に周知している。利用者がサービスに不満があるとき、保健福祉サービス苦情調整委員が申立者と事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る制度である。今年度、申し立て実績はゼロである。また、ご意見箱と意見用紙も置き、いつでも誰でもが意見を投函できるようにしている。今年度は1件のみで、お褒めの言葉であった。投函された案件は無記名の場合は「園だより」で内容とその対応を保護者に周知している。		
保護者の要望を保護者会運営に反映しようと努めている 保護者会(年2回)開催前に「クラスだより」を通して、保護者に保護者会の議題について意見聴取し、保護者の要望を保護者会の運営に反映しようと努めている。また、年1回の個人面談の際に保護者の要望を聴取している。一方、地域住民からの歩道に置かれた自転車についての苦情を受け、保護者に確認したところ、保護者も駐輪場が狭く自転車の置き場所に困っていることがわかり、児童館の駐輪場を借りよう児童館に交渉し、保護者に路上駐車禁止の協力を依頼して課題解決を図っている。		
「地域子育てネットワーク」や地域懇談会に参画し、地域の福祉ニーズを収集している 近隣の小学校・幼稚園・保育園などが参加する児童館主催の「地域子育てネットワーク」(年2回)や、近隣自治会・町会・商店会・青少年育成委員会・小中PTAなどが参加する地域懇談会(年1~2回)に参画している。また区内保育施設地域懇談会があり、地域ごとのグループに分かれて情報交換している。幼保小連携研究会にも参加し、就学前の施設の現状、課題把握を行っている。関係機関のネットワークに参画し、地域の福祉ニーズを収集している。		

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評点(000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-4の講評

組織目標に一丸となって取り組んでいる

「杉並区総合計画10年プラン」に基づき、「杉並区実行計画3年プログラム」を作成し、その施策の一つである「多様なサービスの提供」に基づき、「産休明け保育」「延長保育」「障害児保育」「緊急一時保育受入」「在宅子育て支援(育児相談・保育所体験・身体測定)」などを実施し、その充実に取り組んでいる。また保健福祉部・保育課の組織目標に基づき、園の具体的な取り組みを策定し、さらに職員個々が仕事目標に立てている。園全体で一丸となって組織目標に取り組んでいる。

月1回、「防災・安全自主点検表」を使って、危険箇所を点検し、安全配慮を行っている

事故発生時は保護者に説明するとともに、事故報告書を作成し、全職員で話し合い、対応と改善策を検討している。事故報告書は治療終了まで、経過も記録している。月1回、担当者が園独自の「防災・安全自主点検表」を使って、園舎内の危険箇所や地震・火災の備えた設備について点検・確認し、安全配慮を行っている。感染対策として嘔吐物処理セットを各クラスに置き、手順書も各クラスに掲示し、どの職員も速やかに処理ができるようにしている。

消防署と連携し、さまざまな場面を想定して、月1回、防災・避難訓練を実施している

月1回、防災・避難訓練を実施している。その中で、年2回、消防署と連携しての総合訓練、児童館・ゆうゆう館との合同訓練、近くの避難場所である中学校校庭まで歩いて避難するなど、さまざまな場面を想定して訓練を実施している。人工呼吸・心臓マッサージなどの救命救急講習も受講し、緊急時に速やかな対応ができるようにしている。「災害時子ども安全連絡網」について保護者に説明し、子どもの安否確認等情報を保護者にメールで伝える仕組みを導入している。また職員は散歩中に横断歩道の渡り方などの交通安全について子どもたちに教えている。

5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	8/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ5の講評		
<p>「チャレンジプラン」を使って、上司との面談を行い、個々の仕事目標を確認している</p> <p>保育士、看護師、調理員、用務など職種ごとに採用を行い、区ホームページや広報紙などを通して、採用募集を行っている。保育士としての適性を見極め、採用の可否を判断している。パート・アルバイト等の非常勤職員は園長が面接を行い、区保育課で最終決定を行っている。「チャレンジプラン」(目標達成チェックシート)を使って、年2回以上の上司との面談を行い、個々の仕事目標を確認している。また人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行い、能力開発や活性化につなげている。</p> <p>「あそびプロジェクト」などのプロジェクトチームを設け、保育の研鑽を深めている。</p> <p>新人職員への支援制度を設け、育成担当者を配置し、育成計画を立て、新入職員を育成している。年3回、育成担当者会議を開催し、育成担当者の育成も図っている。区主催の階層別職種別研修会などの園外研修に、希望者や園長・主査による指名にて職員を派遣している。受講後は研修報告書を提出し、必要な研修は報告を行い、全職員で共有化している。また保育の質向上を目的に、今年度、「あそびプロジェクト」「チャレンジプラン」についてのプロジェクトチームを設け、取り組んでいる。</p> <p>年1回以上、パート職員に対しても中間面接を行い、体調などを把握している</p> <p>子どもを見る目、子どもとのかかわり方、危機管理などについて自主的に勉強に行っている職員も多く、学びの意欲の高い職員が多い。「チャレンジプラン」(目標達成チェックシート)にて職員個々の取り組み目標を把握し、園長・主査が個人の力を発揮できるようサポートしている。日ごろの業務の中で頑張っている職員に対しては評価をし、また一人で抱え込まないよう支援している。年1回以上、園長はパート職員と個別面談し、仕事上の問題課題・体調・家庭などについて把握している。週1回、ノー残業デーを設け、残業削減に努めている。</p>		

7 カテゴリー7		
7 情報の保護・共有		
サブカテゴリー1(7-1)		
情報の保護・共有に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー7の講評		
<p>「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている</p> <p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。パソコンを使用しない時は鍵のかかる書棚・机の引き出しに入れ、事務室に誰もいない時は施錠して出かけている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。園では基本的にUSBメモリーを使用しないことにしている。区で定めた文書保管期間に基づき、保存年限を過ぎた文書等の廃棄を行い、個人情報や鍵の取り扱いは十分に注意し、持ち出し者名の記録をつけている。書庫などの鍵の取扱者を限定している。</p> <p>年度初めの保護者会で、閲覧請求をしていただければ、情報公開することを伝えている</p> <p>年度初めの保護者会で、閲覧請求をしていただければ、情報公開することを伝えている。杉並区個人情報保護条例により、申請書等には情報収集の目的・使用範囲等を明示している。個人情報の漏洩等の事故がないように、各園にて保育記録に関する情報管理の方法や危機管理について話し合いを行い、注意喚起を促している。保育記録を請求には「閲覧等申出書」を提出し、閲覧可能で、「閲覧記録簿」に記録し、適切な情報管理に努めている。</p> <p>ボランティアなどの受け入れ時に個人情報の扱いについて説明している</p> <p>正規職員に対して、入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導している。パート・アルバイト等の非常勤職員に対しては、「区立保育園で働くにあたって」文書を配布し、「仕事をしていく上で知り得たことは、絶対外部へ漏らさないで下さい」との文面を確認している。実習生・体験学習・ボランティアなどの受け入れについても、受け入れ手順書を作成しており、受け入れ時のオリエンテーションで、園長が活動中に知り得た個人情報の扱いについて指導することを盛り込み、その実施に努めている。</p>		

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者に対して、保育に対する考えなどを発信し、保護者との共育で取り組んでいる
 ・当日の活動を記載した「公開日誌」(3歳・4歳・5歳児対象)として掲示し、ファイル化し、保護者がいつでも閲覧できるようにしている。そのため、保護者は過去に振り返って、どのような活動をしたのかを確認できる。年間・月間指導計画の閲覧、週案を掲示し、保護者がいつでも確認できるようにしている。保育の活動を工夫して情報提供し、保護者との共育で取り組んでいる。
 ・児童館の乳児グループ活動に栄養士を派遣し、食事についての話をし、当園の持つ専門性を地域に還元している。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

園長が日々の記録に対して指導助言をし、保育の質向上につなげている
 ・クラスだよりや公開日誌を掲示することで職員自身も他の人の文章を読み、表現方法やポイントの置き方などを参考にし学びにつなげている。
 ・園長が連絡帳や日誌を点検し、職員個々に記入内容に対する質問をすることで保育を振り返る機会を持ち、また子どもの姿を行動面だけでなく、内面に踏み込んで捉えることができるようになった。また、おたよりや連絡帳の記入の際に内容や書き方の工夫がみられてきた。さらに、自分の行動や保育のねらいを改めて意識し、職員の意識改革にもつながっている。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

独自の運動プログラムを毎日、実施し、運動能力を高めている
 ・「下井草運動プログラム」に基づいて体を動かしている。「下井草運動プログラム」とは、3歳児クラス後半期・4歳児クラス・5歳児クラスが対象、毎日15分間、ホールで、職員の促しや励ましによって跳躍・バランス・体支持・全身運動を行っている。少しずつでも繰り返し運動することで、運動能力を高めるとともに、自信にもつながっている。園庭では大縄跳び・鬼ごっこ・泥んこ遊び・可動遊具を使った遊びをして身体全体で楽しんでいる。
 ・テーブルやいすの高さを工夫したり、背もたれや椅子の両サイドに手作りの補正パットを使用し、正しい姿勢で椅子に座り、落ち着いて食事ができるようにしている。
 ・幼児クラスから「しあわせニンジン」を始めている。「しあわせニンジン」は毎日、調理職員がクラスの1人だけに星などの型抜きをしたニンジンを入れ、見つかった子どもにメッセージカードを渡し、家庭でも話題にして食事への楽しみにつなげている。

サブカテゴリ4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保育料の収納率については対前年比微増しており、適切に収支管理を行っている

- ・区より定められた予算の中で必要な物品・修繕などの必要経費について検討し、無駄をなくすよう努めている。また、光熱水費の削減やコピー用紙は裏紙を使うなどして節約し、経費削減に努めている。
- ・保育料の収納率については対前年比微増しており、適切に収支管理を行っている。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
 ・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

地域住民の苦情を受け、保護者の協力を得て、課題解決を図っている

- ・保護者から意向や考え、要望などが日常的に出しやすいよう送迎時間はなるべく職員が玄関付近に立ち、保護者に声をかけている。日常会話の中で、感想や質問、要望などを自然に職員に話してくださる方も増えてきていると園は考えている。
- ・保護者会(年2回)開催前に「クラスだより」を通して、保護者に保護者会の議題について意見聴取し、保護者の要望を保護者会の運営に反映しようと努めている。
- ・地域住民からの歩道に置かれた自転車についての苦情を受け、保護者に確認したところ、保護者も駐輪場が狭く、自転車の置き場所に困っていることがわかり、児童館の駐輪場を貸してもらおう児童館に交渉し、保護者に路上駐車禁止の協力を依頼して課題解決を図ったという事例がある。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	
	評点(0000)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学希望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
	サブカテゴリ1の講評	
	利用者希望者等にはさまざまな情報ツールを用意している 杉並区ホームページでの「保育ホットナビ」に当園の情報が掲載されている。また、利用希望者等には、区作成の「保育園のしおり」、園の概要について記載したチラシなどを用意している。区作成の「保育園のしおり」は、杉並区立保育園の開所時間と保育時間・主な行事・保育園の一日などを記載し、区役所に入園相談に来た方々に配布している。また、「下井草保育園のしおり」も作成しているが、これは入園決定者に配布している。見学時は、当園の概要について記載したチラシを用意し、このチラシを渡し、当園での生活の様子について説明している。	
	新規開設の保育施設の情報について入手し、保護者の質問に答えられるようにしている 「杉並区立子供園」(保護者の就労形態に関わらず幼児を受け入れ、教育と保育を一体的に行う区独自の幼保一体化施設)の紹介ポスターを園外に掲示し、地域の子育て家庭に「杉並区立子供園」について周知している。また新規開設の保育施設の情報について入手し、問い合わせに答えられるようにしている。一方、事故が発生した場合は事故報告書を作成し、区所管部署に報告している。特別な支援が必要となる子どもについては、こども発達センター・子ども家庭支援センターや保健所などの関係機関に相談、連携できる体制を整えている。	
	見学案内では、保護者からの質問に答え、育児相談にも応じている 電話での問い合わせには、園長・主査が対応している。見学希望者には、希望日時を聞き、日程調整し、個別にて見学案内している。区立保育園の申し込みが始まる10月から見学者が多くなり、約10名以上である。見学者は妊婦や0歳児を抱える保護者が多く、都合があれば午前中に来園していただき、活動の様子をみていただいている。見学案内後、質問に答え、育児相談にも応じている。質問は食事や職員体制、散歩の行先など多岐に渡っている。園長は保護者の不安や心配に対する支援も大切と考えており、丁寧な対応を心がけている。	
	サブカテゴリ2	
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	
	評点(000)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2の講評

入園前の面接では、保護者とともに子どもの支援に必要な情報を確認しあっている
 入園内定後、保育に必要なシート(入園までの生活状況・健康調査表など)を保護者に配布し、入園面接前に保護者に記入していただき、入園面接時に確認している。入園面接では園医による健康診断や、園長・保育士・栄養士・看護師などの各専門職種が子どもの状況を確認しあい、必要な情報を収集し、保護者の希望などを聴き取り、児童票などに記録している。収集した情報は、職員会議などで共有し、次年度の指導計画やその子どもの個別配慮事項に反映している。

「慣れ保育予定」を立て、少しずつ保育時間を延ばし、不安の軽減を図っている
 入園面接での保護者との話し合いと子どもの様子をみながら「慣れ保育予定」を立て、徐々に保育時間を延ばしている。慣れるまでの期間は個人差が大きいので、1週間を目途に決定した保育時間で預かるようにしている。個々の子どもの体調などを配慮しながら保護者の就労時間を考慮し、延ばすようにしている。送迎時に担任から保護者に日中の出来事を詳しく伝え、保護者の不安解消につなげている。

園長・担任が「保育所児童保育要録」を就学先小学校へ持参している
 転園児には担任が作品を渡したり、子どもや保護者の不安を軽減するよう保護者に子どもの様子を丁寧に伝えるなどの対応をしている。転園の場合は、移行がスムーズにできるよう支援している。卒園児には、行事案内の手紙を出している。年長クラスは毎年、2月・3月頃、近隣小学校へ見学に出かけている。また、全職員で子どもの発達に係るエピソードを確認し、担任が「保育所児童保育要録」を作成し、園長・担任が就学先小学校へ持参し、子どもの発達や生活の連続性などに配慮している。

サブカテゴリー3

3 個別状況に応じた計画策定・記録 サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 **12/12**

評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしきみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー3の講評

「保育課程」を作成し、全職員が共通認識を持ち、計画的な保育の実践に努めている

「保育課程」は養護(生命、情緒)、教育(健康、人間関係、環境、言葉、表現の5領域)、そのほか、食育・遊びなどの項目を設け、子どもの発達過程をふまえ、保育の目標を具現化したねらいと内容で構成され、全職員が共通認識を持ち、それに基づいて計画的な保育の実践に努めている。「保育課程」に基づき、1年間の見通しを立てた、年間指導計画を作成している。年間指導計画は、年度末に、全職員で振り返りと評価を行い、内容と書式の見直しを検討し、次年度の計画の改善につなげている。緊急性のある場合は昼ミーティングなどで話し合っている。

「指導計画検討会議」(月2回)を実施し、個々の子どもの様子について確認している

年間指導計画に基づき月案・週案を作成し、子どもが安定し充実感を持って生活できるよう計画、実施している。0～2歳児および特別な支援を必要とする子どもには個人差が大きいため、月別のカリキュラムを作成し、一人ひとりの姿をとらえ、翌月の課題を明確に持ち、個々に応じた保育を行っている。3歳以上は個の成長と子ども相互の関係や協同的な活動を促せるようクラスごとにカリキュラムを作成している。月2回、指導計画検討会議を実施し、全職員が参加し、子どもの様子について確認している。指導計画は、保護者が閲覧できるようにしている。

出勤時に「体制ノート」に目を通すことを徹底し、職員間の情報共有を確かにしている

出勤時に「体制ノート」に目を通すことを徹底し、職員間の情報共有を確かにしている。「体制ノート」には当日の当番・職員体制・子どもの状況など、職員間で共有すべき情報が記載されている。また早番・遅番など勤務シフトごとに口頭での申し送りも行き、特に朝夕保育などで担当者が変わる場合はクラスごとの「視診表」を活用し、情報の漏れがないようにしている。また、毎日の昼ミーティングで子どもの様子などを確認しあっている。「家庭連絡票」を作成し、3つの連絡先を記入し、子どもの急変時、すぐに保護者に連絡できるようにしている。

サブカテゴリ-5

5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
●あり ○なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	○非該当	
●あり ○なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p>「下井草保育園のしおり」を使って、個人情報保護の取り扱いについて説明している</p> <p>入園説明会で「下井草保育園のしおり」を使って、個人情報保護やビデオ撮影等及び画像データ提供について具体的に注意事項を説明している。その際に、子どもや保護者についての問い合わせには本人の承諾がない限り断るなど、当園での個人情報の取り扱いについても説明している。一方、プライバシー保護の対応として、着替えの時はカーテンを閉め、プール活動ではシャワースペースに仕切りを設けたり、プール上に遮光ネットを張るなどしている。オムツ交換では個別のスペースで行うことを心がけている。</p> <p>職員は登園時に子どもの顔色・表情などをよく観察し、虐待の早期発見に努めている</p> <p>これまで虐待の疑いのある子どもの発見はなかったが、職員は登園時に子どもの顔色・表情・衣類などをよく観察し、虐待の早期発見に努めている。また、保護者の子どもに対する強い口調や長期欠席が続くなどした場合は、区所管部署・子ども家庭支援センター・児童福祉相談所・保健センターなどに通報・報告し連絡会・カンファレンスの実施など、関係機関との連携・相談体制を整えている。「虐待ケースを発見したときに保育園で行うこと」「虐待の早期発見・対応」などのマニュアルも用意し、虐待の早期発見・予防に活用できるようにしている。</p> <p>保護者が抱える子育ての悩みや不安などについて気軽に相談してもらえるよう努めている</p> <p>職員は、保護者が抱える子育ての悩みや不安などについて、保護者から気軽に相談してもらえるよう努めている。気になる子どもを理解し、適切な援助ができるよう、必要に応じて職員は心理士などの専門職に相談し、助言・指導を受ける仕組みが整っている。</p>			

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ6の講評

「園のマニュアル」「危機管理マニュアル」など、必要なマニュアルを用意している

「杉並区立保育園保育実践方針」「園のマニュアル」「危機管理マニュアル」「保健マニュアル」など、日々の保育に必要なマニュアルを用意している。クラスごとの「業務マニュアル」も作成している。マニュアル類は年度末に職員全員で点検、確認をして更新している。見直しの際は、子どもの様子を踏まえうえ意見交換を行ったり、保護者会などで寄せられた保護者の要望なども反映している。マニュアル類は事務室および各クラスの保育室に置き、いつでも確認できるようにしている。

直に意見を交わす組織をめざし、園全体の保育の質向上につなげようとしている

園長・主査も積極的に保育に加わり、保育の様子を見守るとともに、状況・タイミングを捉えて、職員個々に教育指導している。また、職員からの保育の悩み、疑問なども聴き取り、助言・アドバイスをしている。常勤職員の平均年齢は42.3歳で、保育士の約半数が経験20年以上のベテラン職員である。経験20年以上の職員をクラスリーダーに置き、年齢や経験年数などを考慮してクラス担任の編成を行っている。職員会議などを通して、保育経験の長短を超えて、率直に意見を交わす組織をめざし、園全体の保育の質向上につなげようとしている。

「杉並区立保育園保育実践方針」を全職員に配布し、保育の質向上に活用している

杉並区立保育園の保育のあり方をまとめた「杉並区立保育園保育実践方針」をパート・アルバイトも含めた全職員に配布し、保育の質向上に活用している。「杉並区立保育園保育実践方針」は杉並区保育課で平成20年に検討会を発足し、3年間かけて作成したものである。また、パート・アルバイトなどの非常勤職員は、園の保育サービスに占めるマンパワーとして欠かせない存在であるため、区主催の研修にも派遣し、園全体の保育の質向上を図っている。今年度は「子どもの育ちと大人の関わり方」などの研修に派遣している。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
		37 / 37	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子ども一人ひとりの全体的な姿を把握している 入園時に子どもの生活状況、児童状況、生育歴、健康調査、0歳・1歳児の食事調査などを把握した児童票をもとに、職員が毎日の生活や遊びの中で日々の生活に表れる子どもの気持ち、欲求、興味、関心などを捉え、保育日誌に記載している。日々の連絡ノートや送迎時の会話からも子どもの様子を把握し、家庭からの子どもの情報や園での生活する姿を捉え、子どもの全体的な姿を把握している。子どもの生活する姿から子どもの育ちを見直し、指導計画策定につなげている。</p> <p>子どもが主体的に遊び、情緒が安定し、豊かな体験を得られるよう援助している 子どもが主体的に遊べることにポイントを置き、室内および園庭の遊具・玩具などの環境を設定し、援助している。各クラスに手づくりおもちゃやままごとコーナー、手づくりの室内滑り台(段ボールで作った)、手づくりの家(段ボールで作った)、手づくりの流し台などを設定している。園庭では泥んこ遊びをして、体全体で、楽しんでいる。また、子ども同士で関わって遊べるように言葉かけをしたり、見守り、適切な援助をしている。子どもたちが主体的に遊び、情緒が安定し、豊かな体験を得られるよう援助している。</p> <p>子ども同士のトラブルの際は、子どもの気持ちを受容し、気づきを育んでいる 発達の過程で生じるけんかやかみつなど、子ども同士のトラブルが起きた時は、職員がお互いの気持ちを受容し、気持ちが落ち着いたところで、なぜトラブルになったのかを聴き、わかりやすい言葉で他の子どもとの関わり方を知らせている。また、保護者にも子どもの発達の特徴を伝え、子ども同士の関わりの必要性を知らせている。園として、かみついた子ども、かみつかれた子どもの双方の保護者に謝罪している。職員はかみつきを防止するために、毎日のミーティングで話し合っている。保育の工夫や職員の協力体制などに配慮している。</p>			
2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評

子どもの家庭での様子と園での状況を保護者と伝え合っている

登園時には、家庭での子どもの前日からの様子を口頭で聴き、「視診表」に記入されている前日からの申し送り事項や家庭からの連絡事項および情報を確認し、職員間で共有している。特に留意する事項はマーカーで色分けしている。0歳・1歳・2歳児は園で準備した連絡帳に体温、食事、排泄、睡眠、家庭での様子、園での様子を記入している。連絡帳は複写になっているため、保護者と園でそれぞれが連絡帳の1枚を保管し、情報交換のツールとしている。

基本的な生活習慣が身に付くように園と保護者が連絡を取り合い、支援している

子ども一人ひとりの発達にあわせて基本的な生活習慣を無理なく習得できるよう支援している。食事は楽しい雰囲気の中で自分で食べようとする気持ちを大切にしながら、成長とともにスプーンやフォークを使って食べるように習慣づけをしている。箸の持ち方など食事のマナーを身に付けるように援助している。トイレトレーニングは、個々の排尿間隔にあわせて声かけし、自分から尿意を知らせた時は便器に座ってみる、排尿できた時は褒めてあげる、手を洗う・着衣着脱などの生活に必要な習慣や態度を身に付けるよう援助している。

家庭での状況を把握し、一人ひとりにあわせて午睡がとれるようにしている

年齢が小さい子どもには午前寝をして、昼食の時に、しっかり食事がとれるように配慮している。体調不良の子どもには、個別のリズムを把握し、休息がとれるように援助している。午睡の前には、絵本を読むなどして、気持ちを落ち着かせて安心してお昼寝ができるようにしている。眠くない子どもには、強要せず、静かによこになり、休息がとれるようにする。眠くなくても、よこになって静かに過ごすことができるように援助している。5歳児は、就学に向けて、徐々に午睡をなくすようにしている。家庭と連携しながら進めている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

保育目標を反映した指導計画を立て、日常の保育で実践している

保育目標は〈自分を大切にし、人に優しくできる子〉〈自分に自信を持ち、色々なものに意欲的に取り組める子〉〈自分の気持ちを言葉で伝えられ、相手の話を聞ける子〉〈心も体も健やかな子〉を示している。これらを反映した年間指導計画・月案・週案を立て、日常保育で実践している。その中、「下井草運動プログラム」に基づいて体を動かしている。「下井草運動プログラム」とは、3歳児クラス後半期・4歳児クラス・5歳児クラスが対象で、少しずつでも繰り返し運動することで、運動動力を高めるとともに、自信にもつながっている。

遊び込める環境を設定し、充実感や満足感を得て、活動意欲につなげている

保育室にはコーナーを設定し子どもが集中して遊べるようにしている。ままごとコーナーはたたみなどを敷き、キッチンセットなどが用意され、ままごと遊びを楽しむ環境構成をしている。また押し入れの下の空間を利用して子どもの居場所をつくり、さまざまな遊びを楽しめるようにしている。おもちゃは年齢に応じたさまざまな手づくりの玩具が用意されている。白木積み木での構築遊びでは、翌日も継続して遊べるようにしている。想像力を膨らませ、遊びなどを継続し、満足感を味わっている。

自然の営みを体験する環境を作り出し、自然を通して想像力や感性を育てている

ヘチマやナス、さつま芋などの栽培をし、冬はラディッシュ、水栽培やキノコを育て、植物の成長を観察し生命の営みを知る経験をしている。ヘチマを乾燥させ、たわしにして、園庭で遊んだ後に足を洗う時に使っている。園外保育では、近くの公園に行き、カモを観察したり、散歩や園庭で蟬の抜け殻、コガネムシ・ドングリなどを見つけて、自然を感じている。拾ったドングリを園に持ち帰り、制作活動に活かしている。今年度、蝶の幼虫を育て、アゲハチョウになり、皆で名前を付け、庭に放した。自然の営みを体験する環境を作り出している。

4 評価項目4 行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4の講評

みんなで協力し、やり遂げる喜びを味わえる行事を行っている

運動会のオープニングは年長児による「竹太鼓」で始まり、皆で「下井草保育園の歌」を歌って、運動会の雰囲気をつくっている。「竹太鼓」は職員が裏打ちを担当し、年長児がバチで太鼓をたたいている。その後全園児で行う体操、年長児は縄跳びと組み体操、保護者競技、親子でダンスなどで保護者も一緒になって運動会を楽しんでいる。少し苦手だったことにも挑戦して、できるようになった姿、友達を思いやりながら、力をあわせて取り組む姿、励まし合い、声援を送って楽しむ姿など、子どもの成長の姿を全員で喜びあっている。

子どもが興味を持ち、進んで取り組んでいる集団遊びを行っている

幼児はケイドロ、猫とネズミ、色鬼遊びなどの集団遊びを楽しんでいる。集団遊びを通して友だちと一緒にする楽しさ、面白さなど友だちと喜びを共有している。鬼になりたい子どもや鬼になりたくない子ども、面白そうだと思う子どもなどそれぞれの気持ちを大切にしながら、子ども同士の関わりを援助し、人と関わって遊ぶ力や集団としての力を育んでいる。子どもは捕まって悔しい・悲しいという気持ちになり、また悲しくても我慢して遊びに参加する。

園の行事に地域の人を招待し、地域の行事に子どもたちが参加している

運動会には「ふれあい保育」に参加した地域の親子や近隣の民間の保育室の子どもと職員を招待している。5歳児が近隣小学校のお祭りに招待され、小学生と交流している。地域の科学センターへ七夕短冊飾りを作って持っていき、飾ってもらった。運動会の競技に、地域の学童や、地域の0歳・1歳・2歳児の子どもを招待し、一緒に運動会を楽しんでいる。園医、児童館、保育室、小学校などの地域の方々へ運動会の参加を呼びかけ、卒園児には手紙を郵送して招待している。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目5の講評

お迎え時間の遅い子供がくつろげる環境をつくっている

延長保育は18時30分～19時30分までで満1歳から利用可能である。お迎え時間の遅い子どもがくつろげるようカーテンや仕切りなどを活用し、ゆったりできるスペースを確保している。職員は個別に関わり、ままごと道具(人形・おぶい紐・台所用品など)などの延長用の玩具・絵本を用意し、年齢にあわせたおもちゃ・絵本、机上遊び(ぬり絵・粘土など)を設定している。年齢の小さな子どもは職員が抱っこや膝に乗せたりして気持ちを安定させている。異年齢の子どもが楽しく遊べるよう配慮している

自然な関わりを大切に職員全体で子どもを見ていくよう意識づけしている

コーナーや室内設定を行い、「積み木」「机上ゲーム」「工作遊び」など好きな場所に行き、遊んでいる。異年齢での会食会を実施するなど、クラスの単位に捉われず、自然な関わりを大切に職員全体で子どもを見ていくよう意識している。個人差・年齢差・発達差などに配慮し、園庭や室内のさまざまな活動で3歳から5歳児の異年齢保育を行っている。

「朝・夕保育連絡簿兼視診表」を使って、子どもの様子を職員間で情報共有している

クラスごとに「朝・夕保育連絡簿兼視診表」を使って、子どもの様子を職員間で情報共有している。登園時は子どもの顔色・表情・機嫌・怪我・目やに鼻水などの健康状態を目視し、保護者から家庭での様子を聴き取り、日中の子どもの様子を把握し、「朝・夕保育連絡簿兼視診表」に記録している。この記録を通して、子どもの24時間を捉えて、保育に活用している。降園時に、保護者に子どもの遊びなどについて、具体的に保護者が子どもの様子を理解し、安心できるようエピソードをまじえ伝えるよう努めている。

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

テーブルやいすの高さを工夫し、子どもが落ち着いて食事ができるようにしている

背もたれや椅子の両サイドに手作りの補正パットを使用し、正しい姿勢で椅子に座り、落ち着いて食事ができるようにしている。テーブルの上にシールを張り、席を決め、落ち着いて食べられるようにしている。季節の装飾をして、楽しい雰囲気づくりに配慮している。子ども同士の楽しい会話や職員は「美味しいね」などの声かけをし、無理強いをしないで、嫌いなものでも挑戦できるよう励ましている。楽しい雰囲気の中で自分で食事をしようとする気持ちを大切に援助している。

「しあわせニンジン」の取り組みで、食事への関心を強めている

幼児クラスから「しあわせニンジン」を始めている。「しあわせニンジン」は毎日、調理職員がクラスの1人だけに星などの型抜きをしたニンジンを入れて、見つかった子どもにメッセージカードを渡している。カードは持ち帰り、家庭でも話題にしている。「今日は自分のところにしあわせニンジンは入っているかなあ」と子どもたちは楽しみにしている。一方、食事に配慮が必要な子どもには、除去する食品と除去の程度を「食物除去申込書」(食物アレルギー児用)に記入し、園に提出してもらっている。

クラスごとに植える野菜を話しあって決め、栽培物を収穫し、味わっている

「年間指導計画」の中に食育を位置づけ、食育の取り組みを計画的に実施している。クラスごとに植える野菜を話しあって決め、栽培物を収穫し、味わっている。調理活動では、野菜の皮むきやクッキーづくり、米とぎや炊飯の様子の観察、おにぎりづくり、うどんづくりなど年齢にあわせた取り組みをしている。食育は園と家庭が連携を取りながら、親子のコミュニケーションが深まるよう、食への関心を育てている。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

看護師と保育士が連携して手洗い・うがいの指導を行い、感染予防に取り組んでいる

外から帰った時、食事前、排泄後には、0歳児から職員と一緒に手洗いをしている。朝の登園時は、0歳児の保護者は準備室で手を洗い、引き継ぎの部屋に入っている。3歳児から、秋には、看護師から手洗い・うがいの実技指導を受けている。食後の口腔ケアとしてのブクブクと、喉をきれいにするガラガラの違いをわかりやすく説明し、保育現場でも実践している。下痢・嘔吐に対しては、各クラスに処理セットが置かれており、トイレには対応手順を掲示している。毎月の「ほけんだより」には、流行期の病気や予防、園児の罹患状況についても掲載している。

気になる子どもについて、定期的に来園する心理士に相談できる体制が敷かれている

子ども同士の関わり方、姿勢保持などの身体面、食事摂取など、気になる姿のある子どもへの対応の仕方については職員間で検討したり、定期的に来園する心理士に相談できる。専門的視点から具体的な指導を保育で実践し、役立てている。

定期的に健診を行い、子どもの健全な発達支援に取り組んでいる

内科検診、歯科検診、眼科検診(3歳児以上)、耳鼻科検診(3歳以上)、ぎょう虫・細菌検査、身長・体重測定を定期的に行い、結果は「健康カード」でお知らせしている。4歳・5歳児対象に歯科衛生士が歯磨きの指導を行っている。予防接種は「ほけんだより」に掲載し、各自で接種し、接種後は報告してもらっている。保護者より情報を収集し、「個々の既往症の対応マニュアル」を作成し、その内容は職員にも周知し、看護師不在時でも対応できるようにしている。乳幼児突然死症候群(SIDS)の予防は睡眠時の子どもの様子を確認し予防に努めている。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

保護者の子育てや就労などの事情に配慮している

連絡帳や登降園時での保護者との会話から、保護者の家庭状況や子育ての悩みなど、保護者の気持ちをくみ取るよう心掛けている。就労形態の変更、保護者自身の体調などについて園長が相談を受けることもある。子育てと仕事の両立を支援するよう努めている。保護者の体調が悪い時などには、保育時間の変更を受けることもある。保護者の精神的に不安を抱えている時は、相談できる機関があることを知らせている。

保護者会や保護者参加の行事等で保護者同士の交流を図っている

運動会では、子どもの競技・遊戯を見て子どもの成長を保護者同士で喜びあって交流している。また、お昼はお弁当を食べながら会話を楽しんでいる。クラス別保護者会では、自己紹介をし、保護者同士で交流できるよう配慮している。クラス懇談会では親のストレス発散や小学校への就学の準備について、夜のおねしょ、帰宅後どのように過ごしているかなどについて意見交換をしている。同じ年齢の子どもを持つ、親同士が同じ悩みを持っていて、どこも同じなのだと思えたり、他の保護者の考えを聴いて、子育てについて視野を広げている。

保護者に子どもたちの様子を伝え、保護者と職員の信頼関係を築いている

保護者会(年2回)、個別面談、保育参観、保育参加、園だより、クラスだより、保健だより、給食だより、献立表、連絡帳、公開日誌(子どものその日の活動内容をファイルしているもの)・年間指導計画の閲覧、送迎時の会話などを通して子どもの様子を知らせている。子育ての感動を園と保護者で伝え合い、喜びを共にするコミュニケーション・マインドを基本にするよう努めている。子どもの生活が家庭から園へ、園から家庭へと連続していることを相互に理解し合い、保護者と協力した「子育て」の促進に努めている。

9 評価項目9

地域のニーズに即した子育て支援を実施している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目9の講評

地域の子育て家庭を対象に、園庭を開放している

地域の子育て家庭を対象に、「ふれあい保育」や身体測定、園庭開放、育児相談などを実施している。看護師による健康・発達相談、保育士による子育て相談、栄養士の離乳食の作り方や進め方など、それぞれの不安や悩みにきめ細やかに対応している。保育士が傍らに付きながら、園児の様子を見たり、一緒に遊ぶ経験をする中で保護者が子どもの成長の姿を想像し、安心して子育てできるよう支援している。来園をきっかけに参加が継続した家庭もあり、「具体的なアドバイスが参考になった」との声も聞かれている。

在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている

身体測定後のフリーな時間を使って、保護者同士で話し合い、次の機会を合わせなどの切っ掛けをつくることもある。園からの運動会の案内を渡し、一緒に園児の競技や演技を見ながら、応援している。運動会の種目には地域の子どもが参加でき、親子で参加しているケースもある。参加した保護者同士が顔なじみになり、交流し、楽しんでいる。

年度末に全職員で話し合い、見直し・評価を行っている

年度末に地域の子育て支援について全職員で話し合い、見直し・評価を行い、次年度の改善につなげている。園としては、今後も引き続き、地域の子育て家庭のニーズを把握し、ニーズに沿った実施が検討課題と考えている。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	独自の運動プログラムを毎日、実施し、運動能力を高めている	
内容①	「下井草運動プログラム」に基づいて体を動かしている。「下井草運動プログラム」とは、3歳児クラス後半期・4歳児クラス・5歳児クラスが対象、毎日15分間、ホールで、職員の促しや励ましによって跳躍・バランス・体支持・全身運動を行っている。少しずつでも繰り返し運動することで、運動能力を高めるとともに、自信にもつながっている。園庭では大縄跳び・鬼ごっこ・泥んこ遊び・可動遊具を使った遊びをして身体全体で楽しんでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	保育の活動を工夫して情報提供し、保護者との共育に取り組んでいる	
内容②	当日の活動を記載した「公開日誌」(3歳・4歳・5歳児対象)として掲示し、ファイル化し、保護者がいつでも閲覧できるようにしている。そのため、保護者は過去に振り返って、どのような活動をしたのかを確認できる。年間・月間指導計画の閲覧、週案を掲示し、保護者がいつでも確認できるようにしている。保育の活動を工夫して情報提供し、保護者との共育に取り組んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-7	子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている
タイトル③	耳鼻科、眼科などの検診の機会もあり、健康管理の取り組みが充実している	
内容③	年2回の定期健康診断および年1回歯科検診のほかに、3歳以上の子どもに対して、耳鼻科、眼科などの検診も年1回、実施している。看護師から、毎月の「ほけんだより」を通して流行期の病気や予防、園児の罹患状況について情報を提供しており、内容が充実している。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	遊び込める環境を設定し、子どもは充実感や満足感を得て、活動意欲につながっている
	内容	保育室にはコーナーを設定し子どもが集中して遊べるようにしている。ままごとコーナーはたたみなどを敷き、キッチンセットなどが用意され、ままごと遊びを楽しむ環境構成をしている。また押し入れの下の空間を利用して子どもの居場所をつくり、さまざまな遊びを楽しめるようにしている。おもちゃは年齢に応じたさまざまな手づくりの玩具が用意されている。白木積み木での構築遊びでは、翌日も継続して遊べるようにしている。想像力を膨らませ、遊びなどを継続し、満足感を味わっている。
2	タイトル	食事が落ち着いて、楽しくできるよう工夫している
	内容	テーブルやいすの高さを工夫したり、背もたれや椅子の両サイドに手作りの補正パットを使用し、正しい姿勢で椅子に座り、落ち着いて食事ができるようにしている。幼児クラスから「しあわせニンジン」を取り入れている。「しあわせニンジン」は毎日、調理職員が各クラス1人だけに星などの型抜きをしたニンジンを隠し入れ、見つけた子どもにメッセージカードを渡し、家庭でも話題にして食事への楽しみにつながっている。「今日は自分のところにしあわせニジンは入っているかなあ」と子どもたちは楽しみにしている。
3	タイトル	好きな部屋に行き遊ぶ、会食会などを通して異年齢保育を実践している
	内容	コーナーや室内設定を行い、「積み木」「机上ゲーム」「工作遊び」など好きな場所に行き、遊んでいる。異年齢での会食会を実施するなど、クラスの単位に捉われず、自然な関わりを大切に職員全体で子どもを見ていくよう意識している。個人差・年齢差・発達差などに配慮し、園庭や室内のさまざまな活動で3歳から5歳児の異年齢保育を行っている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保護者とのコミュニケーションの促進が望まれる
	内容	利用者調査では「不満や要望は保育所に言いますか」に対して、「はい」と答えた方々は回答者の41.3%、「どちらともいえない」と答えた方々は回答者の34.9%、「いいえ」と答えた方々は回答者の20.6%で、消極的否定的な返答の方々が回答者の半数以上であった。園としても、保護者からの考えや思いを言ってもらえるよう努め、保護者と共に育児や発達について学ぶ機会を持ちたいと考えている。保護者とのコミュニケーションの促進が望まれる。
2	タイトル	職員育成に向けたより一層の取り組みが望まれる
	内容	職員の平均年齢は42.3歳で、経験20年以上の経験豊富な職員が保育士の半数を占めており、ベテランの職員集団である。そのため、利用者調査では日頃の保育に対する感謝のコメントが数多く寄せられていた。しかし、「人によって対応に差がある」というコメントも散見された。職員育成に向けたより一層の取り組みが望まれる。
3	タイトル	在宅子育て家庭への支援のさらなる充実を期待したい
	内容	地域の子育て拠点としての機能として園庭開放、身体測定、「ふれあい保育」を実施しているが、利用する方々が少ないのが現状である。また、園としても、地域の子育て家庭向けのサービス内容のニーズの把握を課題と考えている。子育て家庭同士の交流など、在宅子育て家庭への支援のさらなる充実を期待したい。

調査対象

平成25年9月時点で利用している子どもの保護者。ただし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答とした。

調査方法

①調査票、②調査のご協力依頼文書、③返信用封筒を同封した封筒を保育園の職員から直接、保護者の方々に配布してもらい、保護者の方々から返信用封筒に調査票を入れて、直接、評価機関へ返送していただいた。調査にあたっては保育所内に「ご協力をお願い」文書を掲示した。

利用者総数

98

共通評価項目による調査対象者数

98

共通評価項目による調査の有効回答者数

70

利用者総数に対する回答者割合(%)

71.4

利用者調査全体のコメント

・総合的な感想は「大変満足」28名(40%)、「満足」35名(50%)、「どちらともいえない」5名(7.1%)、「不満」1名(1.4%)、無回答1名(1.4%)であった。当園の保育サービスに関して高い満足を得ている。
 ・回答者の80%以上が「はい」と答え、満足度が高い設問は問1「食事」、問2「戸外遊び」、問4「体調変化への対応」、問5「安全対策」、問8「保護者の話を聴く姿勢」、問9「プライバシーの保護」、問10「一人ひとりの子どもへの尊重」、問11「職員の対応」であった。
 ・「はい」と答えた方々が回答者の半数以下の設問は問14「第三者委員などにも相談できることを知っているか」であった。
 ・自由記述には「毎日、「保育園楽しかった」と言って帰ってくる」「他のクラスのお兄さんやお姉さん、下のクラスの小さいお友だち、先生方と日々ふれあい充実した時間を過ごしている」などのコメントが寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	67	3	0	0
回答者の95.7%が「はい」との返答で、食事に関しては高い満足を得ている。「はい」と答えた方からは「多様なメニューでおやつまですべて手づくり」「アレルギー対応を細かくしてくれて助かっている」「旬のものを取り入れている」「食への関心が高まる工夫をしている」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	57	12	1	0
回答者の81.4%が「はい」との返答で、戸外遊びに関しては高い満足を得ている。「はい」と答えた方からは「近くの公園だけでなく、園庭でも身体の発達を十分に配慮、工夫している」などのコメントが寄せられていた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	44	10	1	15
「はい」と答えた方々は回答者の62.9%で、回答者の21.4%が無回答であった。無回答の方々は「延長を利用したことがない」との理由であった。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	66	2	0	2
回答者の94.3%が「はい」との返答で、子どもの体調変化への対応に関しては高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは、「こまめに電話があり、助かっている」などのコメントが寄せられていた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	56	11	2	1
回答者の80%が「はい」との返答で、安全対策に関しては高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「タイヤ遊びの導入など、身体の発達を考慮した遊びを考え、実践してくれている」などのコメントが寄せられていた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	49	18	2	1
回答者の70%が「はい」との返答で、行事日程の設定に関しては概ね満足を得ている。「はい」と答えた方からは「夏祭りや運動会は、土曜日なので助かる」「保護者側の都合を聞いて行事の日程を決めてくれ、大変ありがたい」などの声が寄せられた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	55	13	1	1
回答者の78.6%が「はい」との返答で、家庭と保育所との信頼関係に関しては概ね満足を得ている。「はい」と答えた方からは「時間があるときはいろいろ話を聴いてくれる」、「どちらともいえない」と答えた方からは「お迎え時はバタバタしているので、話をするタイミングが少ない」「長い間お世話になるので、本音で打ち明けられない」などのコメントが寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	61	8	0	1
回答者の87.1%が「はい」との返答で、保護者の考えを聞く姿勢に関しては高い満足を得ている。「はい」と答えた方からは「連絡帳に毎日、細やかに書いてくださり、悩みにも助言をしてくれ助かっている」などのコメントが寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	62	2	0	6
回答者の88.6%が「はい」との返答で、プライバシー保護に関しては高い満足を得ている。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	65	4	0	1
回答者の92.9%が「はい」との返答で、一人ひとりの子どもの尊重に関しては高い満足を得ている。「はい」と答えた方からは「楽しそうにしている子どもの姿をみると安心する」などのコメントが寄せられた。				

11. 職員の対応は丁寧か	65	3	1	1
回答者の92.9%が「はい」との返答で、職員の対応に関しては高い満足を得ている。「はい」と答えた方からは「担任以外の先生に子どもの名前を呼ばれて挨拶をしてもらって大変嬉しい」「1日の子どもの様子を伝えていただくので、様子がよくわかる」などのコメントが寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	47	19	2	2
「はい」と答えた方々は回答者の67.1%、「どちらともいえない」と答えた方々は回答者の27.1%であった。「どちらともいえない」と答えた方からは「どこまで言ってよいものか考えてしまう」「良い先生なので、細かいことを言って関係を悪くしたくないので、ためらってしまう」などのコメントが寄せられていた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	46	16	0	8
「はい」と答えた方々は回答者の65.7%、「どちらともいえない」と答えた方々は回答者の22.9%であった。「いいえ」と回答された方は誰もおられなかった。「どちらともいえない」と答えた方からは「言ったことがないのでわからない」との理由であった。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	19	2	46	3
「はい」と答えた方々は回答者の27.1%、「いいえ」と答えた方々は回答者の65.7%であった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	15	2	0	1
回答者70名中21名の方々が「過去1年以内に利用を開始した」と答え、その21名中18名の方々が「利用前の説明を受けた」と答えている。したがって当該設問の対象者は18名である。その18名中15名の方々が「その説明はわかりやすかった」と答えている。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当

カテゴリー1の講評

今年度、「ホツとなごめる保育園」を園目標に掲げ、全職員で取り組んでいる

当園の保育理念(子どもが『いっぱい遊べるよ』保護者の方が『あずけて良かった!』と思う保育園をめざします)など正面玄関・事務室に掲示している。また保育理念などは「上井草保育園のしおり」にも明示し、保護者・職員などに配布している。今年度、「ホツとなごめる保育園」を園目標に掲げ、年度初めに全職員で話し合い、取り組み目標を立て、その実践に努めている。その一つとして、明るい挨拶や心のこもった言葉がけに取り組み、職員一人ひとりがすべての保護者および子どもとの信頼関係の構築に努めている。

区立保育園間の階層別職種別の横断的な情報交換の場を設けている

杉並区立保育園では、保育の質の向上を目的に「保育の向上を考えるリーダー会議」が組織化されており、各園2名のリーダーを選出し、区立保育園の各園のリーダーが参集し、横断的に情報交換し、互いに刺激を合い、自園での実践の参考にしている。園長・主査・情報リーダー2名が保育の向上促進の4本柱との位置づけである。また園長会(月2回)が実施され、両会とも保育課長も参加し、区の取り組みなどについて情報伝達されている。そのほか、主査・看護師などの区立保育園の連絡会もあり、各園の取り組みや共通課題について検討している。

職員個々の役割および園内の意思決定の場を明確化している

「杉並区立保育所処務規程」に園長の専決事項が記載され、園幹部の職責を明確化している。「行事・係分担表」により職員個々の役割を明確化している。会議体も作成し、意思決定の場を明確化している。「昼ミーティング」(毎日、2:50~3:00)や「定例打ち合わせ」(週1回、14:00~15:00)を設け、子どもの状況や各係からの連絡事項など園全体の動きを共有化している。また「職員会議」(月1回、17:15~19:15)では月別テーマを設定し、年間指導計画や食育などについて検討したり、園目標の進捗状況を確認している。

2			カテゴリー2	
2			経営における社会的責任	
			サブカテゴリー1(2-1)	
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している		<input type="radio"/> 非該当	
			サブカテゴリー2(2-2)	
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している			評点(〇〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当	

カテゴリー2の講評

「杉並区立保育園保育実践方針」をパート・アルバイトも含む全職員に配布している

正規職員の入職時の研修では「公務員倫理」「人権」などについて指導教育している。「杉並区立保育園保育実践方針」はパート・アルバイトも含めた全職員に配布し、全職員で読み合わせをし、自己の保育について振り返りをしている。また、パート・アルバイト職員に対して「区立保育園で働くにあたって」を作成し、入職時に説明している。「子どもの話に耳を傾けているか」について各クラスで話し合い、自己の保育を振り返っている。また子どもに強要するのではなく、子どもが自発的に行動するよう、園長自ら手本を示し、職員を教育指導している。

夏まつりと運動会のプログラムを地域住民に配布している

地域の子どもたちが自由に参加できるよう、夏まつりと運動会のプログラムを地域住民に配布している。また、地域の子どもが自由に保育園の子どもたちとふれあいながら遊びを体験できる「あそびの広場」を毎週、水曜日、午前10時～11時15分に実施している。また、年10回、地域の子どもの身体測定も実施している。毎年、園長が近隣の中学3年生に対して、保育園の仕事についての話をし、保健センターで保育士がトイレトレーニングなどについて話をし、児童館のお祭りで保育士がバルーンアートを教えるなど、園の持つ専門性を地域に還元している。

保護者がボランティアとして車のタイヤを園庭に運び、遊び場をつくっている

ボランティア受入れマニュアルを作成している。近くの農芸高校ボランティア部が来園し、花壇を整えたり、鉢植えを持って来てくれている。また、保護者が車のタイヤを園庭に運び、子どもたちの遊び場をつくるなど、家族がボランティアとして関わっている。近隣小学校の6年生がボランティア活動の一環として、来園し、子どもたちと遊んでくれている。専門学校・短大・大学生の保育実習、近隣2か所の中学校、高校から職業体験の生徒を受け入れている。多様な人々を導入し、子どもたちの生活を豊かにしている。

カテゴリ-3		
3	利用者意向や地域・事業環境の把握と活用	
サブカテゴリ-1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評		
「保健福祉サービス苦情調整委員制度」について保護者に周知している 園内に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示し、保護者に周知している。利用者がサービスに不満があるとき、保健福祉サービス苦情調整委員が申立者と事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る制度である。今年度、申し立て実績はゼロである。また、ご意見箱も置き、いつでも誰でも意見を投稿できるようにしている。今年度、投函実績はゼロである。園児の受け入れ時は必ず保護者に子どもの様子などについて確認し、要望等はすぐに園長に報告している。 父母会の総会前に定期的な話し合いの場を持つなど、保護者の意向把握に努めている。 保護者会(年2回)や個人面談(年1回)の際に、保護者の要望や意向を把握している。また、日常でも連絡帳に記載のあった保護者の要望や意向には、ミーティングなどで情報伝達し、共有化し、対応について話し合っている。父母会があり、父母会主催の夏祭りや父母会の総会前に定期的な話し合いの場を持ち、また随時、要望を受け、保護者の意向把握に努め、できる限り希望に応じている。利用者調査では「保護者側の都合を聞いてくれて行事の日程を決めてくれ、大変ありがたい」などの声が寄せられていた。 「地域子育てネットワーク」や地域懇談会に参画し、地域の福祉ニーズを収集している 近隣の小学校・幼稚園・保育園などが参加する、児童館主催の「地域子育てネットワーク」(年2回)や近隣自治会・町会・商店会・青少年育成委員会・小中PTAなどが参加する地域懇談会(年1~2回)に参画している。また区内にある認可保育園・認証保育所・杉並区立子供園などの保育関係施設の長が集まる杉並区内保育施設地域懇談会があり、地域ごとのグループに別れて実践事例を通して、情報交換や討議をしている。このような場に参加し、地域の子どもに関する情報を収集している。		

カテゴリ4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評点(000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-4の講評

組織目標に一丸となって取り組んでいる

「杉並区総合計画10年プラン」に基づき、「杉並区実行計画3年プログラム」(平成24年～26年度)を作成し、その施策の一つである「保育の充実」の中の「多様なサービスの提供」に基づき、当園では「延長保育」「緊急一時保育」「子育て広場」「在宅子育て支援(育児講座)」を実施し、その充実に取り組んでいる。また、保健福祉部・保育課の組織目標に基づき、園の具体的な取り組みを策定し、さらに職員個々が仕事目標を立てている。園全体で一丸となって組織目標に取り組んでいる。

看護師が講師の感染対策の実践的な研修を実施している

事故発生時は、昼のミーティングで対応策を話し合い、1週間以内に報告書を提出し、報告書は治療が終了するまで、経過も記録している。インフルエンザやノロウイルスなどの感染情報も区所管部署から随時、情報が提供され、その情報を掲示するなど、保護者に情報提供している。また、嘔吐物処理セットを各クラスに置き、手順書も各クラスに掲示し、パート職員も含めて全職員に手順書を配布し、拡大防止策を講じている。看護師が講師となってノロウイルス対策の実践研修も行い、誰でもが的確な嘔吐物の処理ができるようにしている。

年間「自衛消防訓練実施計画」を策定し、月1回、防災・避難訓練を実施している

年間「自衛消防訓練実施計画」を策定し、月1回、防災・避難訓練を実施している。その中で年2回、総合訓練を行い、消防署が立ち合い、指導を受けている。消防署職員より人工呼吸・心臓マッサージなどの救命救急講習も受けている。そのほか、プール・水遊び中の訓練、朝保育・散歩中・午睡中・延長保育時間帯での訓練、第一避難場所へ避難するなど、さまざまな場面を想定しての訓練を行っている。幼児は防災頭巾をかぶる練習もあり、実施後は反省会を持ち、改善を図っている。子どもの安否確認等情報を保護者にメールで伝える仕組みも導入している。

5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	8/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ5の講評		
<p>「チャレンジプラン」を使って、上司との面談を行い、個々の仕事目標を確認している</p> <p>保育士、看護師、調理員、用務など職種ごとに採用を行い、区ホームページや広報紙などを通して、採用募集を行っている。保育士としての適性を見極め、採用の可否を判断している。パート・アルバイト等の非常勤職員は園長が面接を行い、区保育課で最終決定を行っている。「チャレンジプラン」(目標達成チェックシート)を使って、年2回以上の上司との面談を行い、個々の仕事目標を確認している。また人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行い、能力開発や活性化につなげている。</p> <p>区主催の階層別職種別研修会などの園外研修に職員を派遣し、育成している</p> <p>新人職員への支援制度を設け、育成担当者を配置し、育成計画を立て、新入職員を育成している。年3回、育成担当者会議を開催し、育成担当者の育成も図っている。区主催の階層別職種別研修会などの園外研修に、希望者や園長・主査による指名にて職員を派遣しており、職員によってばらつきがないよう配慮している。また園内では、今年度、「保育実践方針」を基に、「保育課程の再考」について全職員で学び合い、「保育実践方針」と連動した「保育課程」を検討している。</p> <p>園長は、職員個々の得意分野を發揮していく場をつくり、やる気向上につなげている</p> <p>園長は、職員個々が「チャレンジプラン」(目標達成チェックシート)に記載している得意分野を發揮していく場をつくり、やる気向上につなげている。また、職員会議などで、皆の前で「頑張ったことを褒め称えている。明日の良い保育をしていくためには効率的に仕事を進め、仕事を抱え込まないことを職員に伝えている。また、職員個々が心身のストレスを抱えないよう、有給休暇の消化率も確認し、その取得を進めている。ノー残業デーも週1回設け、残業削減に取り組んでいる。今年度、皆が時間内に仕事を追われるよう日誌の簡素化を行った。</p>		

7			7	
7 情報の保護・共有				
サブカテゴリ1(7-1)				
情報の保護・共有に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる			評点(000)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している			評点(0000)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている			<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ7の講評				
<p>「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている</p> <p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。パソコンを使用しない時は鍵のかかる書棚・机の引き出しに入れ、事務室に誰もいない時は施錠して出かけている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。基本的にUSBメモリーは園外持出禁止である。個人情報や鍵の取り扱いには十分に注意し、書庫などの鍵の取扱者を限定している。区で定めた文書保管期間に基づき、保存年限を過ぎた文書等の廃棄を行い、記録類の管理を行っている。</p> <p>情報管理の方法や危機管理について職員間で話し合いをし、注意喚起を促している</p> <p>杉並区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の収集・利用・管理を行っている。また情報収集の目的・使用範囲などを明示し、個人情報の漏洩等の事故がないよう、その取り扱いに関して注意を徹底している。そのため、定期的に全職員で保育記録に関する情報管理の方法や危機管理について話し合いを行い、注意喚起を促している。保育記録の閲覧を希望する際は「閲覧等申出書」を提出すれば可能である。「保育記録の保護者閲覧の流れ」(手順書)を作成し、「保育記録閲覧記録簿」も用意し、適切な対応ができるようにしている。</p> <p>ボランティアなどの受け入れ時に個人情報の扱いについて説明している</p> <p>正規職員に対して、入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導している。パート・アルバイト等の非常勤職員に対しては、「区立保育園で働くにあたって」文書を配布し、「仕事をしていく上で知り得たことは、絶対外部へ漏らさないで下さい」との文面を確認している。実習生・体験学習・ボランティアなどの受け入れにあたっては、受入手順書を作成し、活動初日のオリエンテーションで、園長が活動中に知り得た個人情報について活動中・活動後も第三者に漏らさないことを説明している。</p>				

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

夏まつりと運動会のプログラムを地域住民に配布している

・地域の子どもたちが自由に参加できるよう、夏まつりと運動会のプログラムを地域住民に配布している。
 ・毎年、園長が近隣の中学3年生に対して保育園の仕事について話し、保健センターで保育士がトイレトレーニング・ふれあい遊び・子どもの接し方などについて話をしたり、手づくり遊具の紹介をしている。また児童館のお祭りで保育士がバルーンアートを教えている。このように園の持つ専門性を地域に還元している
 ・近隣の農芸高校ボランティア部が来園し、花壇を整えたり、鉢植えを持って来てくれる。また、保護者が車のタイヤを園庭に運び、子どもたちの遊び場をつくるなど、家族がボランティアとして関わっている。近隣小学校の6年生がボランティア活動の一環として、来園し、子どもたちと遊んでいる。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

全職員で「杉並区立保育園保育実践方針」を確認している

・今年度は「保育課程の再考」をテーマに掲げ、全職員で「杉並区立保育園保育実践方針」を読み合わせ、職員同士で意見交換し、職員個々の保育力向上につなげている。また保育士同士、保育士・栄養士・看護師などの各職種間の連携、パート、アルバイトなどの非常勤職員との連携にも力を注ぎ、チームワークの強化を図っている。園長は今年度4月に就任、異動してきたが、全職員が一丸となって園目標に取り組むよう、リーダーシップを発揮している。
 ・園長は、私のチャレンジプラン(目標達成チェックシート)をもとに得意分野を皆に周知し、職員個々が得意とする場を提供し、やる気向上につなげている。その中、公立保育園研究会主催の講習会で、ピアノの得意な保育士が講師の手伝いを引き受けるなど、自己啓発に意欲的に取り組む職員もいる。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者会では子どもの姿をビデオで情報提供し、視覚で子どもの様子を伝えている

・保護者会では子どもの姿をビデオで情報提供し、視覚で子どもの様子を伝えている。保護者会での懇談後、おやつを試食をしながら、ビデオ上映をした。ビデオは初めての取り組みで、保護者から、子どもの様子をみて「安心した」という声が多く寄せられた。
 ・各クラスのクラスだよりの内容が充実している。子どもの姿が手に取るようにわかる内容となっている。子どもの活動の様子を詳しく表現できており、保護者が読んで、その場の雰囲気まで感じ取れるような表現で書かれている。職員の子どもの気持ちを読み取る力が優れている。

サブカテゴリ4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保育料の収納率については対前年比微増しており、適切に収支管理を行っている

- ・区より定められた予算の中で必要な物品・修繕などの必要経費について検討し、無駄をなくすよう努めている。また、光熱水費の削減やコピー用紙は裏紙を使うなどして節約し、経費削減に努めている。
- ・調理・用務業務を民間委託にすることにより、財政負担の軽減を図っている。
- ・保育料の収納率については対前年比微増しており、適切に収支管理を行っている。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
 ・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者の要望を受け、できることはできる限り希望を叶えている

- ・保護者会や個人面談で利用者ニーズの把握に努め、保護者の要望を受け、職員間で話し合いを持ち、できることはすぐに希望を叶えている。利用者調査では、保護者から「夏祭りや運動会は、土曜日なので助かります」「保護者側の都合を聞いてくれて行事の日程を決めてくれ、大変ありがたい」などの声が寄せられていた。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>利用希望者等にさまざまな情報ツールを用意している</p> <p>杉並区ホームページでの「保育ホットナビ」に当園の情報が掲示されている。また、利用希望者等には、区作成の「保育園のしおり」、園の概要について記載したチラシなどを用意している。区作成の「保育園のしおり」は、杉並区立保育園の開所時間と保育時間・主な行事・保育園の一日などを記載し、区役所に入園相談に来た方々に配布している。見学者に「上井草保育園のしおり」の園の概要を記載した1~2頁を渡している。また「園だより」「クラスだより」「保健だより」「給食だより」などを配布し、園の取り組みについて説明している。</p> <p>「あそびの広場」のポスターを掲示したり、散歩時にチラシを地域の親子に配布している</p> <p>園の外の掲示板に「あそびの広場」のポスターを掲示したり、散歩時に「あそびの広場」に関するチラシを地域の親子に配布し、その周知に努めている。「あそびの広場」は5月・6月・9月・10月・11月・12月・1月の毎週水曜日、午前10時~11時15分に園庭を開放している。また園の情報は、適宜、区所管部署へ電話・メールなどにて報告し、また事故が発生した場合は事故報告書を提出するなど、密な連携に努めている。子ども家庭支援センターや保健所などの関係機関とも必要に応じて相談できる体制を敷いている。</p> <p>見学では、保護者の不安やストレスが軽減されるよう丁寧な対応に努めている</p> <p>見学は園長・主査などが対応し、見学者の希望を聴き取り、できる限り希望に沿って対応している。見学は基本水曜日10時から10時30分を設定し、子どもの様子をみていただいている。その際は、保護者からの質問や育児相談にも応じている。相談内容は多岐に渡っているが、「入園に備えて、今から断乳の方がよいか」などの質問には、当園は冷凍母乳にも対応しているため、「入園前に哺乳瓶でも飲めるようにしてください」と伝えている。保護者の不安やストレスが軽減されるよう丁寧な対応に努めている。</p>		
サブカテゴリ-2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2の講評

3月中旬の土曜日の午前中に、保護者全員に向けての入園説明会を行っている

毎年、3月上旬に入園面接を実施している。園医による健康診断や、園長・保育士・看護師・栄養士などの各専門職種が子どもの状況を確認しあい、必要な情報を収集し、保護者の希望も聴き取り、児童票などに記録している。園長は、入園にあたって保護者の要望や留意すべき事項を聴取し、また保育時間を決定している。その後、3月中旬の土曜日午前中に、保護者全員を対象に入園説明会を行っている。「上井草保育園のしおり」を配布し、今後の園生活や延長保育やスポット利用の制度などについて説明している。

子どもと保護者の個別の状況に配慮して「慣れ保育」を実施している

利用開始時は、入園前面接での情報をもとに、子どもと保護者の個別の状況に配慮して「慣れ保育」を実施している。「慣れ保育」は、0歳児は1週間をめどに基本の保育時間に入れるよう対応している。育児休暇中の保護者には、1日目は2時間くらい一緒に過ごし、食事の様子などみて、安心していただいている。1歳以上は翌日から基本のスケジュールに入り、幼児の転園児は初日から基本のスケジュールで過ごしている。送り迎えの際に、担任が保護者に子どもの様子を伝え、不安の軽減を図っている。

4歳・5歳児は他保育園の子どもたちと一緒に近隣小学校に出向く機会を設けている

卒園児には夏祭りの案内を郵送している。転園児には、当園での製作品や「健康カード」、クラスの子どもたちで作成したメッセージカードを渡している。4歳・5歳児は他保育園の子どもたちと一緒に近隣小学校の図書館や校庭を利用する機会があるなど、小学校との交流の機会を持っている。就学に向けて、遊びや食育などの具体的な体験を通して数・量・形・位置・時間の感覚を培い、素話(語り聞かせ)で集中して話を聴くことを身につけるなどをカリキュラムの中に入れて計画的に就学に向けての準備を行っている。

サブカテゴリー3

3 個別状況に応じた計画策定・記録 サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 **12/12**

評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしきみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー3の講評

園目標に基づき、各年齢の発達過程をふまえた「保育課程」を作成中である
 今年度、「保育課程」の見直しに取り組んでいる。「保育課程」は園目標に基づき、各年齢の発達過程をふまえ、養護(生命、情緒)教育(健康、食育、人間関係、言語、表現の5領域)などの項目を位置づけ、園目標を具現化したねらいと内容で構成されている。「保育課程」を通して、計画的に保育に取り組み、連続性のある保育の実践に努めている。「保育課程」に基づいて「年間指導計画」「食育年間計画」などを作成し、「年間指導計画」には「あそび」の項目も盛り込み、「あそび」を乳幼児の発達の中で重要な位置づけとしている。

「指導計画打ち合わせ」会議を実施し、全職員で子どもたちを見ていこうとしている
 「年間指導計画」に基づき月案・週案を作成し、計画的に保育を実践している。また、乳児は毎月、子ども一人ひとりのカリキュラムを策定し、個々に応じた丁寧な保育を行っている。月初めの2日間、指導計画打ち合わせの会議を実施し、各クラスの月案を発表し、全職員で情報共有するとともに、他クラスの職員からの意見ももらい、全職員で子どもたちを見ていこうとしている。年度初めの保護者会で、年間指導計画について配布、説明し、月別の目標については「クラスだより」でわかりやすく保護者に伝えている。

一人ひとりの子どもの成長過程を「児童票」に記録している
 一人ひとりの子どもの成長過程を「児童票」に記録している。0～2歳児は毎月、3歳以上は四半期ごとに子どもの発達の過程を記録し、次年度の保育へ活用している。個人面談で聴き取った保護者の要望や意向は、児童票の中の「個人面談記録」の欄に記載している。そのほか、定例打ち合わせ(週1回)、昼ミーティング(毎日)、職員会議(月1回)、指導計画打ち合わせ、幼児打ち合わせ・乳児打ち合わせ・フリー打ち合わせなどの各種会議を設け、子どもの情報を確認しあい、情報共有している。

サブカテゴリー5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評			
<p>プール遊びや排泄の場面では、羞恥心やプライバシーに配慮している</p> <p>入園時に「個人情報についての同意書」を交わし、個人情報の取り扱いについて説明し、署名・捺印をいただいている。プライバシー・羞恥心への配慮として、プールに入る前には囲いをつくって、身体を洗っている。プール遊びではプール周囲の柵の所に葦簀(よしず)を置き、他の人の目にふれないようにしている。着脱では子ども用巻タオルを使用し、全裸にならないようにしている。0歳児のオムツ交換ではオムツコーナーをつくって周囲から見えないようにしている。2歳児が使用するトイレには、ついたてをして他の人の目にふれないようにしている。</p> <p>子どもの“不安のサイン”を見逃さないようにし、虐待の早期発見に努めている</p> <p>これまで虐待の疑いのある子どもの発見はなかったが、子どもの“不安のサイン”を見逃さないようにし、虐待の早期発見に努めている。また保護者の不安やストレスの軽減を図るために、随時、保護者の育児相談に応じている。その際は家庭の中まで入りこまないよう気をつけている。気になる子どもには、区所管部署・子ども家庭支援センター・児童福祉相談所・保健センターなどに報告し、必要に応じて連絡会・カンファレンスを実施する体制を敷いている。「乳幼児の健やかな成長のために」などの虐待防止・早期発見のマニュアルを用意している。</p> <p>「杉並区立保育園保育実践方針」を皆で読み合わせをし、自己の保育を振り返っている</p> <p>区主催で、大学心理学教授による「配慮の必要な子どもの保護者支援」に職員を派遣し、発達気になる子どもの支援と保護者との向き合い方について学んでいる。また、今年度、「保育課程」の見直しに取り組んでおり、杉並区の保育指針をまとめた「杉並区立保育園保育実践方針」を皆で読み合わせ、自己の保育を振り返る機会を持ち、一人ひとりを尊重した援助に努めている。「保育課程」が日常保育の中でどう活かされているのか、職員個々のエピソードや思いを発表したり、子どもの様子を洞察して保育を進めているのかなどを確認している。</p>			

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ6の講評

「保育に関する諸計画」(マニュアル)など、必要なマニュアルを用意している

係分担当表、朝保育・夕保育・土曜保育・延長保育等の勤務シフトごとの仕事内容、防災計画、防犯計画などを記載した「保育に関する諸計画」(マニュアル)を用意し、円滑に保育が遂行できるようにしている。そのほか、「子どものあそびについての確認事項」「戸締りチェック表」「アレルギー除去食対応」「熱性けいれんへの対応」などを用意し、安全性の確保に努めている。これらのマニュアルは事務室や各クラスに保管し、いつでも確認できるようにしている。年度末に全職員で話し合い、マニュアルを見直し、更新している。

保育士同士、職種間などの連携を図り、チームワークの強化を図っている

今年度は「保育課程の再考」をテーマに掲げ、全職員で「杉並区立保育園保育実践方針」を読み合わせ、職員同士で意見交換し、職員個々の保育力向上につなげている。また保育士同士、保育士・栄養士・看護師などの各職種間の連携、パート、アルバイトなどの非常勤職員との連携にも力を注ぎ、チームワークの強化を図っている。園長は今年度4月に就任、異動してきたが、全職員が一丸となって園目標に取り組むべく、職員に対してさまざまな場面で具体的に注意喚起を促し、リーダーシップを発揮している。

研修受講から1か月以内に研修報告会を開催し、全職員で知識の共有化を図っている

区主催の研修に積極的に職員を派遣し、受講後は研修報告書を提出し、全職員で共有している。今年度から研修報告書を一定期間、休憩室に貼り出し、研修報告日を待たなくても、研修報告書を読み、理解し、研修報告の際に活発な意見交換ができるようにしている。研修報告は研修受講から1か月以内に実施し、研修で学んだことを実際に当園の保育の場でどう実践してきたか、また今後、どのように改善していくのかを発表している。研修受講者の学びを深め、同時に全職員で知識と技術の共有化を図っている。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
		37 / 37	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが主体的に遊べる環境構成を工夫している 子どもが自らの意思で遊びを選ぶようにおもちゃ・絵本・遊具・素材などを整えている。おもちゃは手づくりおもちゃ・ブロック・ままごとセット(人形・手提げ袋・エプロン)・ぬいぐるみなどである。職員は、子どもが好きな遊びを見つけ、友だちと関わって遊べるよう、子ども一人ひとりの発達・興味・欲求などを把握しながら一緒に遊んだり、言葉かけをしたり、見守り、適切な援助をしている。幼児は砂場遊び・縄ぶらんこ・追いかっこなどの園庭遊びをしている。遊びが発展するように子どもの気づきや発想、工夫を大切に援助を行っている。</p> <p>年齢に違う子どもが互いに認め合い、思いやりのある心を育てる 七夕と年4回の会食会の時に異年齢保育を行っている。会食会は、前期は4歳、5歳児、後期になると3歳児が加わり、ホールで一緒に食事をしている。4歳、5歳児がくじを引いて、グループをつくり、ランチ皿を使って、好きな食べ物を選んで食べるバイキング方式である。園庭あそびでは、3歳、4歳児は年長の遊びをまねて、自分も同じことをしようとするなど、年長への憧れの気持ちを持ち、年長児は3歳・4歳児にやさしく、遊びを教えたりして関わっている。異年齢で遊んでいる時は、大人も一緒に遊びに関わり、見守りなどの援助をしている。</p> <p>子ども同士のトラブルでは、双方の気持ちを受容し、友だちとの関わりを教えている 職員はかみつかれた子どもの保護者にだけ謝罪している。0歳・1歳児はかみつが多くみられ、2歳児はモノの取り合いによるけんか、3歳から5歳児は自己主張のぶつかり合いや些細な感情の行き違いからトラブルになることがある。トラブルになった時、職員が仲裁に入り、双方の気持ちを受容し、気持ちが落ち着いてから、けんかの原因を聞き、友だちとの関わりを教えている。5歳児は自分たちで解決できるよう大切にしている。職員は保護者に謝罪し、その時の原因・対応、またトラブルを通して人とかかわり方を学んでいることを説明している。</p>			
2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評

登園時に家庭での様子を保護者に確認している

登園時に職員は子どもの顔色・表情・機嫌・目やに・鼻水・熱などの視診を行い、子どもの健康状態を把握している。また、保育園で一日を元気に過ごせるように保護者との会話を大切に、子どもの家庭での状況を把握している。連絡帳には保護者に家庭での状況を詳しく記載してもらい、職員は登園時に口頭でも体調などの特別に留意すべきことを聞き取っている。そして、クラスの「視診表」に記録している。保護者から聞き取った留意すべき事項も「視診表」に記載し、職員間で情報共有し、子どもが一日健康で安全に過ごせるようにしている。

基本的な生活習慣を身につけられるよう援助している

食事・排泄などの基本的な生活習慣はおおよそ3歳児頃までを目標に援助している。食事はスプーンやフォークを使って行儀よく食べる、前を向いて食べることや器に手を添えることをその都度知らせる。排泄ではオムツが濡れたら知らせる、オムツが濡れていない時はトイレに座ってみる、トイレに座ることができるようになったらトイレで排泄する。着脱はできないことは手伝ってもらいながら自分で着脱をしようとする、清潔では外遊びでは手を洗う。職員は子どもが自分でやろうとする気持ちを大切にしながら、必要な援助をしている。

家庭と連絡を取り合いながら、生活リズムを整えていくようにしている

乳児は、食事や遊びが十分できるよう午前睡を15分から20分やっている。午前睡をとることで機嫌よく、食事すすみ、昼からはよく遊ぶことができる。家庭と連絡を取り合いながら、生活リズムを整え、睡眠・食欲・遊びの欲求をみだし、意欲的に過ごせるよう援助している。布団に入ってもなかなか寝つけない子どもの場合は、職員は安心して眠れるように見守り、室温や換気に配慮して、安心して入眠できるように援助している。年長児は、就学に向けて基本的に2月頃から徐々に午睡時間を短くしている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

保育目標を反映した指導計画を立て、日常の保育で実践している

保育目標「生き生きとした子ども 健康な体、豊かな心、意欲的に遊ぶ」、これらを反映した年間指導計画・月案・週案を立て、日常保育で実践している。保育目標につなげていくために抱っこを大切に考え、「保育園のしおり」の中で保護者にも抱っこの大切さを伝えている。子どもが抱っこをせがむ時は、意味がある時と捉え、抱き癖の心配はないと考え、職員は抱っこをしている。子どもは抱っこをしてあげることが気持ちが安定し、生活や遊びに意欲的になる。抱っこをしてもらうことで、人への信頼感をはぐぐみ、情調の安定を図っている。

タイヤが一杯あり、いろいろ遊びを工夫できる魅力ある園庭で遊んでいる

保護者の協力で、園庭にタイヤが一杯あり、いろいろ遊びを工夫できる魅力ある園庭となっている。子どもたちは、沢山のタイヤで遊びを自ら選んで試したり、考えたり、挑戦したり、「明日もこれをやりたいなあ」「明日の続きをやろう」と遊びを発展している。5歳児のお店やさんごっこは、どんなお店をつくるのかを話し合い、アイデアが沢山あがり、準備・当日の係も子どもたちが決め、みんなで協力しながら、楽しんで取り組んでいる。お店屋さんごっこを通して、自然なかたちで自主性・協働・創造性などを育てている。

感性・情緒を経験できる自然の環境に子どもたちが出会えるよう援助している

子どもたちは、散歩の道すがら、季節のお花を探して、夢中になっている。タンポポやシロツメクサを摘み、黄色のタンポポが綿毛になっていく様子を見たり、綿毛をフーッと拭いて種を飛ばして楽しんでいる。また、ブロック塀のすみの枯草をむしると、そこにダンゴ虫、蟻の巣を見つけ、「蟻さんだよ」と喜び、大きい蟻、小さい蟻が並んで歩いている様子を観察している。また、蝶々を見つけ、蝶々を捕まえようと右へ、左へと飛び回る。散歩を通して、感性・情緒を経験できる自然の環境に子どもたちが出会えるよう援助している。

4 評価項目4 行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4の講評

運動会に向けて、頑張る気持ち、やる抜く気持ちを職員は育てている。
運動会までの挑戦として、5歳児は縄跳びに取り組み、20回飛んだら職員は親指を突き出してゴーサインを出し、子どもはそれに応えようとして何度も挑戦し達成感を味わっている。鉄棒では、前周りに挑戦したいという気持ちはあるけれど、うまくできない子ども、逆上がりしている子どもを見て自分も挑戦する子どももいたが、何回か園庭・ホールで練習するうちにどこに力を入れるのか、どこを抜くのかかわかるようになっていった。運動会に向けて、頑張る気持ち、やる抜く気持ちを育てている。

夏の遊びでは、子どもたちで話し合い、お化け屋敷をして楽しんでいる

夏の遊びでは、5歳児は、子どもたちから声があがり、みんなで話し合い、お化け屋敷をして楽しんでいる。トンネルつくろう、水鉄砲で驚かせよう、チケットをつくって配ろう、怖いお化けになって驚かせよう、傘袋のお化けを飛び出させて脅かす、といった新たな意見も沢山出ている。それぞれ自分がやりたいお化けを考えて、イメージを膨らませ、話し合い、衣装を準備するなど本格的なお化け屋敷に取り組んでいる。職員は子どもたちが皆で話し合い、準備をする過程を大切に支援している。

父母会と共催で園庭での夏祭りを実施している

父母会と共催で園庭での夏祭りを実施した。5歳児が段ボールを使ったお神輿と山車の製作に取り組んだ。4歳児は音が出る団扇をつくった。みんなで考えを出し合いながら、形になってくると子どもの気持ちは本番へと高まっていった。お神輿を担いだ時に上下に揺れるようにして園の周りを練り歩いた。3歳と4歳が鳴り物を持って、ワッショイ・ワッショイと神輿を担ぐ5歳児を応援していた。当日は、全園児と保護者の参加で盆踊りをして楽しんだ。7月の土曜日、親子で夏の風物詩である夏祭りを楽しんでいる。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目5の講評

延長保育では、職員体制を厚くし、落ち着いて過ごせるように工夫している

18時10分過ぎから0歳・1歳児と一緒に1歳児の部屋で過ごしている。2歳児と3歳児が17時から18時30分まではそれぞれの部屋で過ごし、4歳と5歳児は18時30分までホールと5歳児室で過ごしている。延長保育の補食を食べる0歳・1歳・2歳・3歳児は2歳児室で、4歳・5歳児は3歳児の部屋で補食を食べ、その後は2歳児クラスで合同保育をしている。職員体制を厚くし、畳の部屋は仕切りを使って落ち着いて過ごせるようにしている。机上遊びをしたり、年齢の小さい子どもには抱っこや膝にのせてスキンシップをとっている。

昼ミーティングでは子どもの状況などについて話し合い、確認している

「体制ノート」などを使って、職員の引き継ぎを行っている。「体制ノート」はクラスごとに当日の職員の休暇や出張などを記入し、職員体制を明確にしている。また、各クラスの子どもの連絡事項も記載している。出勤時は必ず「体制ノート」の連絡事項を見て、朝夕の子どもを受け入れた当番の職員が保護者から聴き取った連絡事項を記載し、職員間の情報共有をしている。また、毎日、昼ミーティングでは各クラスからの伝達メモ、子どもの状況、アレルギーの確認などについて話し合い、確認している。

お迎えを待っている子どもの心に寄り添いながら、安心できるよう援助している

夕保育担当者に担当がクラスの連絡事項を伝え、夕保育ノートに記載している。職員は、お迎えを待っている子どもの心に寄り添いながら、安心して保護者のお迎えを待つことができるよう援助している。お迎えの保護者が来たら、長時間子どもと離れていた保護者の気持ちを思いやり、笑顔で「おかえりなさい」の挨拶を子どもと職員で行い、保護者には日中の子どもの様子をエピソードを交えながら話をして安心して帰宅できるよう努めている。怪我や他の子どもとの喧嘩については、その経緯も丁寧に説明し、理解を得るように努めている。

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

3歳児から箸の正しい使い方などの食事のマナーを身につけるよう援助している

食前・食後の挨拶をして食事の時間は友だち同士で楽しいお喋りをしたり、職員から「美味しいね」と声をかけられ、温かい雰囲気づくっている。今年度、テーブルと椅子を新たに購入して、子どもが正しい姿勢で食事ができるよう援助している。0歳児の食事室は木のテーブルと椅子で天井から子どもたちが喜ぶモビールの吊りおもちゃで楽しい雰囲気をつくっている。3歳児から姿勢・挨拶・箸の正しい使い方などの食事のマナーを身につけるよう援助している。5歳児は配膳などのお手伝いをして楽しく食事ができるようにしている。

食物アレルギーを持つ子どもへの対応は区の規定に準じて行っている

食物アレルギーを持つ子どもへの対応は区の規定に準じて行っている。食物アレルギーを持つ子どもの場合は必ず医療機関に受診のうえ除去する食品と除去の程度を確認し、受診結果を「食物除去食申込書」に記入し、園に提出し、確認、チェックし、除去食会議(園長・栄養士・調理員・看護師・担任)の後、保護者に報告している。食物除去を行っている子どもが除去する食品を誤って食べないように献立の確認を毎食行い、アレルギー児はトレーの色を変え、お盆に名札を置くなど、調理と担任でダブルチェックをし、十分に注意している。

栄養士によるサンマの三枚おろしを見て、魚に興味を持っている

プランターに2歳児から5歳児まで、ピーマンなどの野菜を栽培している。2歳児は、だまこ汁のだまを丸めて、汁に入れるところを見て、具の食材に興味を持ち、苦手な食材でも食べてみる。4歳が自分たちで育てたさつま芋を調理して味わう。自分たちで丸めたさつま芋団子を調理室で衣を付けて揚げてもらい、食べている。子どもたちは栄養士によるサンマの三枚おろしを見て、魚に興味を持ち、魚を食べる動機づけにしている。4歳児が人参を栽培し、5歳児がさつま芋掘りにでかけ、掘ってきたお芋を天日干しをし、園庭で焼き芋をして楽しんでいる。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

日常の保育で手洗いを励行し、定期的に手洗いの指導をしている

1歳児から、職員と一緒に手洗いをしている。11月に入ったら、看護師は、5歳児対象に、手洗いの指導を行っている。いつも通り手を洗った後、「手洗いチェッカー」で洗い残しを園児に見せ、正しく手洗いができるよう指導している。外からクラスに入る時は園庭の手洗い場で手を洗い、各自のタオルで手を拭いている。食事前やおやつ前はクラスの手洗い場で手を洗い、ペーパータオルで拭いている。トイレや手洗い場の清掃は用務員が行い、いつも清潔に保たれている。

定期的な健診と日常の観察により、子どもの健全な発達支援に取り組んでいる

春と秋の健康診断、耳鼻科検診、眼科検診、歯科検診があり、結果は健康カードに記入し保護者に渡している。歯科検診の日に、4歳・5歳児に、歯科衛生士が歯磨きの指導を行っている。要検査や要治療者には医師に相談するよう説明している。保護者には、健康カードに予防接種や罹った病気を記入することや、気になることは遠慮なく担任に尋ねるよう伝えている。週1回0歳児の診察に来園している内科医は、子どもの健康に関する職員からの相談にも対応している。心身の発達で気になることや対応については、区所管部署に相談している。

毎月発行している「ほけんだより」に感染症の状況と予防について情報提供している

毎月発行している「ほけんだより」に感染症の状況と予防について記載し、保護者に注意を呼び掛けている。職員は、手洗いやうがいの励行、汗をかかないように衣服の調整をすること、咳が出ている時はマスクを着用することなど、クラスの中で子どもたちに呼びかけている。看護師は、医師から地域で発症している感染症の状況や保護者からの体調不良の報告を受けると、全保護者に向けて「感染症発症状況と予防について」を掲示している。職員は嘔吐物処理の実技訓練を受け、トイレには手順を掲示し、速やかに対応できるよう取り組んでいる。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

小学校1年生の担任教師が来園し、小学校入学までの準備について話をしている

小学校1年生の担任教師が来園し、保護者会で小学校入学までの準備について保護者に話をしている。小学校教師は、保護者に対して、就学までに挨拶や返事ができる、自分の名前が読める、自分の物を見分けられるなどの力をつけて欲しいという話をしていた。また、大人の側の配慮として、絵本を読み聞かせるなどの言葉のシャワーを沢山子どもに与える、一(いち)から十まで数えられるようにする、何より早寝・早起き、朝ご飯を大事にするなどを話している。保護者が安心して就学への心構えや準備ができるよう支援している。

父母の会主催の人形劇を実施し、全体で楽しみ、保護者同士の交流を図っている

父母の会主催の人形劇を実施し、全体で楽しみ、保護者同士の交流を図っている。子どもはお話を聴くのが好きである。お話の中に吸い込まれているかのように瞳をきらきら輝かせ、自己をお話の中の対象に投入し、さまざまな体験をしている。人形劇は、共感的体験であり、相手の立場に立って、物を見、感じ、考えるということを行なっている。当園の父母の会の活動は活発である。保護者の自主的な活動を通して、保護者同士の交流を促し、子育てを支えあう視点から父母の会を支援している。

保護者会で、ビデオ上映をし、「安心した」という声が多く寄せられた

保護者会では、保護者の自己紹介や担任から年間保育計画などについて説明している。その後、グループに分かれて懇談会を行い、自由な意見が出せるようにしている。事前に保護者にアンケートをとり、テーマを決め、それに沿って保護者同士で意見交換を行っている。懇談後、おやつを試食をしながら、ビデオ上映をした。ビデオは初めての取り組みで、保護者から子どもの様子を見て「安心した」という声が多く寄せられた。話し合ったことを「クラスだより」に掲載し、保護者に周知し、全保護者で話し合いの内容を共有している。

9 評価項目9

地域のニーズに即した子育て支援を実施している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目9の講評

地域の子どもの健やかな成長を支援する「ふれあい保育」を実施している

地域の子育て中の親子を対象に保育士や看護師、調理職員のアドバイスを受けながら、保護者の子育てに対する悩みや不安を解消し、子どもの健やかな成長を支援する「ふれあい保育」を実施している。「ふれあい保育」に関してはホームページや「すぎなみくらしの便利帳」(区発行)などに掲載したり、保健センターでも紹介している。また、緊急一時保育では、利用者のニーズにあわせ、時期を問わず、全面的に受け入れている。

「あそびの広場」で、親同士が名前と顔を知り、交流できるようにしている。

「あそびの広場」は週1回、園を開放し、身体測定、離乳食の相談、育児相談を実施している。離乳食の作り方の理解が深まるように展示したり、作り方を教えたりしている。「あそびの広場」では今年度の参加者は約30名である。今年度は参加者に手づくりの名札を付けて、親同士が名前と顔を知り、交流できるようにしている。

年度末に「ふれあい保育」などの活動について見直し・評価を行っている

年度末に「ふれあい保育」「あそびの広場」などの活動について全職員で話し合い、見直し・評価を行い、次年度の改善につなげている。園としては、今後も引き続き、地域の子育て家庭のニーズを把握し、ニーズに沿った実施が検討課題と考えている。また、次年度は、担当者を決めて、継続して同じ職員が関わり、内容の充実に取り組んでいきたいと考えている。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル①	保護者と園と一緒に子育てをしていくことを目指している	
内容①	保護者会では子どもの姿をビデオで情報提供し、視覚で子どもの様子を伝えている。保護者会での懇談後、おやつ の試食をしながら、ビデオ上映をした。ビデオは初めての取り組みで、保護者から、子どもの様子をみて「安心した」 という声が多く寄せられた。「保育園のしおり」に、「一緒に子育て、こんなことを大切に」として、4つの大切なことを記 載し、保護者と園と一緒に子育てをしていくことを目指している。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	本に親しみ、本を大切にしよう援助している	
内容②	4歳児は近くの小学校の図書室に行き、そこで好きな本を選んで、読み、本への興味を持てるようにしている。5歳に なったら、近くの図書館に行き、本を借りる。担任は子どもにいろいろな本に出会って欲しい、一日の中で自分で主 体的に本を読む時間を持つようになってほしいと考えている。子どもが本に親しみ、本を大切に、本棚の整理など にも気を配ることができるようにしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-7	子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている
タイトル③	耳鼻科、眼科などの検診の機会もあり、健康管理の取り組みが充実している	
内容③	年2回の定期健康診断および年1回歯科検診のほかに、3歳以上の子どもに対して、耳鼻科、眼科などの検診も年1 回、実施している。看護師から、毎月の「ほけんだより」を通して流行期の病気や予防、園児の罹患状況について情 報を提供しており、内容が充実している。また、看護師は、5歳児対象に、「手洗いチェッカー」で洗い残しを園児に見 せ、正しく手洗いができるよう指導している。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもが主体的に遊べる環境構成を工夫している
	内容	子どもが自らの意思で遊びを選べるようにおもちゃ・絵本・遊具・素材などを整えている。おもちゃは手づくりおもちゃ・ままごとセット(人形・手提げ袋・エプロン)・ぬいぐるみ・木製玩具・積み木類などである。職員は、子どもが好きな遊びを見つけ、友だちと関わって遊べるように子ども一人ひとりの発達・興味・欲求などを把握しながら言葉かけをしたり、見守り、適切な援助をしている。幼児は砂場遊び・追いかけてっなどの園庭遊びをしている。遊びが発展するように子どもの気づきや発想、工夫を大切に援助を行っている。
2	タイトル	調理師、栄養士との協力のもと、食育に力を注いでいる
	内容	プランターに2歳児から5歳児まで、ピーマンなどの野菜を栽培している。2歳児は、だまこ汁のだまを丸めて、汁に入れるところを見て、具の食材に興味を持ち、苦手な食材でも食べてみる。4歳が自分たちで育てたさつま芋を調理して味わう。自分たちで丸めたさつま芋団子を調理室で衣を付けて揚げてもらい、食べている。子どもたちは栄養士によるサンマの三枚おろしを見て、魚に興味を持ち、魚を食べる動機づけにしている。3歳児がニンジン栽培し、5歳児がさつま芋掘りにでかけ、掘ってきたお芋を天日干しをし、園庭で焼き芋をして楽しんでいる。
3	タイトル	クラスだよりが充実しており、職員の子どもの気持ちを読み取る力が優れている。
	内容	各クラスのクラスだよりの内容が充実している。子どもの姿が手に取るようにわかる内容となっている。子どもの活動の様子を詳しく表現できており、保護者や第三者が読んで、その場の雰囲気まで感じ取れるような内容である。職員の子どもの気持ちを読み取る力が優れている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	「上井草保育園のしおり」の内容の充実が望まれる
	内容	入園時に保護者に「上井草保育園のしおり」を配布し、園生活での決まりごとや持ち物などについて説明している。今後は「上井草保育園のしおり」にアレルギー対応・苦情解決制度の利用方法・個人情報取り扱いなどについて記載するなど、その内容の充実が望まれる。
2	タイトル	職員育成に向けたより一層の取り組みが望まれる
	内容	今年度、全職員で「杉並区立保育園保育実践方針」を読み合わせ、職員同士で意見交換し、職員個々の保育力向上につなげている。その成果か、利用者調査では全般的に満足度が高く、日頃の保育に対する感謝のコメントが数多く寄せられていた。しかし、「保育士によって対応に差がある」というコメントも散見された。職員育成に向けたより一層の取り組みを期待したい。
3	タイトル	在宅子育て家庭への支援のさらなる充実を期待したい
	内容	地域の子育て拠点としての機能として園庭開放、身体測定などの「ふれあい保育」を実施しているが、利用する方が少ないのが現状である。また、園としても、地域の子育て家庭向けサービス内容のニーズの把握を課題と考えている。子育て家庭同士の交流など、今後、在宅子育て家庭への支援のさらなる充実を期待したい。

平成25年度 杉並区立〇〇保育園 利用者調査

調査のお願い

このたび、〇〇保育園では、よりよい保育サービスの実施をめざして、東京都福祉サービス第三者評価を実施することになりました。この評価は、東京都福祉サービス評価推進機構によって認証されている特定非営利活動法人NPOサービス評価機構が実施いたします。

第三者評価にあたって、〇〇保育園を利用されている保護者の方が、日常の保育サービスに対して、どのように感じていらっしゃるかを把握するため、アンケート調査を実施することになりました。

調査結果は、〇〇保育園のサービスを評価をするために使用し、定められた項目については、インターネットを通じて公表されることになっています。

また、調査結果は統計的に処理したうえで使用しますので、記入者を特定したり、第三者評価の目的以外に使用したりすることは絶対にいたしません。

お忙しいところ大変申し訳ございませんが、調査の趣旨をご理解の上、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

■ 記入にあたって

- ・ この調査は、〇〇保育園を利用されている保護者の方がご回答ください。
- ・ あてはまる番号に○をつけてください。
- ・ 質問内容が、ご自身にとって「経験がない」「認識がない」など該当しない場合には、「4 非該当」に○を付けてご回答ください。
- ・ 質問ごとにご意見などがある場合は、（自由意見）欄にご記入ください。
- ・ この調査票は、平成25年10月18日(金)までに、同封の返信用封筒に調査票を入れて投函してください。

この調査に関してのお問い合わせは、下記にお願い致します。

お問い合わせ先
特定非営利活動法人 NPOサービス評価機構
第三者評価担当者 大森 裕美
〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南3-35-15-1105
電話 03-5347-0616

現在ご利用の保育園についておたずねします

あなたの気持ちに最も近い番号を1つだけ選び、○印をお付けください。

複数のお子さんがいらっしゃる場合は、一番年齢の低いお子さんの例でご回答ください。

《毎日の保育サービスについてお聞きします》

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問1. 食事（給食）・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問2. 戸外遊びの機会は十分ですか	1	2	3	4
(自由意見)				
問3. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問4. 保育中の発熱など体調変化への対応、けがの処置、保護者への連絡対応は十分ですか	1	2	3	4
(自由意見)				
問5. 安全対策が十分取られていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問6. 保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	1	2	3	4
(自由意見)				
問7. お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか	1	2	3	4
(自由意見)				

《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問9. 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー（秘密）を守っていますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問10. お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問11. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	1	2	3	4
(自由意見)				

《要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします》

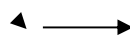
	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問12. 要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか	1	2	3	4
(自由意見)				
問13. 保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問14. 要望や不満があったとき、第三者委員（保育所外の苦情解決相談員）などにも相談できることを知っていますか	1	2	3	4
(自由意見)				

《利用前の保育園の対応についてお聞きします》

◆ 過去1年以内にこの施設を利用し始めましたか

1. はい

2. いいえ



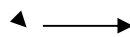
《総合的な感想》へお進みください



◆ 保育所の利用を始める前に、保育所から保育内容などの説明がありましたか

1. はい

2. いいえ



《総合的な感想》へお進みください



問15へお進みください

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問15. 入園に際し保育所から受けた説明は、わかりやすかったですか	1	2	3	4
(自由意見)				

《総合的な感想についてお聞きします》

〔1〕現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。

（1つに○）

大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満
1	2	3	4	5

〔2〕日頃お感じになっている保育園に対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

〔3〕今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。

最後に保護者の方とお子さんについておたずねします

F 1. 調査票記入者 (1つに○)

1. 父 2. 母 3. 父母一緒に 4. その他 ()

F 2. 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方) (1つに○)

1. 20歳未満 2. 20～25歳未満 3. 25～30歳未満 4. 30～35歳未満
5. 35～40歳未満 6. 40～50歳未満 7. 50歳以上

F 3. 保護者の勤務形態 (○は各1つ)

①父

1. 常勤 (フルタイム) 2. パート、アルバイト 3. 自営業 4. 無職 5. その他 ()

②母

1. 常勤 (フルタイム) 2. パート、アルバイト 3. 自営業 4. 無職 5. その他 ()

③その他の保護者(主にお迎えに行かれる方)

1. 常勤 (フルタイム) 2. パート、アルバイト 3. 自営業 4. 無職 5. その他 ()

F 4. 保育園を利用してるお子さんの年齢 (複数のお子さんがいらっしゃる場合は、該当する全部に○)

1. 0歳 2. 1歳 3. 2歳 4. 3歳
5. 4歳 6. 5歳以上

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

この調査票は、10月18日(金)までに、同封の返信用封筒に入れて、投函をお願いいたします。

事業プロフィール I

- 1 事業所名（サービス種別）：（ ）
- 2 (1) 運営主体（法人名等）：
 (2) 設置主体：
- 3 事業所所在地：
- 4 事業所の長の氏名（施設長等）：
- 5 連絡先

T e l		F a x	
Eメール		ホ-ムペ-ジ	

- 6 同一運営主体が同じ敷地内で連携して実施している主な福祉・医療サービスを利用者数からみて上位5つ以内（例. 特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスなど、評価対象事業を含む。）
- (1)
 (2)
 (3)
 (4)
 (5)

- 7 定員および現在の利用者
 ※内訳は別紙のとおり

8 職員の状況

- (1) 職員数

区 分	計	男性	女性
常勤職員数			
非常勤職員数			
計			

(常勤換算 _____ 人)

(計算式：非常勤職員のそれぞれの勤務延べ時間数の総数÷当該事業所の常勤職員が

- (2) 専門職員の人数

専門職の名称	人数	専門職の名称	人数	専門職の名称	人数

- (3) 非常勤職員の勤務形態と業務内容

*職員種別は、パート、アルバイト、派遣、契約等、施設で通常使用している呼称でご記入ください。

職員種別	人数	勤務形態 (勤務時間、シフト)	業務内容

- (4) 前年度採用・退職の状況

	計	常勤	非常勤
採用			
退職			
計			

- (5) 常勤職員の平均年齢 _____ 歳
- (6) 常勤職員の平均在職年数 _____ 年（現在の事業所での在職年数とする）
- (7) 直接支援に携わっている職員（非常勤は常勤換算）1人当たりの利用者数 _____ 人
 (計算式：定員÷直接支援に携わっている職員数)

9 平面図等施設の状況がわかるものを添付

事業プロフィールⅡ

- 1 理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
 - 1)
 - 2)
 - 3)
 - 4)
 - 5)
- 2 サービス提供の考え方について記述（関連 カテゴリー6 サービス提供のプロセス）
日々の業務の考え方、利用者ニーズに合わせた事業者独自の取組、利用者や家族との関係、地域との関係を含む
- 3 期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
 - （1）職員に求めている人材像や役割

 - （2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
- 4 現在のサービス提供能力と利用者数（関連 カテゴリー6 サービス提供のプロセス）
（以下のどれかに○をつける）
 - 1） サービスを希望しながら待っている人（事業所に登録している待機者）がかなりいる
 - 2） ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない
（ほぼ定員を満たしている）
 - 3） サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい
 - 4） その他（ ）
- 5 3年後の見通し（関連 カテゴリー3 利用者の意向や地域・事業環境などの把握と活用、
カテゴリー4 計画の策定と着実な実行）
（以下、〔契約による利用〕、〔措置など契約以外による利用〕のどちらかを選んだうえで、一つに○をつける）
〔契約による利用〕
 - 1） 利用者数の増加を見込んでサービス提供能力を拡大する計画がある
 - 2） サービス提供能力を拡大する計画はないが、ほぼ現在のサービス提供能力に見合う利用者数は維持できると思う
 - 3） 現在の利用者数を維持するのは経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないと思う
 - 4） その他（ ）〔措置など契約以外による利用〕
 - 1） 施設規模の拡大または新たなサービス提供を行う計画がある
 - 2） 現在の施設規模、サービス提供能力を維持する方向で考えている
 - 3） 現在のサービス提供能力を維持するのは、経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないと思う
 - 4） その他（ ）
- 6 評価対象のサービス事業に関して事業者として力を入れて取り組んでいる点を、人的サービス面と設備面に分けて、重要な順に各3つ以内で記述（関連 カテゴリー4 計画の策定と着実な実行）
〈人的サービス面〉
 - 1)
 - 2)
 - 3)〈設備・環境面〉
 - 1)
 - 2)
 - 3)

事業プロフィール I (7 定員及び現在の利用者 内訳) 認可保育所版

7 定員及び現在の利用者 (年 月 現在)
 ※下記の利用者の状況が分かる表を添付するか、下の空白部分に書き込んでください。

(1) 一般保育

	定員 (人)	利用者児 (人)
0歳児		
1歳児		
2歳児		
3歳児		
4歳児		
5歳児		
計		

(2) 多様な保育サービス

	定員 (人)	利用者児 (人)	料金 (円)	備考
産休明け保育				
延長保育				() 時間延長
夜間保育				
障害児保育				
休日保育				
学童児童受け入れ				
一時・特定保育				
子育て広場※1				事業内容番号
在宅子育て支援※2				事業内容番号
その他()				
計				

※1 子育て広場には、つどいの広場を含む。

※2 「在宅子育て支援」欄は、在宅子育て家庭を対象とした子育て支援事業を実施している場合に、備考欄に下記の事業内容番号を記入すること。

- ①育児相談 ②育児講座 ③保育所体験 ④出産を迎える親の体験学習
 ⑤子育てサークル支援 ⑥子育て情報誌の発行 ⑦家庭訪問 ⑧出前保育

〔平成25年度〕

組織マネジメント分析シート 【自己評価用】

経営層合議用

作成日 (完成日)	平成	年	月	日
施設・事業所名				
作成関係者	(役職名)	(氏名)		

カテゴリー
1.リーダーシップと意思決定
2.経営における社会的責任
3.利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
4.計画の策定と着実な実行
5.職員と組織の能力向上
6.サービス提供のプロセス
7.情報の保護・共有
8.1～7に関する活動成果

網掛け部が組織マネジメント分析シートに該当します

■組織マネジメント分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順

【カテゴリー1～7】

- 評価項目に対する事業所の取り組み状況を確認するために、「標準項目」の実施状況をチェック☑します。「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、「評価項目」の〔ねらい〕を確認のうえ「カテゴリー」及び「サブカテゴリー」の趣旨から外れないように合議します。
また、各「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「私たちの実践例」欄に、その取り組みの記録等にあたるものを「その実践の記録等」欄にそれぞれ記入します。記録等と実践例が同じである場合、「その実践の記録等」欄は省略できます。
- 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。
(1 事業者が当該事項を実施していること 2 その実施が継続的(必要性を認識し、計画的)であること
⇒「私たちの実践例」欄に記入する内容です。
3 その根拠が示せること
⇒「その実践の記録等」欄に記入する内容です。)
- ひとつのカテゴリー内のすべての標準項目について確認した後に、「カテゴリー」全体を通じて「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。
⇒「良いと思う点」
・力を入れて取り組んでいること ・工夫して取り組んでいること ・独自に取り組んでいること
・自信を持って取り組んでいること ・利用者に知ってもらいたいこと など
⇒「改善する必要がある点」
・改善の必要があると認識していること ・改善計画中的なこと
・改善に取り組んでいること など

【カテゴリー8】

- カテゴリー1～7に関する活動成果を評価します。
各評価項目の内容に応じて、あなたの事業所における改善に向けた取り組みを「改善に向けた取り組み」欄に、その取り組みによる成果を「取り組んだ成果」欄に、その成果の記録等にあたるものを「その成果の記録等」欄にそれぞれ記入します。
また、「評価項目」単位で活動成果を評価します。評価する区分は、次のとおりです。
・改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
・改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
・改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
以上の3つのうちあなたの事業所があてはまる区分にチェック☑をします。

カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目 1-1-1

事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している

- [ねらい]・理念、基本方針を達成するためにそれをわかるように示しているか
 ・それを職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行なっているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	<input type="checkbox"/>		
2	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		
3	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		
4	重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	<input type="checkbox"/>		

評価項目 1-1-2

経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

- [ねらい]・経営層は、理念等を実現するため、自らの役割と責任を職員にわかりやすく伝えているか
 ・経営層は、理念、基本方針を実現するために、率先して模範となっているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="checkbox"/>		
2	経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 1-1-3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

- [ねらい]・重要な案件については、組織として決定する手順をあらかじめ定めているか
 ・職員に意思決定過程の透明性を図っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	<input type="checkbox"/>		
2	重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="checkbox"/>		
3	利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="checkbox"/>		

カテゴリー1について リーダーシップと意思決定

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

※(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリー2 経営における社会的責任

サブカテゴリー1

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目 2-1-1

社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している

[ねらい]・組織の社会的責任として遵守すべき法・規範・倫理などについて明確にしているか

・さらにそれを遵守できるように理解を深めているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="checkbox"/>		
2	全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

評価項目 2-1-2

第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている

[ねらい]・組織の社会的責任として、透明性の確保のために外部の目を活用しているか

・地域社会に情報発信することで透明性を高めているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
2	透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー2 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目 2-2-1

事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある

- [ねらい]・組織の社会的責任として、地域の一員として事業所の機能を還元しているか
 ・地域社会に専門性をいかした取り組みをしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="checkbox"/>		
2	地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 2-2-2

ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

- [ねらい]・組織の社会的責任として、ボランティアを受入れるための考え方をはっきりさせているか
 ・そのための体制を整備しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="checkbox"/>		
2	ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="checkbox"/>		
3	ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 2-2-3

地域の関係機関との連携を図っている

- [ねらい]・地域の一員として関係機関とのネットワーク化に貢献しているか
 ・地域の一員として、地域での共通課題の解決に協働しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="checkbox"/>		
2	地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="checkbox"/>		

カテゴリー2 について 経営における社会的責任

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

※(良いと思う点)
 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)
 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリー3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリー1 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目 3-1-1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

[ねらい]・事業所のサービスの利用者一人ひとりの苦情等についてどのように把握しているのか
 ・その苦情等についてどのように解決に取り組んでいるのか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="checkbox"/>		
2	利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

評価項目 3-1-2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

[ねらい]・利用者の意向をどのように集約・分析しているのか
 ・その結果をサービス向上に活用しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
2	事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="checkbox"/>		
3	利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

評価項目 3-1-3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

[ねらい]・サービス・経営改善のために地域の福祉ニーズについてどのように把握分析しているのか
 ・また福祉事業の動向についてどのように把握分析しているのか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
2	福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
3	事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="checkbox"/>		

カテゴリー3 について 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

※(良いと思う点)
 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)
 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリ-4 計画の策定と着実な実行

サブカテゴリ-1 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる

評価項目 4-1-1

取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

- [ねらい]・理念、基本方針実現のため実践的な課題・計画を策定しているか
 ・計画の立て方も取り組み期間に応じているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="checkbox"/>		
2	年度単位の計画を策定している	<input type="checkbox"/>		
3	短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

評価項目 4-1-2

多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

- [ねらい]・理念、基本方針実現のため、課題の明確化、計画策定の時期や手順が定められているか
 ・その計画は現場の意向や利用者の意向等を踏まえたものとなっているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="checkbox"/>		
2	課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="checkbox"/>		
3	計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="checkbox"/>		
4	計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 4-1-3

着実な計画の実行に取り組んでいる

- [ねらい]・理念、基本方針実現のため、計画に基づき効果的に実行しているか
 ・進捗状況に応じ、見直ししながら、着実に成果を上げられるような取り組みを進めているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="checkbox"/>		
2	計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		
3	計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	<input type="checkbox"/>		
4	計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリ-2 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目 4-2-1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

[ねらい]・利用者の安全確保のための体制は整備されているか

・安全のために把握すべきリスクには、利用者に関するすべてのリスクを含みます

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="checkbox"/>		
2	事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="checkbox"/>		
3	事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="checkbox"/>		
4	事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

カテゴリ-4 について 計画の策定と着実な実行

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

※(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリー5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目 5-1-1

事業所にとって必要な人材構成にしている

- [ねらい]・理念、基本方針を実現するのに適した人事制度が定められているか
 ・それに基づき、人材の確保や配置が行われているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="checkbox"/>		
2	事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="checkbox"/>		
3	適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

評価項目 5-1-2

職員の質の向上に取り組んでいる

- [ねらい]・理念、基本方針の実現に向けて、職員一人ひとりの育成計画を策定しているか
 ・その計画に基づき、質の高いサービスの提供に向けた職員育成が行われているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="checkbox"/>		
2	事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="checkbox"/>		
3	個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="checkbox"/>		
4	職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="checkbox"/>		
5	職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリ-2 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目 5-2-1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

[ねらい]・職員一人ひとりの力と組織力の発揮、理念等実現のため、どのように取り組んでいるか
 ・そのために職員一人ひとりが学びに取り組むようにしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="checkbox"/>		
2	職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
3	職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

評価項目 5-2-2

職員のやる気向上に取り組んでいる

[ねらい]・理念、基本方針実現のため、職員の意識や就業状況を的確に把握しているか
 ・把握した内容をもとに、職員のやる気や働きがいの向上に取り組んでいるか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	<input type="checkbox"/>		
2	就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
3	職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
4	福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

カテゴリ-5 について 職員と組織の能力向上

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

※(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリー7 情報の保護・共有

サブカテゴリー1 情報の保護・共有に取り組んでいる

評価項目 7-1-1

事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

[ねらい]・事業所をより良くするためにどのような情報が必要であるかの検討がなされているか

・経営に関して必要な情報が適切に収集・整理・分析された上で、保護・共有されているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	<input type="checkbox"/>		
2	収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	<input type="checkbox"/>		
3	保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 7-1-2

個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している

[ねらい]・個人情報保護法の基本的概念等を踏まえ、事業所が有する個人情報の保護方法を定めているか

・その方法が行き渡るようにしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<input type="checkbox"/>		
2	個人情報の保護に関する規定を明示している	<input type="checkbox"/>		
3	開示請求に対する対応方法を明示している	<input type="checkbox"/>		
4	個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		

カテゴリー7 について 情報の保護・共有

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

※(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリ-8 カテゴリ-1～7に関する活動成果

サブカテゴリ-1

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目 1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」 [ねらい]・前年度と比べて成果を上げることができたか		【活動成果】 <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善に向けて取り組んでいること	取り組んだ成果	その成果の記録等
(自由記述)		

サブカテゴリ-2 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目 1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」 [ねらい]・前年度と比べて成果を上げることができたか		【活動成果】 <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善に向けて取り組んでいること	取り組んだ成果	その成果の記録等
(自由記述)		

サブカテゴリ-3

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目 1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」 [ねらい]・前年度と比べて成果を上げることができたか		【活動成果】 <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善に向けて取り組んでいること	取り組んだ成果	その成果の記録等
(自由記述)		

サブカテゴリ-4 事業所の財政等において向上している

評価項目 1 財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている [ねらい]・主体的な取り組みにより財政等で成果を上げることができたか		【活動成果】 <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
【自由記述】 改善に向けて取り組んでいること	取り組んだ成果	その成果の記録等
【自由記述】		

サブカテゴリ-5 前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目 1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している ・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」 [ねらい]・前年度と比べて成果を上げることができたか		【活動成果】 <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="checkbox"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
【自由記述】 改善に向けて取り組んでいること	取り組んだ成果	その成果の記録等
【自由記述】		

事業所の特に良いと思う点 特に改善したいと思う点

特に良いと思う点	特に改善したいと思う点

注)これは「サービス分析シート(カテゴリ6 サービス提供のプロセス)」の評価結果を含めて記述してください。

〔平成25年度〕

認可保育所

サービス分析シート
(6. サービス提供のプロセス)
【自己評価用】

経営層合議用

作成日 (完成日)	平成	年	月	日
施設・事業所名				
作成関係者	(役職名)	(氏名)		

カテゴリー
1.リーダーシップと意思決定
2.経営における社会的責任
3.利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
4.計画の策定と着実な実行
5.職員と組織の能力向上
6.サービス提供のプロセス
7.情報の保護・共有
8.1～7に関する活動成果

網掛け部がサービス分析シートに該当します

■サービス分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順

- 1 評価項目に対する事業所の取り組み状況を確認するために、「標準項目」の実施状況をチェック☑します。
「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、「評価項目」の〔ねらい〕を確認のうえ「カテゴリー」及び「サブカテゴリー」の趣旨から外れないように合議します。
また、各「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「私たちの実践例」欄に、その取り組みの記録等にあたるものを「その実践の記録等」欄にそれぞれ記入します。記録等と実践例が同じである場合、「その実践の記録等」欄は省略できます。
- 2 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。
 - 1 事業者が当該事項を実施していること
 - 2 その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること
⇒「私たちの実践例」欄に記入する内容です。
 - 3 その根拠が示せること
⇒「その実践の記録等」欄に記入する内容です。
- 3 標準項目について確認した後に、「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。
 - ・サブカテゴリー1～3及び5、6は、サブカテゴリーごとに記述します。
 - ・サブカテゴリー4「サービスの実施」は、評価項目ごとに記述します。⇒「良いと思う点」
 - ・力を入れて取り組んでいること ・工夫して取り組んでいること ・独自に取り組んでいること
 - ・自信を持って取り組んでいること ・利用者に知ってもらいたいこと など⇒「改善する必要がある点」
 - ・改善の必要があると認識していること ・改善計画中のこと
 - ・改善に取り組んでいること など

カテゴリー6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリー1 サービス情報の提供

評価項目 6-1-1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している			
[ねらい] ・サービスを選択するための情報が、利用者に届くように工夫して提供しているか ・パンフレットやホームページ等の存在のみを評価するものではない			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="checkbox"/>		
2 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="checkbox"/>		
3 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="checkbox"/>		
4 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー1 サービス情報の提供 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目 6-2-1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている [ねらい] ・サービス開始時に、保護者の状況に応じたサービス内容の説明をしているか ・十分な説明をしたうえで、保護者の意向を確認し、納得を得ているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="checkbox"/>		
2 サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="checkbox"/>		
3 サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="checkbox"/>		
評価項目 6-2-2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている [ねらい] ・サービス開始時の環境変化による影響を緩和する取り組みをしているか ・子どもがサービスを終了する場合、子どもや保護者の不安を軽減するための取り組みをしているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="checkbox"/>		
2 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="checkbox"/>		
3 サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応 について

良いと思う点 	改善する必要があると思う点
-------------------------------	--------------------------------------

※(良いと思う点)
 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者を知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)
 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目 6-3-1
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している
 [ねらい] ・支援をするうえで必要な子ども個人の情報をどのように把握しているか
 ・子どもの状況に応じたアセスメントの手順や改訂基準が確立しているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="checkbox"/>		
2 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="checkbox"/>		
3 アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-3-2
子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している
 [ねらい] ・子どもの様子や保護者の希望をどのように取り入れ、計画を作成しているか
 ・個人の状況に応じた計画となるよう作成し、見直しをしているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="checkbox"/>		
2 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="checkbox"/>		
3 計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="checkbox"/>		
4 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="checkbox"/>		
5 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-3-3
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している
 [ねらい] ・職員が、子どもの状況の変化等をどのように記録しているか
 ・具体的な支援の内容や子どもの変化等が適切に記録されているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしきみがある	<input type="checkbox"/>		
2 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-3-4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している
 [ねらい] ・子どもに関わる情報を職員間でどのように共有化しているか
 ・日々の子どもの変化等をどのような方策で共有化しているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="checkbox"/>		
2 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー3 個別状況に応じた計画策定・記録 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点)
 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者を知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)
 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー4 サービスの実施

評価項目 6-4-1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている			
[ねらい] ・一人ひとりの子どもの発達の過程をどのように把握しているか ・集団での生活の中で子ども一人ひとりを尊重した援助をしているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	<input type="checkbox"/>		
2 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけができるよう、環境構成を工夫している	<input type="checkbox"/>		
3 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している	<input type="checkbox"/>		
4 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="checkbox"/>		
5 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-1 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている			
[ねらい] ・子どもの生活の連続性に配慮した保育を行っているか ・子どもの状態を保護者と保育所で共有することができるか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="checkbox"/>		
2 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている	<input type="checkbox"/>		
3 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="checkbox"/>		
4 お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-2 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

[ねらい] ・保育所の保育に対する考え(保育目標等)が、日常の保育にどのように反映しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	<input type="checkbox"/>		
2	子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="checkbox"/>		
3	子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="checkbox"/>		
4	戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-3 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-4

行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている

[ねらい] ・行事の実施に対する保育所の考え・目的は何か
・保護者・地域との連携がどのように行われているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="checkbox"/>		
2	子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="checkbox"/>		
3	行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="checkbox"/>		
4	保育所の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-4 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

[ねらい] ・保育時間の長い子どもがくつろげるような工夫をしているか
 ・保育士等の交替があっても、子どもの様子を職員で共有し、保護者へ伝えているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="checkbox"/>		
2	年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	<input type="checkbox"/>		
3	子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	<input type="checkbox"/>		
4	お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-5 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
---------------	----------------------

※(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

[ねらい] ・年齢等にあった調理方法や食習慣に応じた食事を提供しているか
 ・食育の推進にむけた取り組みを行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="checkbox"/>		
2	メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="checkbox"/>		
3	子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="checkbox"/>		
4	食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="checkbox"/>		
5	保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-6 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
---------------	----------------------

※(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている			
[ねらい] ・子どもを病気や怪我から守る取り組みを行っているか ・専門機関との連携や保護者への情報提供を行っているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	<input type="checkbox"/>		
2 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	<input type="checkbox"/>		
3 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-7 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

※(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者を知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている			
[ねらい] ・保護者支援の取り組みを行っているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	<input type="checkbox"/>		
2 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="checkbox"/>		
3 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="checkbox"/>		
4 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	<input type="checkbox"/>		
5 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-8 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

※(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者を知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-9 地域のニーズに即した子育て支援を実施している [ねらい] ・地域の子育て支援に対するニーズをどのように把握しているか ・ニーズに応じた支援が行われているか				
	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	<input type="checkbox"/>		
2	地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	<input type="checkbox"/>		
3	提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-9 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者を知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリ5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目 6-5-1 子どものプライバシー保護を徹底している [ねらい] ・日常の中で、どのように子どものプライバシーの保護をしているのか ・組織としての規定やしきみに則って行動しており、属人的な対応になっていないか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どものに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="checkbox"/>		
2 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-5-2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している [ねらい] ・日常の中で、子どもの権利を擁護し、不適切な対応を排除しているか ・保護者の価値観等による子どもの生活習慣を考慮したうえで保育をしているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="checkbox"/>		
2 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="checkbox"/>		
3 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="checkbox"/>		
4 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	<input type="checkbox"/>		
5 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリ5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 について

良いと思う点 	改善する必要があると思う点
-------------------------------	--------------------------------------

※(良いと思う点)

力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)

改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

評価項目 6-6-1
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている
 [ねらい] ・業務の一定水準を確保するため、手引書等を整備し、実施しているか
 ・業務の標準化は、対人援助の単純化や画一化をめざすものではない

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="checkbox"/>		
2 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="checkbox"/>		
3 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-6-2
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている
 [ねらい] ・業務の標準レベルを見直す仕組みを確立しているか
 ・よりよいサービスをめざし、どのようなタイミングで見直しているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="checkbox"/>		
2 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="checkbox"/>		
3 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-6-3
さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している
 [ねらい] ・職員全体が、一定のサービス水準を確保する取り組みをしているか
 ・業務の標準化を図るためのOJT等多様な手段を評価する

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="checkbox"/>		
2 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="checkbox"/>		
3 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="checkbox"/>		
4 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="checkbox"/>		
5 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点)
 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者を知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点)
 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

〔平成25年度〕

職員用組織マネジメント分析シート

記入の手引き

■分析シートの構成

この組織マネジメント分析シートは、8つの大きな「カテゴリー（評価の領域）」で構成されています。

ただし、6番目のカテゴリー「6. サービス提供のプロセス」は、別紙「職員用サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」で評価し、このシートは使用しません。

■評価の進め方

【カテゴリー1～7】

- (1) カテゴリー1～7は、「評価項目」の評価を行っていただきます。
「評価項目」の評価は、標準項目が実施できているかいないかの判断に基づいて行います。
- (2) 評価項目の評価は次の基準で行います。当てはまるところに○印をつけてください。
 - ・ **できている** …標準項目がすべて実施されていると思う場合
 - ・ **できていないところがある** …標準項目の一部に実施されていないものがあると思う場合
 - ・ **できていない** …標準項目が一つも実施されていないと思う場合
 - ・ **知らない・分からない**
- (3) 自分が直接関わっていない仕事についてもなるべく自分の考えで評価してください。
ただし、見当がつかないという項目については「知らない・分からない」の欄に○をつけてください。

【昨年と比べて成果が上がったと思う点(カテゴリー8)】

- (1) 回答シートには、昨年と比べてよくなったと思う点を記入する欄があります。
この欄の内容は、評価機関がカテゴリー8の評価を行う際の参考にします。
<参考>
カテゴリー8の評価は次の区分で行います
 - ・ 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
 - ・ 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
 - ・ 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

【特に良いと思う点、特に改善したいと思う点】

- (1) 回答シートには事業所全体として①特に良いと思う点、②特に改善したいと思う点（各3つ以内）を記入する欄があります。
この欄は、「職員用サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」も終わってから一番最後に記述してください。

■回答シート

- (1) カテゴリー1～7については、この「組織マネジメント分析シート」で評価項目の評価を行ったうえで、回答シートに転記し、回答シートのみ提出してください。
回答シートに記入していただいた内容は、第三者評価以外には使用しません。

カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目		評価(4段階のうちどれか1つに○)				標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
1-1-1	事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している
						事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
						事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
						重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)
1-1-2	経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている
						経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している
1-1-3	重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている
						重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
						利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている

カテゴリー 2 経営における社会的責任

サブカテゴリー 1

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目	評価(4段階のうちどれか1つに○)				標準項目
	できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
2-1-1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	○	○	○	○	福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している ----- 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる
2-1-2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている	○	○	○	○	第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる ----- 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している

サブカテゴリー 2 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目	評価(4段階のうちどれか1つに○)				標準項目
	できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
2-2-1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある	○	○	○	○	事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など) ----- 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている
2-2-2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	○	○	○	○	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している ----- ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など) ----- ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている
2-2-3 地域の関係機関との連携を図っている	○	○	○	○	地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している ----- 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている

カテゴリー3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリー1 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目	評価(4段階のうちどれか1つに○)				標準項目
	できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
3-1-1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)	○	○	○	○	苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている ----- 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる
3-1-2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	○	○	○	○	利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる ----- 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している ----- 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる
3-1-3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	○	○	○	○	地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる ----- 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる ----- 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している

カテゴリー 4 計画の策定と着実な実行

サブカテゴリー1 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる

評価項目		評価(4段階のうちどれか1つに○)				標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
4-1-1	取り組み期間に応じた課題・計画を策定している	○	○	○	○	理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している ----- 年度単位の計画を策定している ----- 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる
4-1-2	多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	○	○	○	○	課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている ----- 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている ----- 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している ----- 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している
4-1-3	着実な計画の実行に取り組んでいる	○	○	○	○	計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している ----- 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている ----- 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している ----- 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる

サブカテゴリー2 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目		評価(4段階のうちどれか1つに○)				標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
4-2-1	利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	○	○	○	○	利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している ----- 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している ----- 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている ----- 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる

カテゴリー5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目		評価(4段階のうちどれか1つに○)				標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
5-1-1	事業所にとって必要な人材構成にしている	○	○	○	○	事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている 適材適所の人員配置に取り組んでいる
5-1-2	職員の質の向上に取り組んでいる	○	○	○	○	職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している

サブカテゴリー2 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目		評価(4段階のうちどれか1つに○)				標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
5-2-1	職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	○	○	○	○	職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる
5-2-2	職員のやる気向上に取り組んでいる	○	○	○	○	事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる 福利厚生制度の充実に取り組んでいる

カテゴリ7 情報の保護・共有

サブカテゴリ1 情報の保護・共有に取り組んでいる

評価項目		評価(4段階のうちどれか1つに○)				標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
7-1-1	事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	○	○	○	○	情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している ----- 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している ----- 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している
7-1-2	個人情報は、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○	○	○	○	事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している ----- 個人情報の保護に関する規定を明示している ----- 開示請求に対する対応方法を明示している ----- 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている

**昨年と比べて成果が上がったと思う点
(カテゴリー8 カテゴリー1～7に関する活動成果)**

○カテゴリー8は、カテゴリー1～7と評価方法が異なり、活動成果を評価します。
このカテゴリーでの評価は、事業所の皆様に成果が上がったことを記入して頂き、それに基づいて評価機関が評価を行います。

→ こちらは「職員用 回答シート」にご記入ください。

貴事業所の特に良いと思う点、特に改善したいと思う点

○上記について3つ以内でご自由にお答え下さい。

(組織マネジメント分析シート・サービス分析シートの記入を終えてから、事業所全体としてご記入下さい。)

→ こちらは「職員用 回答シート」にご記入ください。

職員用:回答シート

- 組織マネジメント分析シート(カテゴリー1～5、7)
(あてはまるもの一つに”○”をつけてください)

NO.	できている	できていない ところがある	できていない	知らない・ 分からない	NO.	できている	できていない ところがある	できていない	知らない・ 分からない	NO.	できている	できていない ところがある	できていない	知らない・ 分からない
1-1-1					3-1-2					5-2-2				
1-1-2					3-1-3					7-1-1				
1-1-3					4-1-1					7-1-2				
2-1-1					4-1-2									
2-1-2					4-1-3									
2-2-1					4-2-1									
2-2-2					5-1-1									
2-2-3					5-1-2									
3-1-1					5-2-1									

- 昨年と比べてよくなったと思う点をご記入ください。
(カテゴリー8 カテゴリー1～7に関する活動成果)

- 貴事業所の特に良いと思う点、特に改善したいと思う点を、それぞれ3つ以内でご自由にお答え下さい。
(組織マネジメント分析シート・サービス分析シートの記入を終えてから、事業所全体としてご記入下さい。)

特に良いと思う点 (組織マネジメント分析シート・サービス分析シートをあわせてご記入下さい。)	特に改善したいと思う点 (組織マネジメント分析シート・サービス分析シートをあわせてご記入下さい。)

〔平成25年度〕

認可保育所

職員用サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)

記入の手引き

■サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)の位置づけと構成

- (1) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、別紙「組織マネジメント分析シート」の 카테고리6「サービス提供のプロセス」をより詳細に評価するためのものです。
- (2) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、6つのサブカテゴリーに分かれています。
そして各サブカテゴリーはさらに評価項目、標準項目と、よりサービスの具体的な内容が記述されています。

■評価の進め方

- (1) 「評価項目」の評価を行っていただきます。
「評価項目」の評価は、標準項目が実施できているかいないかの判断に基づいて行います。
- (2) 評価は次の基準で行います。当てはまると思うところに○印をつけてください。
 - ・ **できている** …標準項目がすべて実施されていると思う場合
 - ・ **できていないところがある** …標準項目の一部に実施されていないものがあると思う場合
 - ・ **できていない** …標準項目が一つも実施されていないと思う場合
 - ・ **知らない・分からない**
- (3) 自分が直接関わっていない仕事についてもなるべく自分の考えで評価してください。
ただし、見当がつかないという項目については「知らない・分からない」の欄に○をつけてください。

■回答シート

- (1) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」で評価したうえで、回答シートに転記し、回答シートのみ提出してください。
回答シートに記入していただいた内容は、第三者評価以外には使用しません。
- (2) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、日常の業務点検などに活用していただければ幸いです。

カテゴリ6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリ1 サービス情報の提供

評価項目		評価(4段階のうちどれか1つに○)				標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
6-1-1	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	○	○	○	○	利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している

サブカテゴリ2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目		評価(4段階のうちどれか1つに○)				標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
6-2-1	サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	○	○	○	○	サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している
6-2-2	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている	○	○	○	○	サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている

サブカテゴリー3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目		評価(4段階のうちどれか1つに○)				標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
6-3-1	定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している	○	○	○	○	子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている
6-3-2	子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している	○	○	○	○	計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている 計画を保護者にわかりやすく説明している 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している
6-3-3	子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	○	○	○	○	子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している
6-3-4	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	○	○	○	○	計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している

サブカテゴリー4 サービスの実施

評価項目		評価(4段階のうちどれか1つに○)				標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている	○	○	○	○	子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている
6-4-2	家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている	○	○	○	○	登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている
6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している	○	○	○	○	日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている
6-4-4	行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている	○	○	○	○	みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている 保育所の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している

平成25年度 認可保育所版 サービス分析シート(職員用)

6-4-5	保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている	○	○	○	○	<p>保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている</p> <p>年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている</p> <p>子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる</p> <p>お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている</p>
6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している	○	○	○	○	<p>子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している</p> <p>メニューや味付けなどに工夫を凝らしている</p> <p>子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している</p> <p>食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている</p> <p>保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている</p>
6-4-7	子どもが心身の健康を維持できるように支援を行っている	○	○	○	○	<p>けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている</p> <p>医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている</p> <p>保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている</p>
6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている	○	○	○	○	<p>保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している</p> <p>保護者同士が交流できる機会を設けている</p> <p>保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている</p> <p>保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている</p> <p>子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている</p>
6-4-9	地域のニーズに即した子育て支援を実施している	○	○	○	○	<p>地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している</p> <p>地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている</p> <p>提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている</p>

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目		評価(4段階のうちどれか1つに○)				標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
6-5-1	子どものプライバシー保護を徹底している	○	○	○	○	子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている ----- 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている
6-5-2	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している	○	○	○	○	日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している ----- 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている ----- 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている ----- 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している ----- 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

評価項目		評価(4段階のうちどれか1つに○)				標準項目
		できている	できていないところがある	できていない	知らない・分からない	
6-6-1	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	○	○	○	○	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている ----- 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している ----- 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している
6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	○	○	○	○	提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている ----- 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている ----- 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる
6-6-3	さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	○	○	○	○	打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている ----- 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している ----- 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている ----- 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している ----- 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている

— 認可保育所版 —

職員用 : 回答シート

施設・事業所名 : _____

○回答者属性（どちらかに”○”をつけてください）

	リーダー層
	一般職員

○サービス分析シート(カテゴリー6)（あてはまるもの一つに”○”記入してください）

NO.	できている	できていない ところがある	できていない	知らない・ 分からない
6-1-1				
6-2-1				
6-2-2				
6-3-1				
6-3-2				
6-3-3				
6-3-4				
6-4-1				
6-4-2				
6-4-3				
6-4-4				

NO.	できている	できていない ところがある	できていない	知らない・ 分からない
6-4-5				
6-4-6				
6-4-7				
6-4-8				
6-4-9				
6-5-1				
6-5-2				
6-6-1				
6-6-2				
6-6-3				

登録印刷物番号

25	—	0114
----	---	------

平成25年度 保育園サービス第三者評価事業 報告書

平成26年3月発行

発行

杉並区保健福祉部保育課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号

電話(03)3312-2111(代表)

調査・評価機関

特定非営利活動法人 NPO サービス評価機構

(東京都福祉サービス第三者評価機関 認証番号: 02-030)

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南三丁目35番15号—1105

電話 03-5347-0616

☆杉並区のホームページでご覧になれます。<http://www.city.suginami.tokyo.jp>